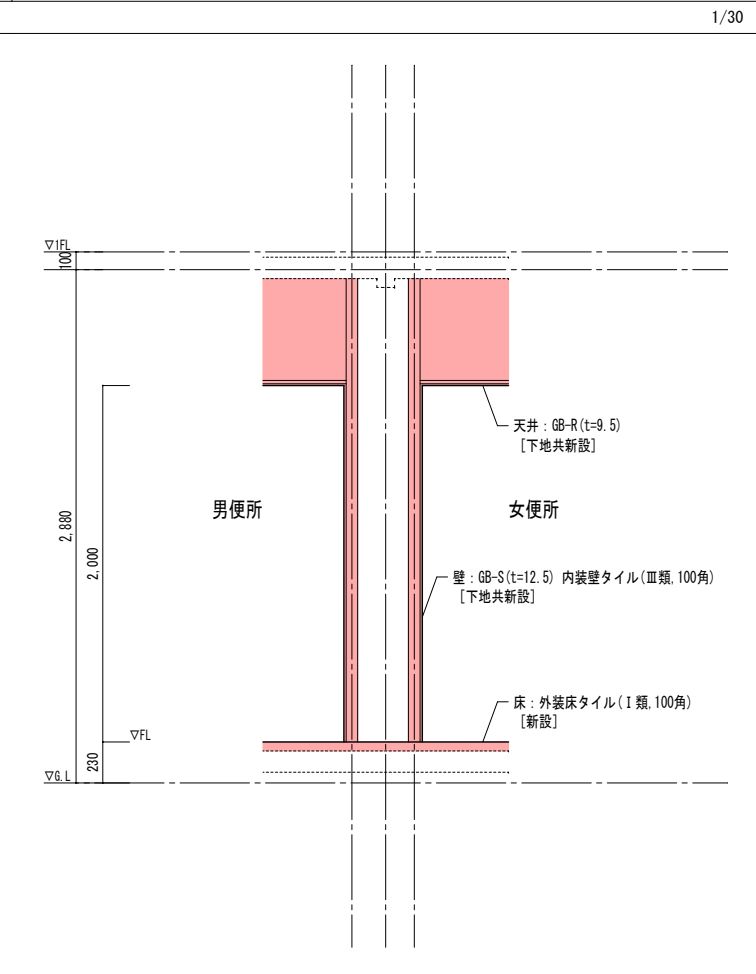
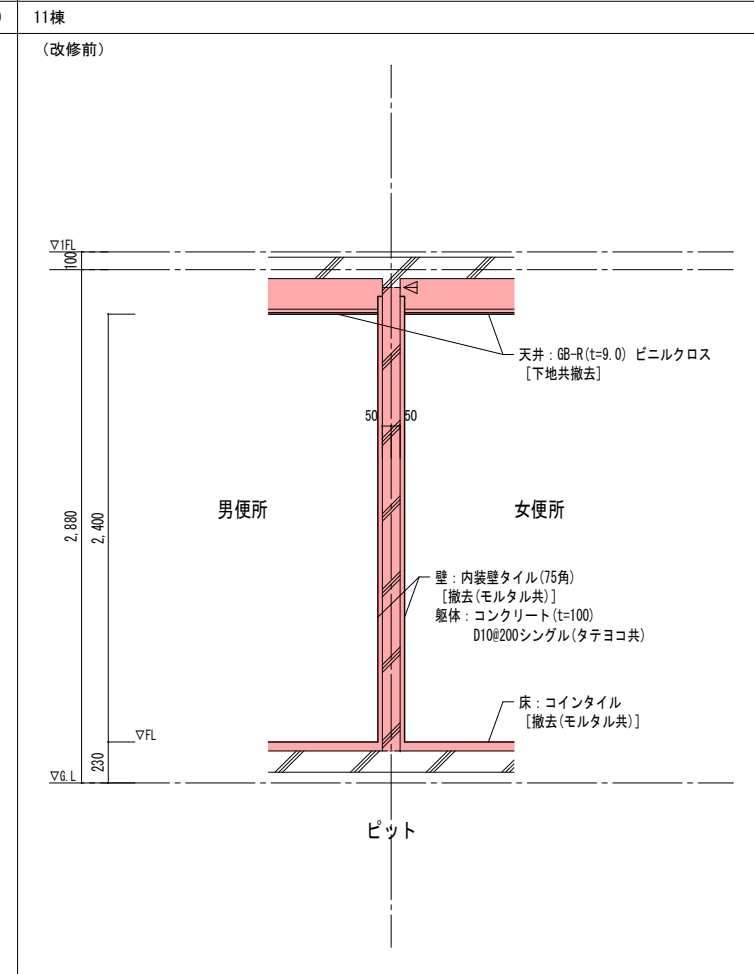
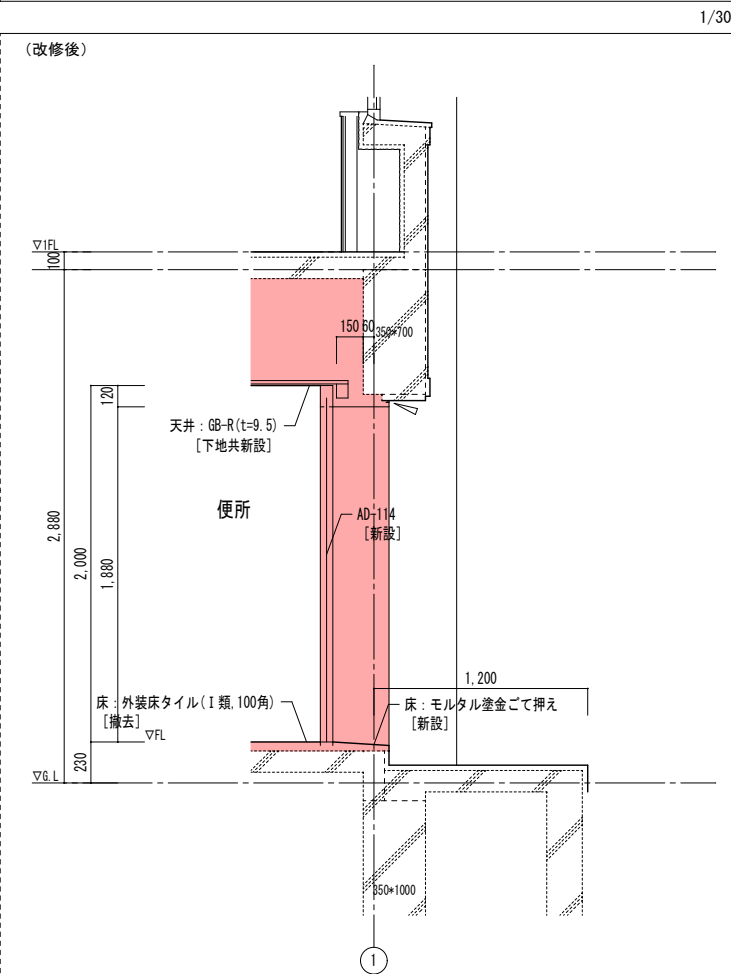
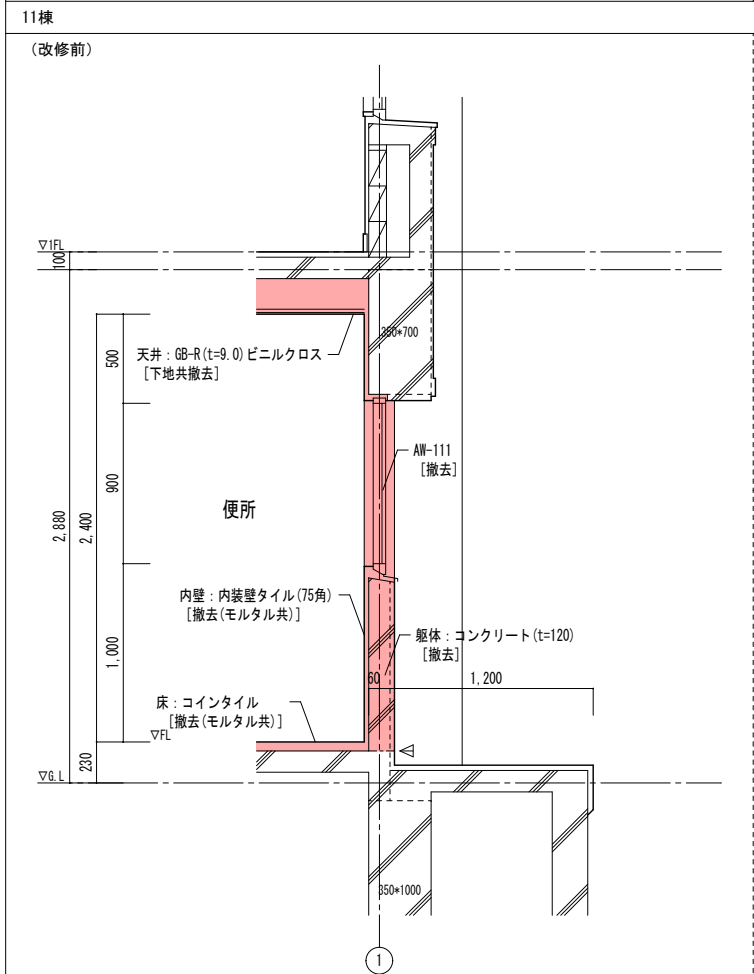
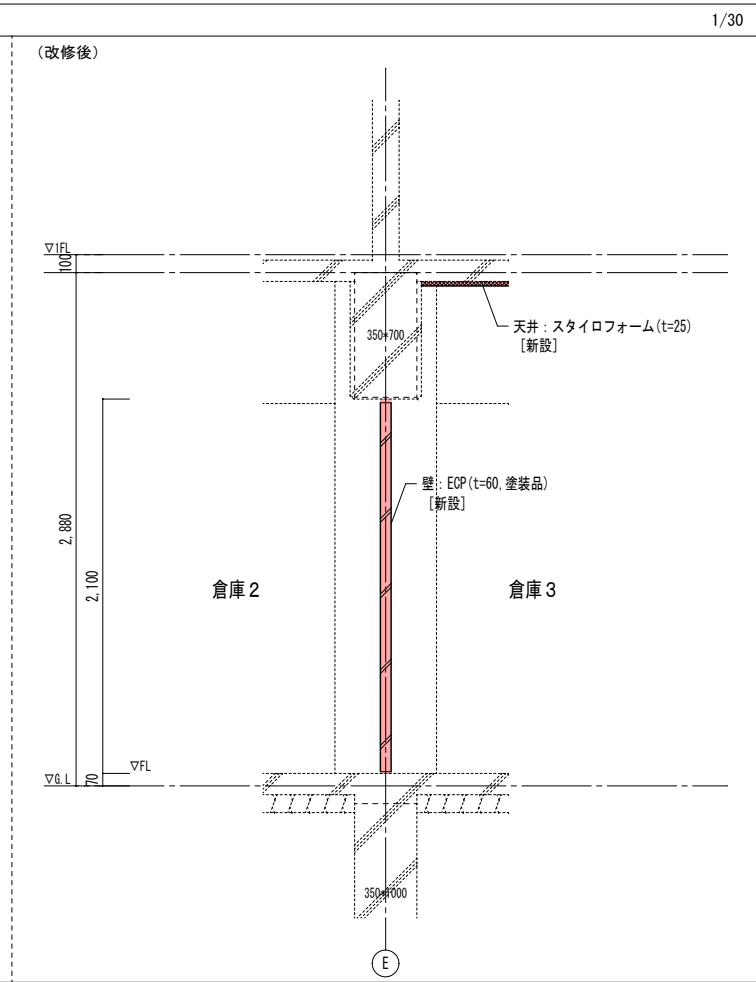
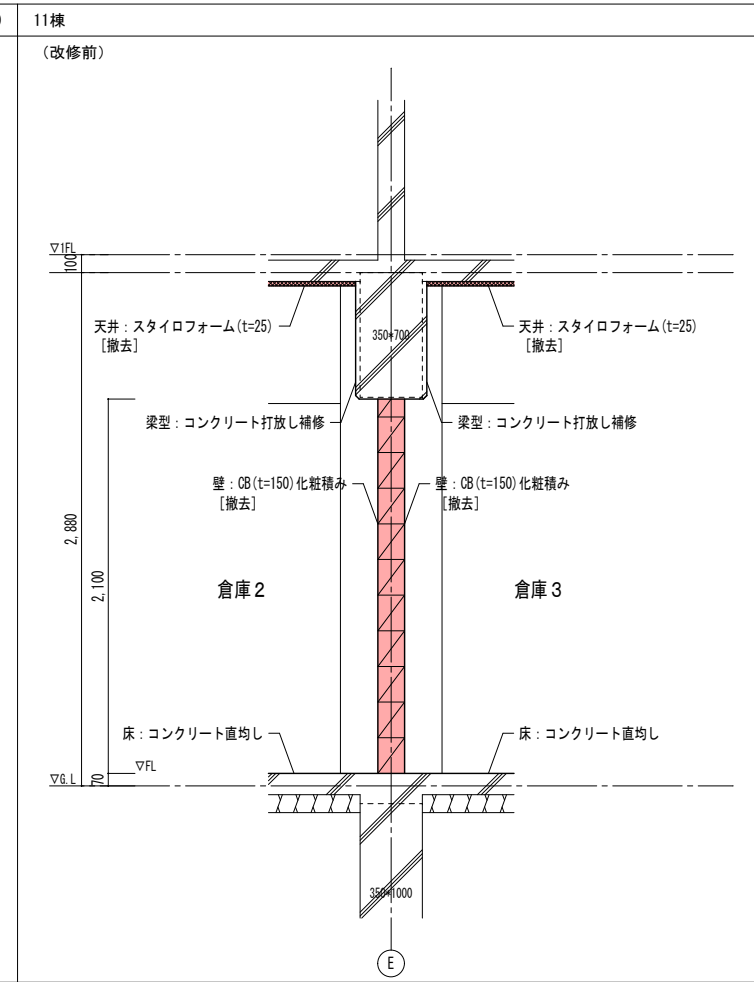
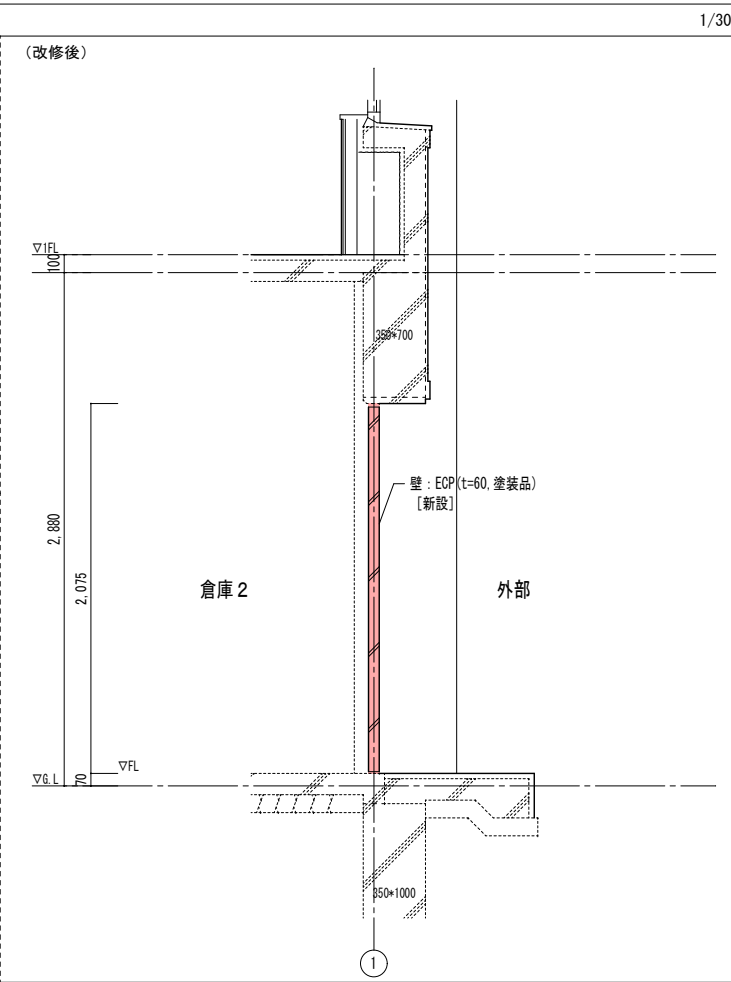
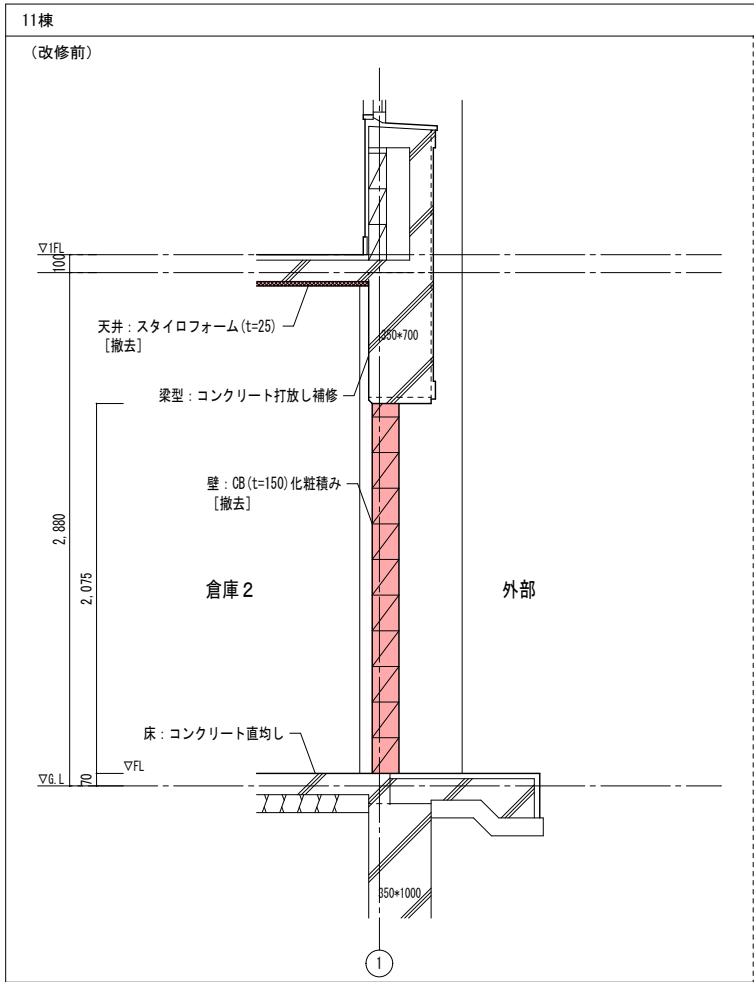
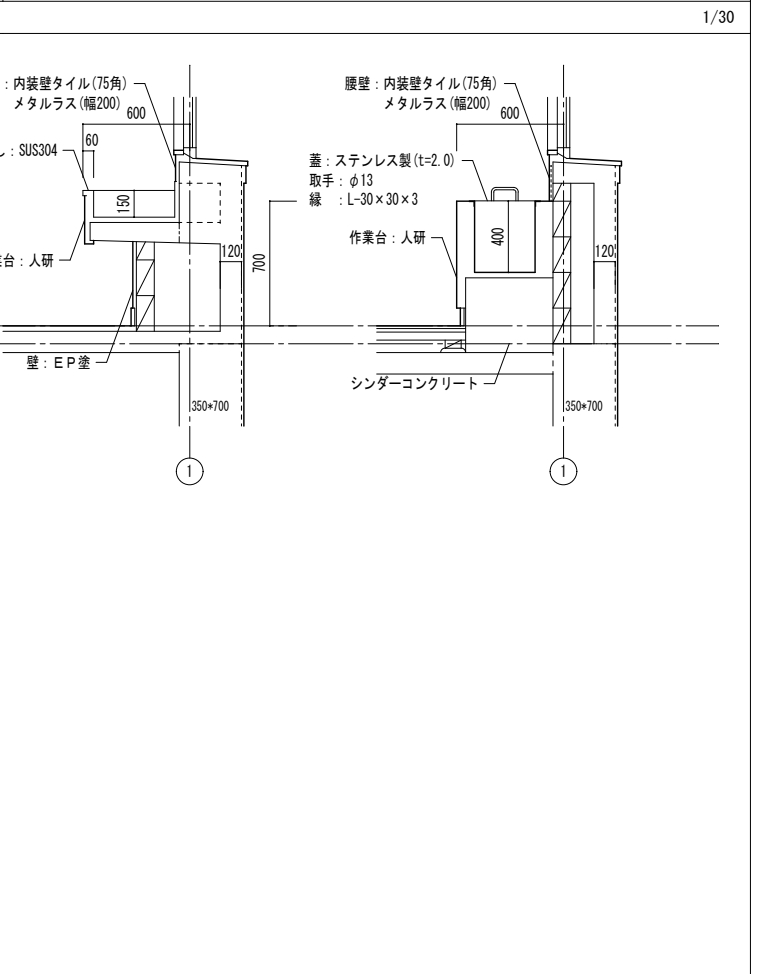
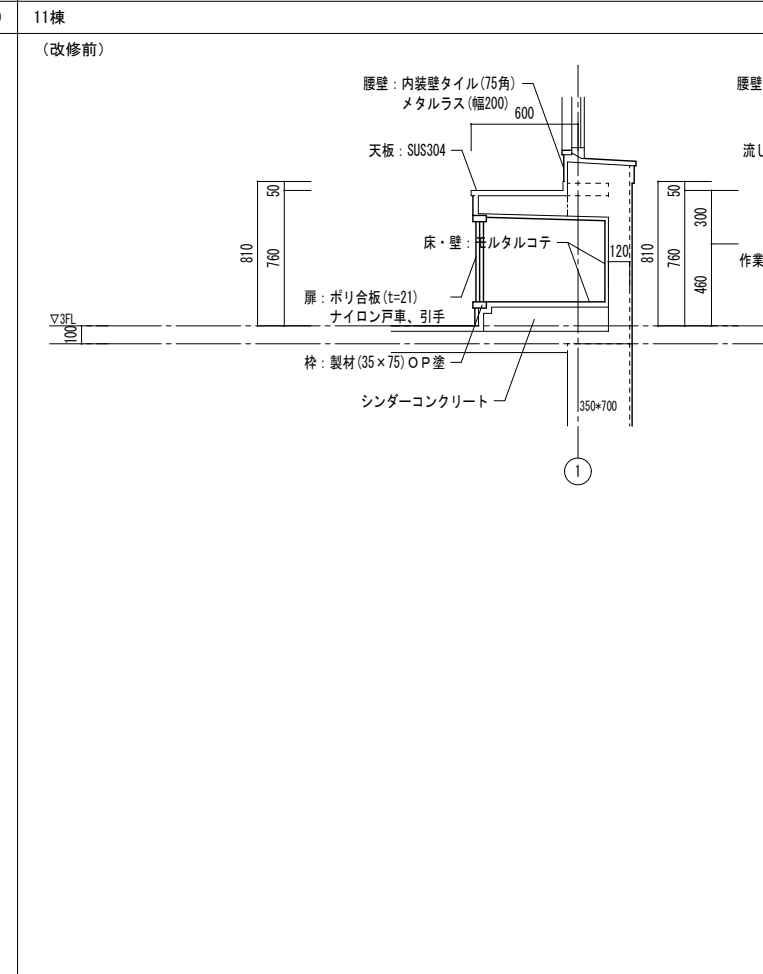
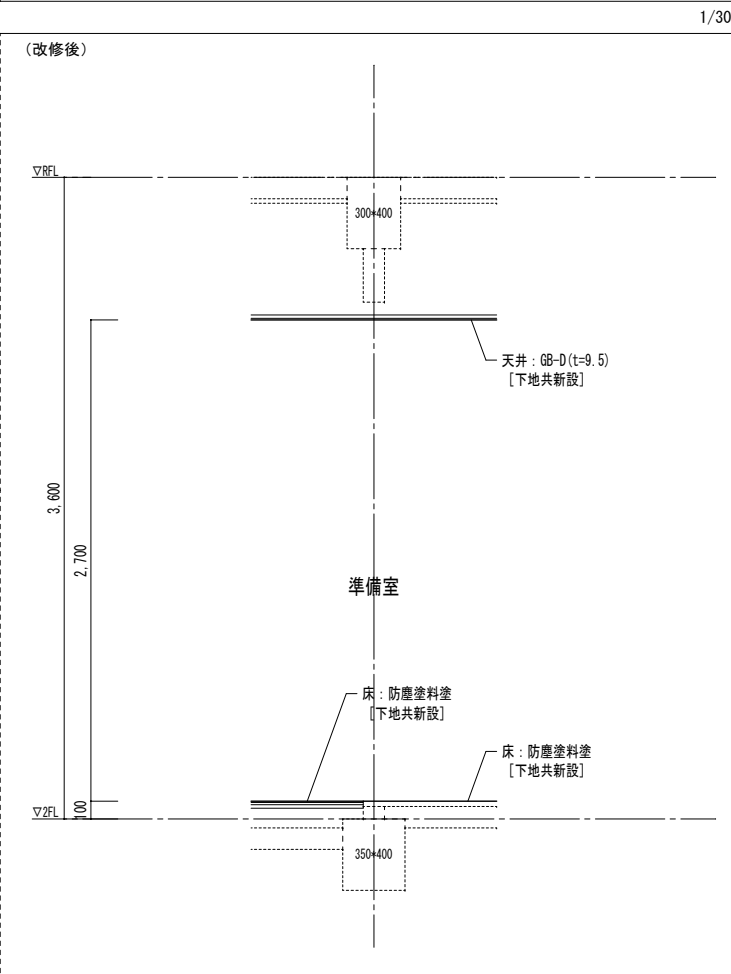
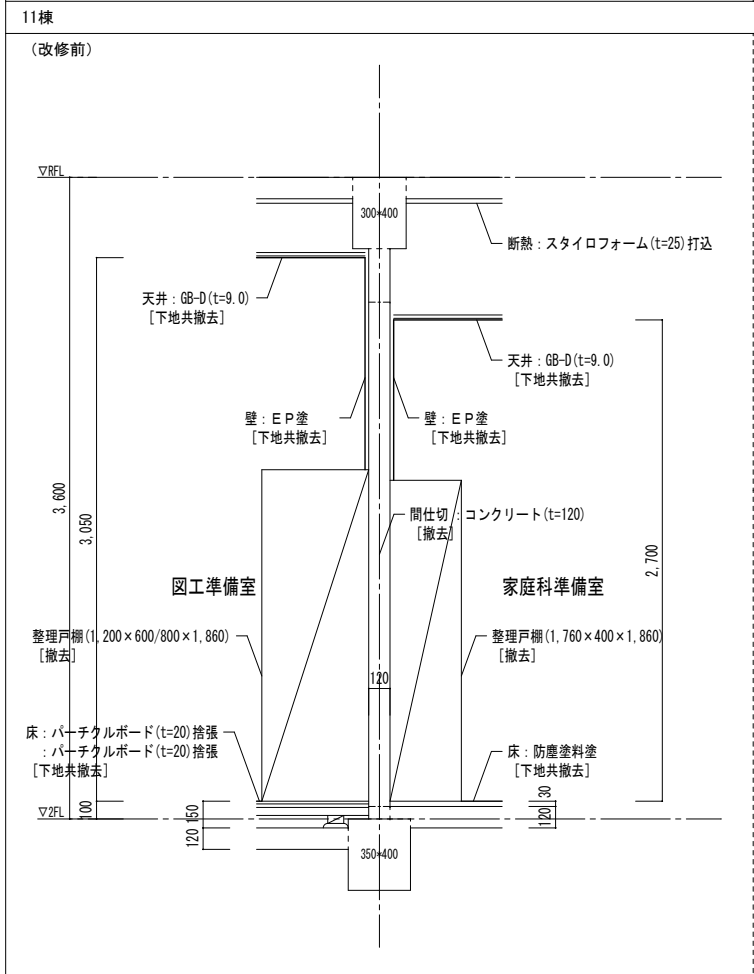
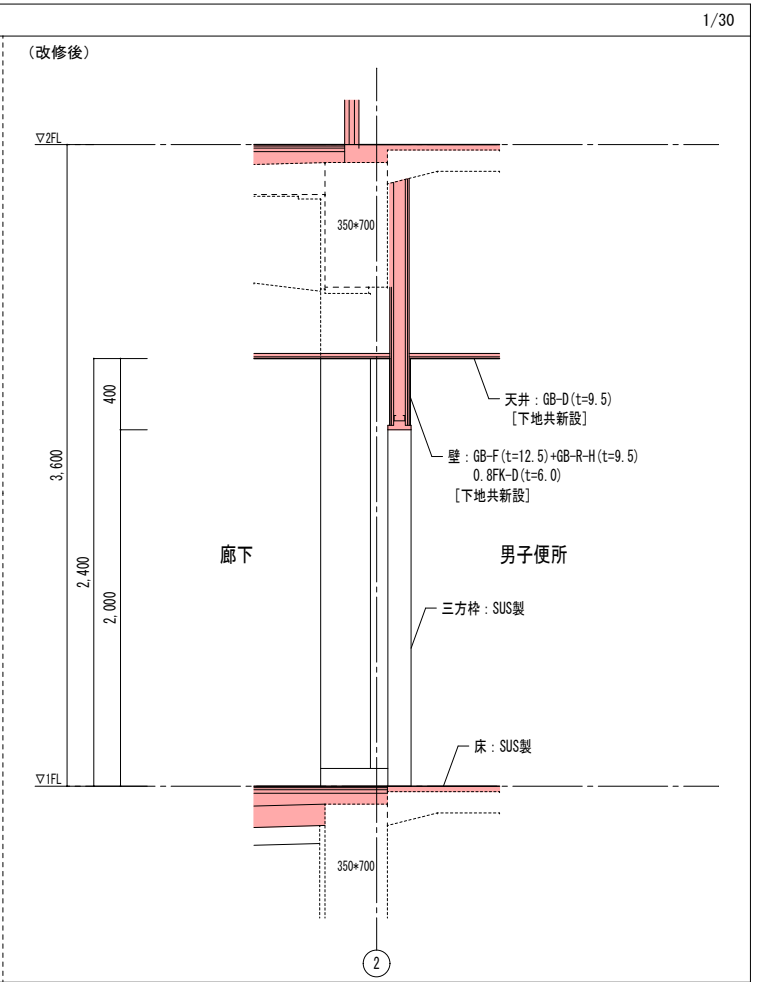
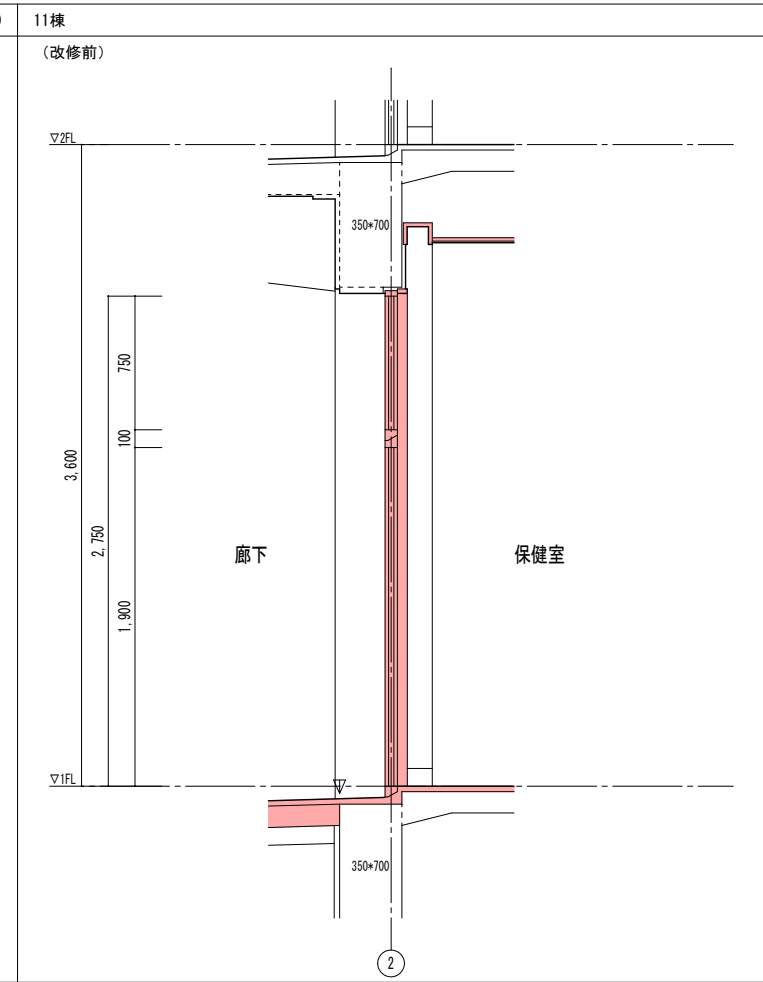
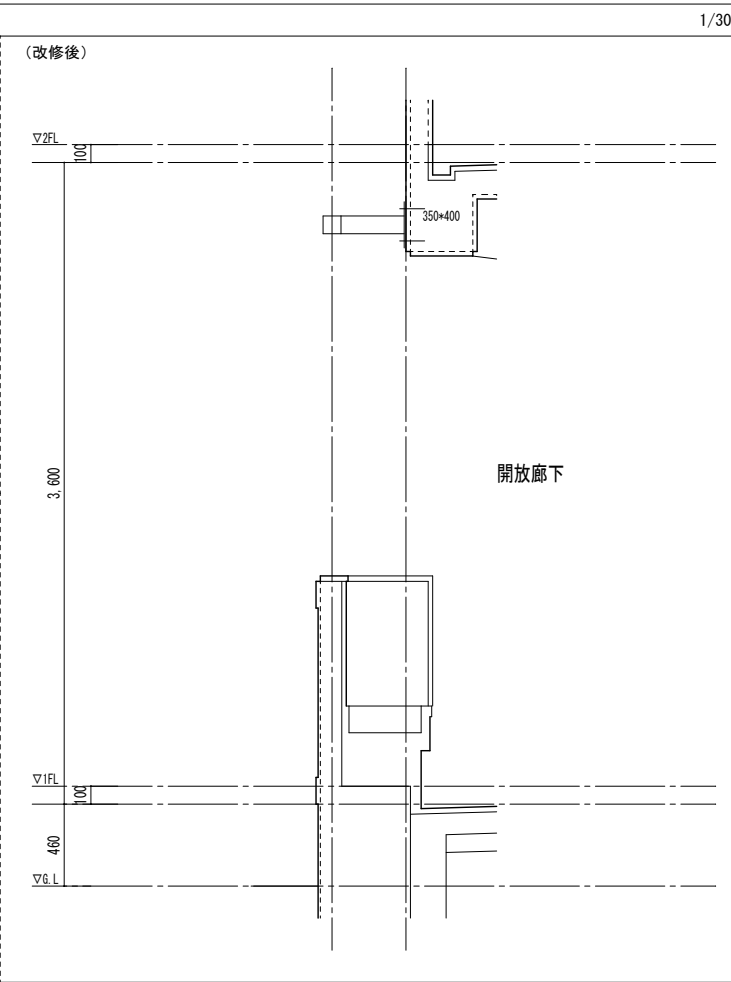
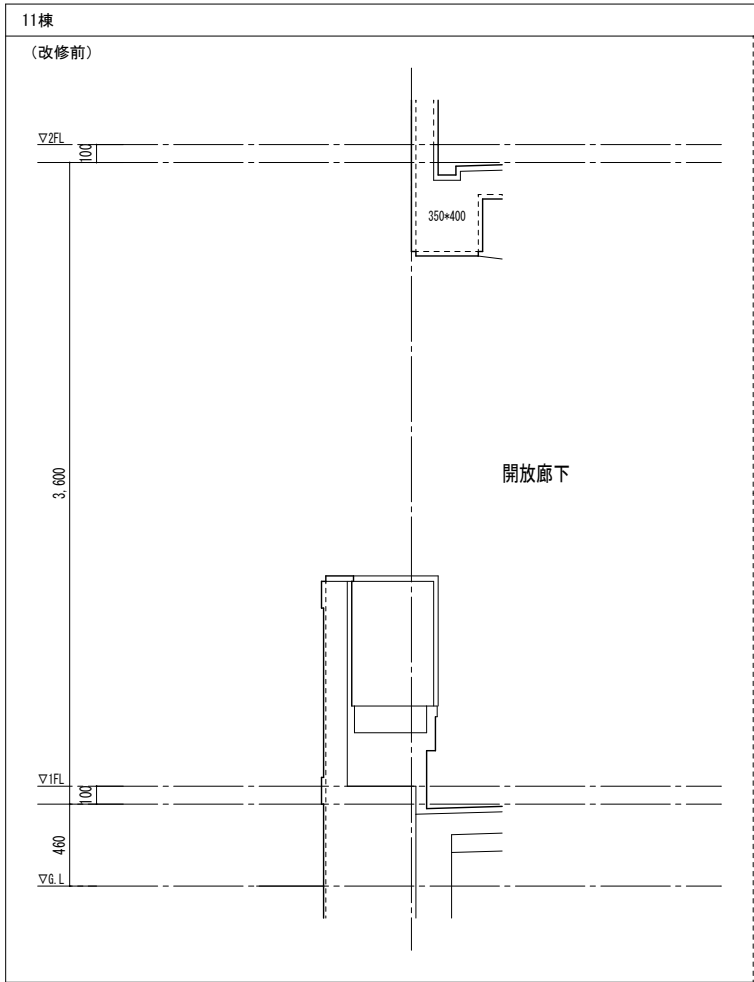
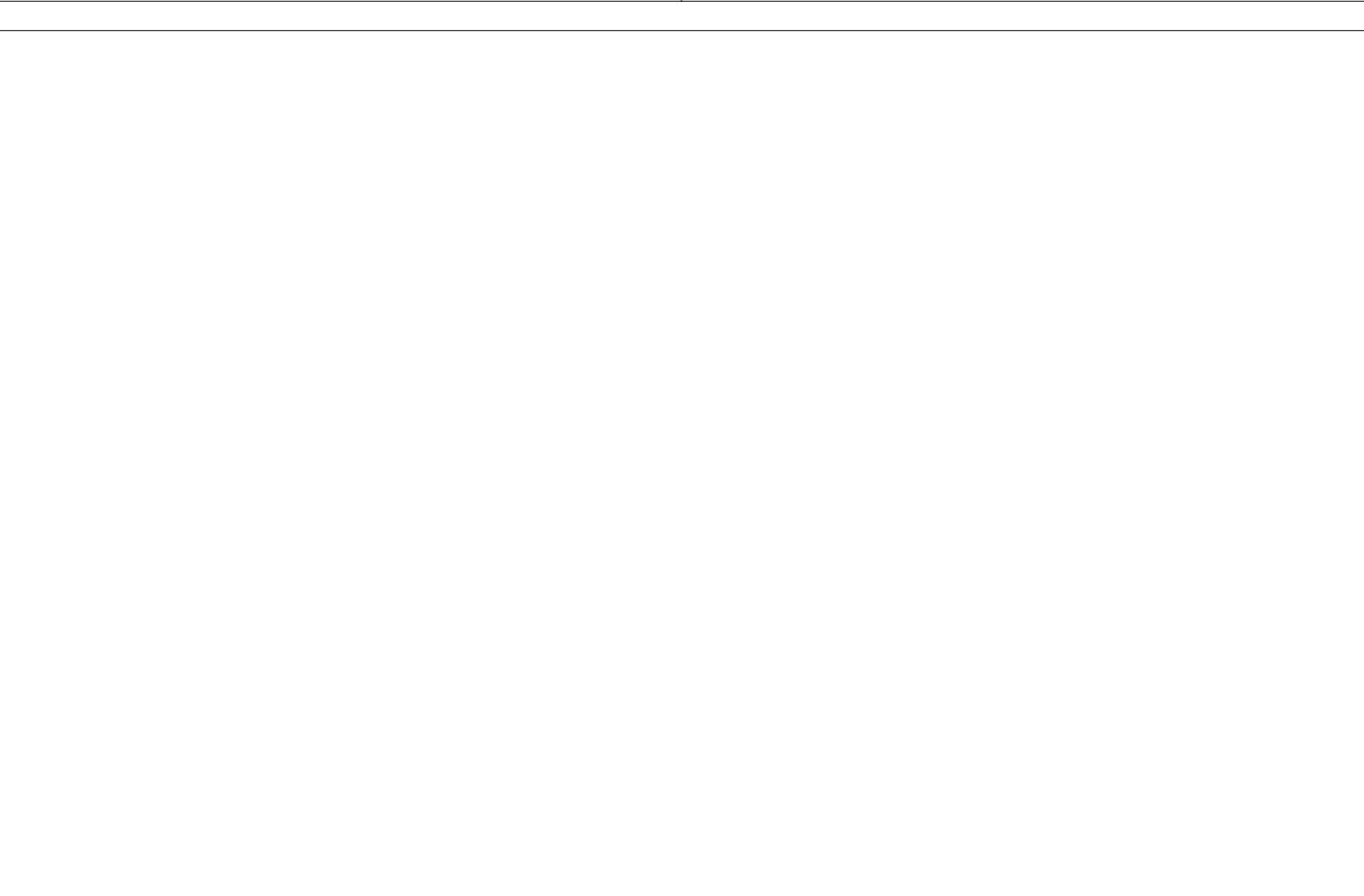
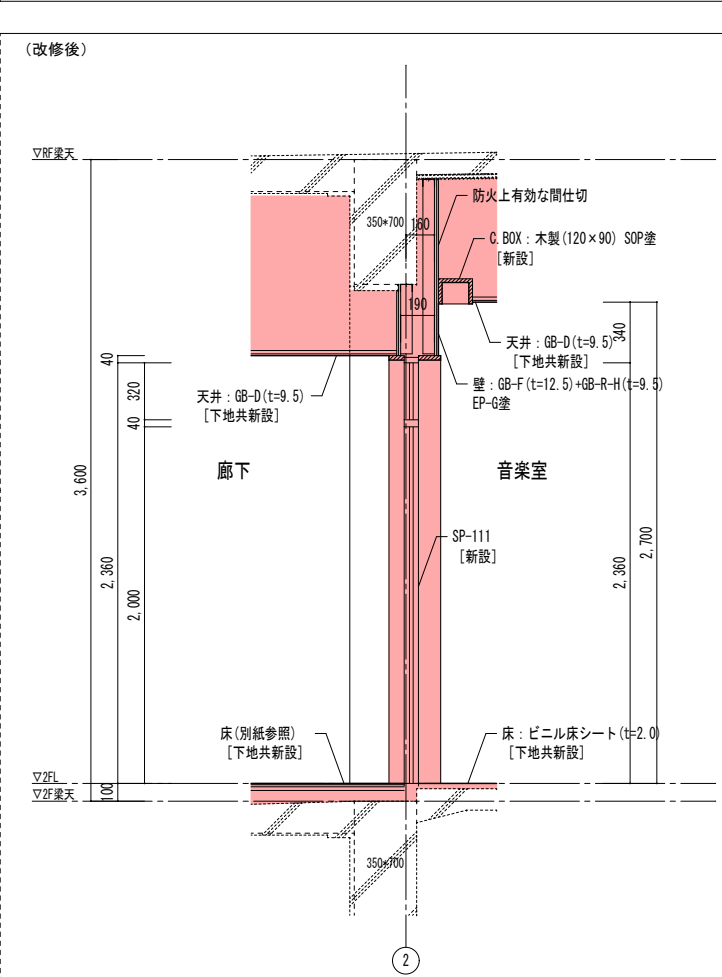
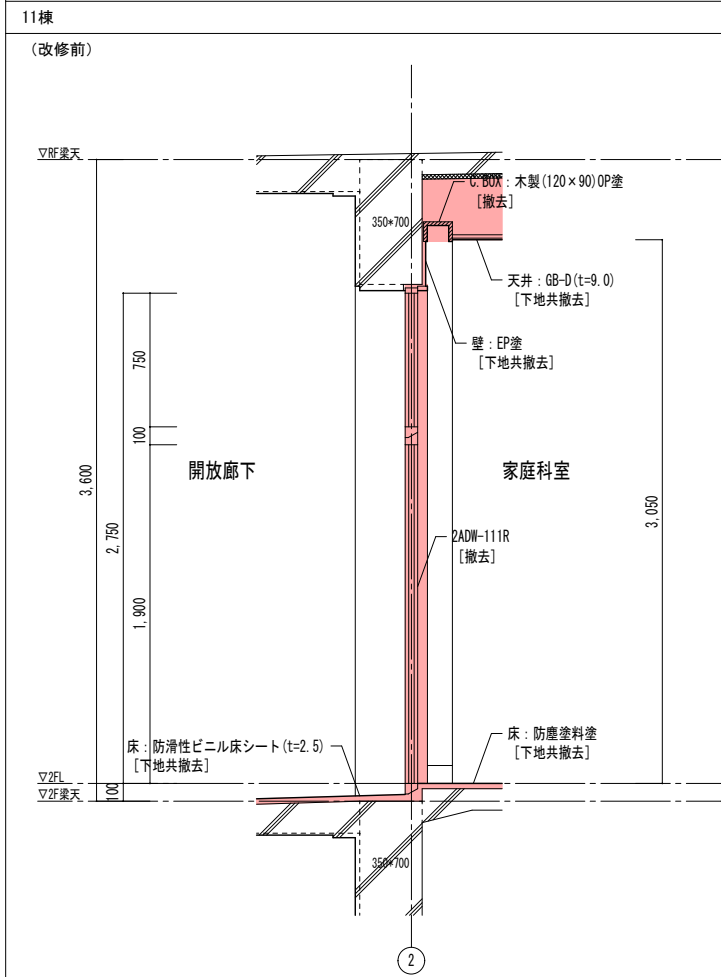
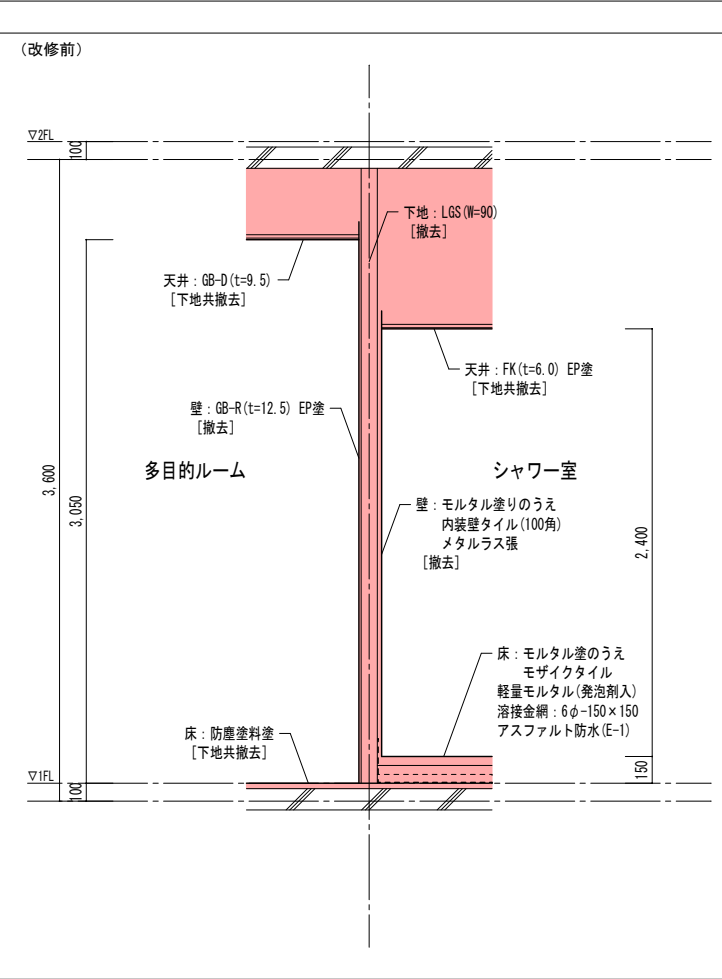
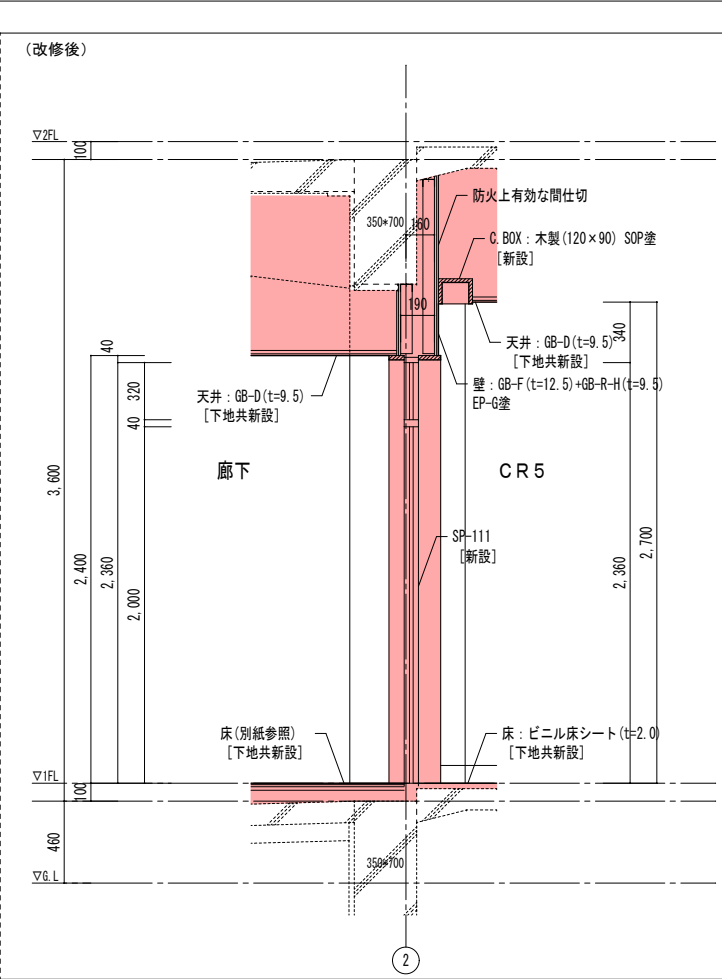
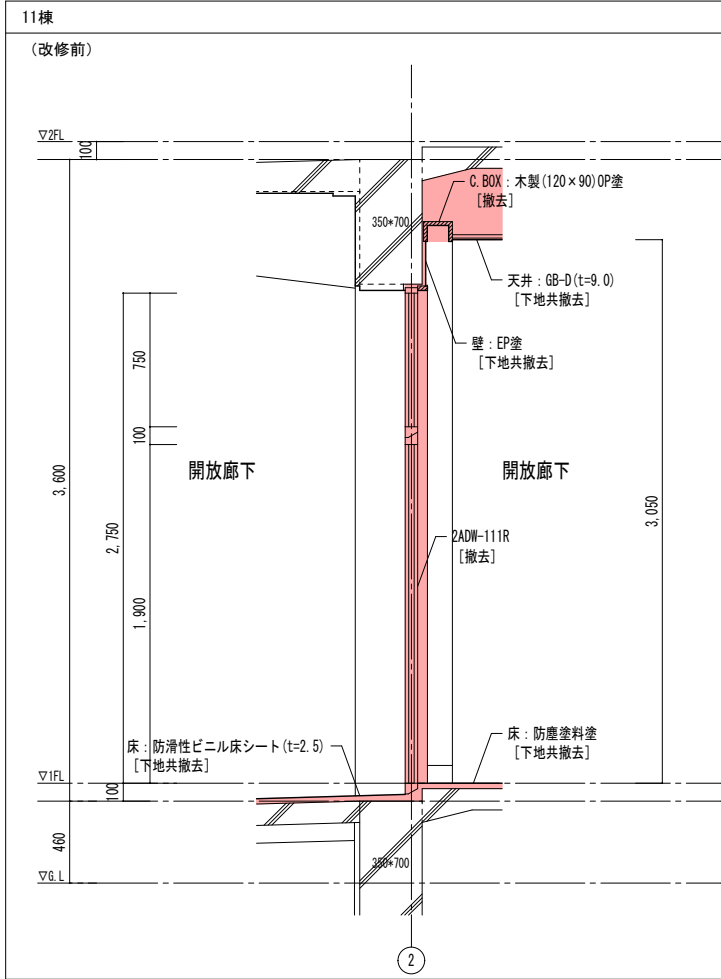


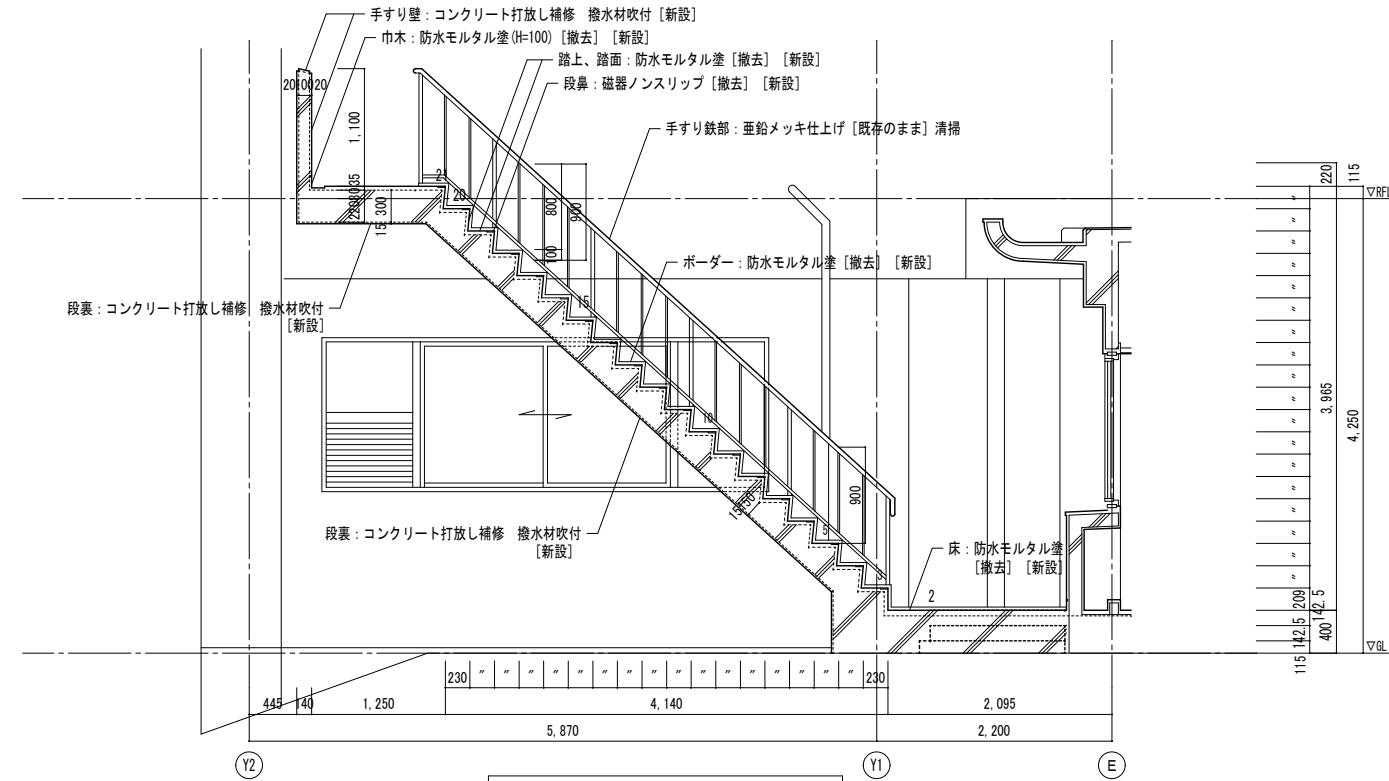
<p>内部階段 床 (改修前)</p>	<p>内部階段 床 (改修後)</p>	<p>屋外階段 床 (33) ~ (35) (改修前)</p>	<p>屋外階段 床 (33) ~ (35) (改修後)</p>		
<p>内部階段 手すり壁 (改修前)</p>	<p>内部階段 手すり壁 (改修後)</p>	<p>屋外階段 手すり壁 (改修前)</p>	<p>屋外階段 手すり壁 (改修後)</p>		
<p>開放廊下 1F (36) ~ (40) (改修前)</p>	<p>屋内廊下 1F (36) ~ (40) (改修後)</p>	<p>開放廊下 2F (36) ~ (40) (改修前)</p>	<p>屋内廊下 2F (36) ~ (40) (改修後)</p>		
<p>有限会社 元廣建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号</p>	<p>工事名: 令和8年度 小学校施設整備事業 下黒瀬小学校長寿命化改良及びEV棟増築工事</p>	<p>図面名: 11棟 部分詳細図2</p>	<p>縮尺: 1/20, 1/30 A2版: 100% A3版: 70%</p>	<p>套図: 部長: 課長: 主任: 担当:</p>	<p>日付: R7年 A-228</p>



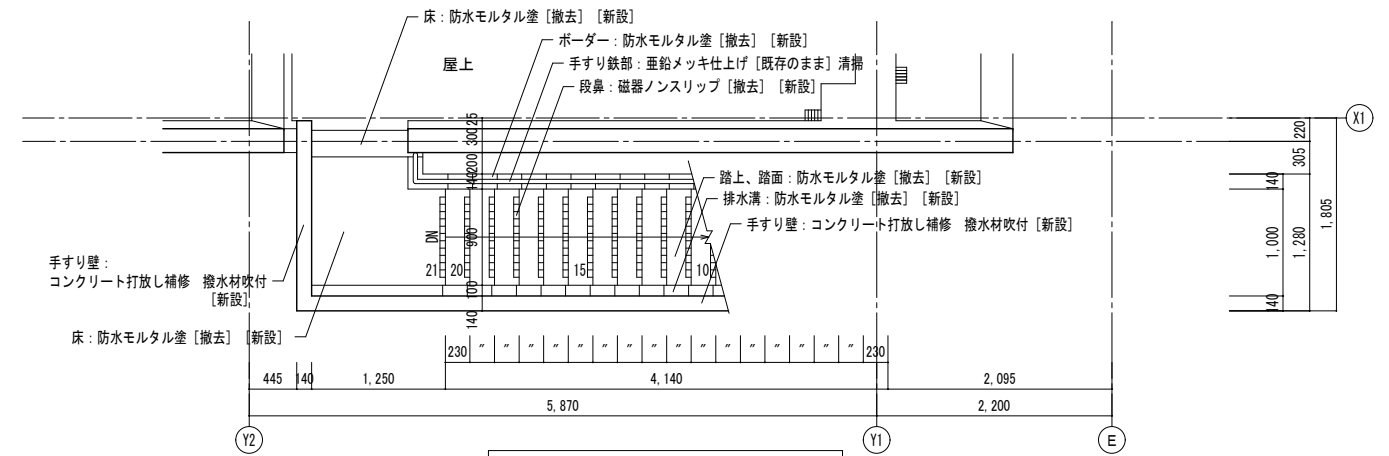




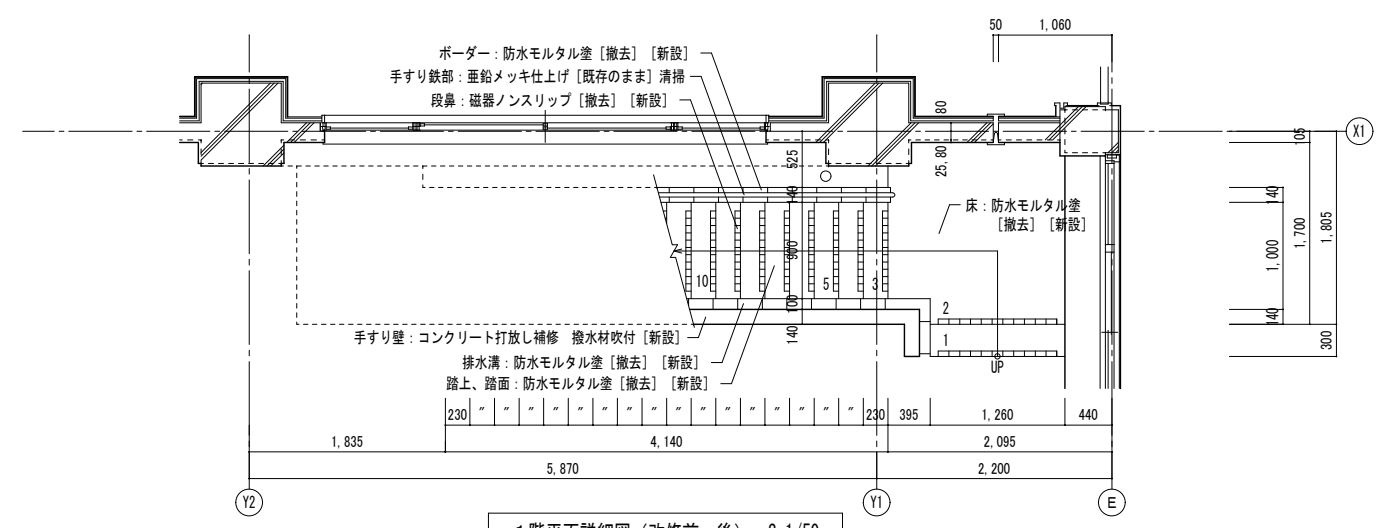
(改修前、後)



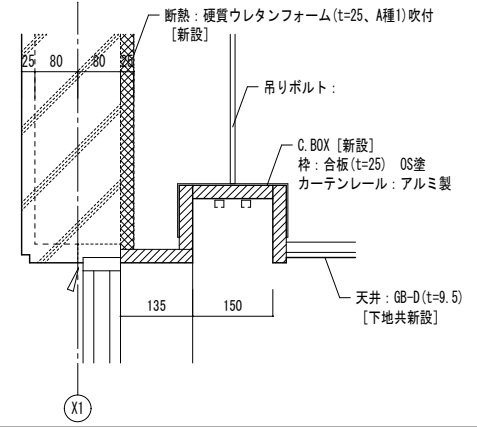
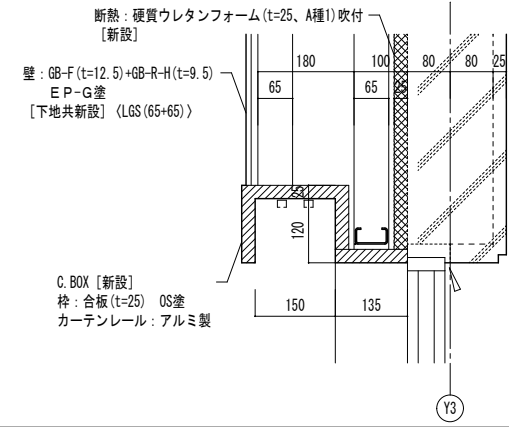
断面詳細図 (改修前、後) S=1/50



2階平面詳細図 (改修前、後) S=1/50



1階平面詳細図 (改修前、後) S=1/50

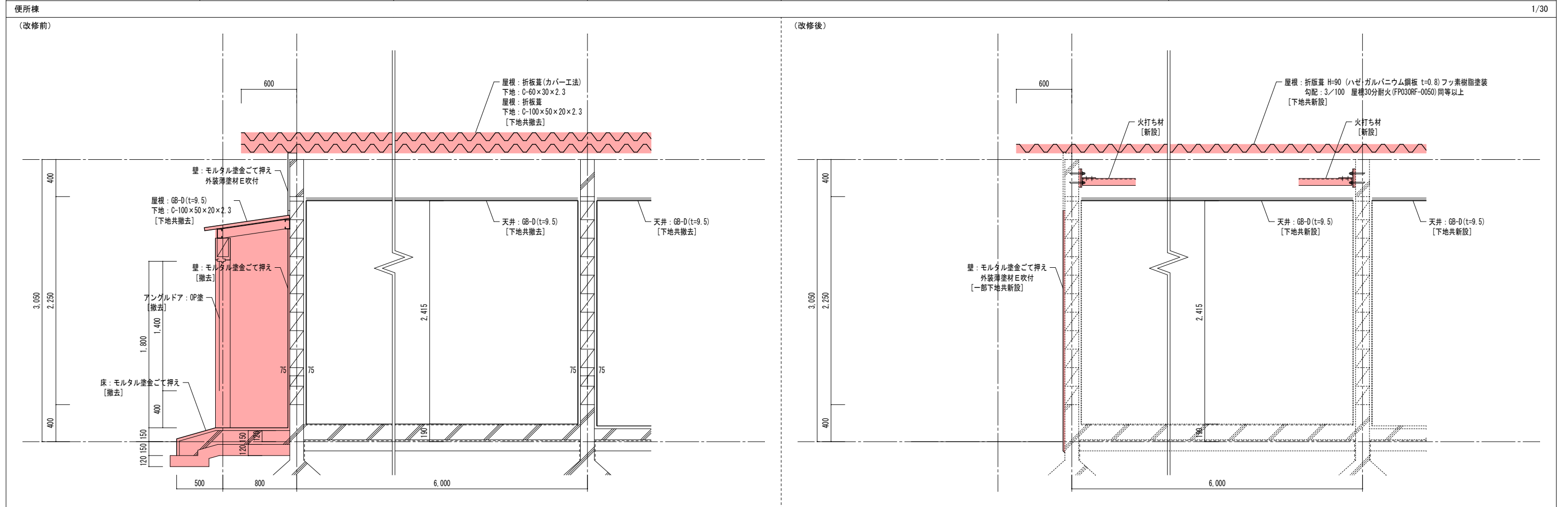


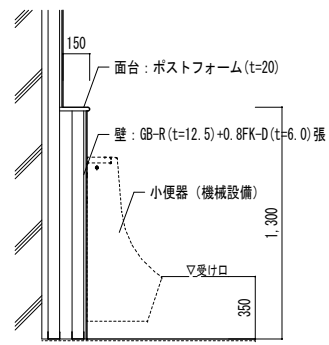
<p>大屋根 軒先 (33) ~ (36) (50)</p> <p>(改修前)</p>	<p>(改修後)</p> <p>※断熱材固定: 断熱材固定用特殊形状金物使用</p>	<p>小屋根 1 (37) ~ (39)</p> <p>(改修前)</p>	<p>(改修後)</p>
<p>大屋根 ケラバ (33) (34)</p> <p>(改修前)</p>	<p>(改修後)</p> <p>※断熱材固定: 断熱材固定用特殊形状金物使用</p>	<p>屋上廻り (40) ~ (42)</p> <p>(改修前)</p>	<p>(改修後)</p>
<p>大屋根 (33) ~ (35)</p> <p>(改修前)</p>	<p>(改修後)</p> <p>※断熱材固定: 断熱材固定用特殊形状金物使用</p>	<p>庇廻り (43) ~ (46)</p> <p>(改修前)</p>	<p>(改修後)</p>
<p>機械室屋根 (37) ~ (39)</p> <p>(改修前)</p>	<p>(改修後)</p> <p>※断熱材固定: 断熱材固定用特殊形状金物使用</p>	<p>塔屋タラップ</p> <p>(改修前、後)</p>	<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ⊛: 外部仕上表符号を示す ≡: カッター切を示す ↑: 仕上げ見切り位置を示す ↖: シーリング充填位置を示す ■ (赤): [撤去] [新設] を示す ■ (緑): [下地共撤去] [下地共新設] を示す ■ (青): [躯体共撤去] [躯体共新設] を示す ---: カッター切を示す <p>特記事項 ・特記以外の改修内容は、仕上表及び仕様書、他部分詳細図等による</p>
<p>有限会社 元廣建築設計事務所 一級建築士事務所 元廣 匡伸 一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号</p>	<p>工事名: 令和8年度 小学校施設整備事業 下黒瀬小学校長寿命化改良及び E V 棟増築工事</p>	<p>縮尺: 1/30 A2版: 100% A3版: 70%</p>	<p>日付: R7年 図番: A-233</p>

<p>柱型廻り (47)</p> <p>(改修前)</p>	<p>(改修後)</p>	<p>1/30 ライニング 流し台</p> <p>(改修後)</p>	<p>1/30</p>		
<p>外壁、梁型天端 (47)</p> <p>(改修前)</p>	<p>(改修後)</p>	<p>1/20 EXP. J</p> <p>(改修前)</p>	<p>(改修後)</p>		
<p>内部 床</p> <p>(改修前)</p> <p>特支、更衣室</p>	<p>(改修後)</p>	<p>EXP. J</p> <p>(改修前)</p>	<p>(改修後)</p>		
<p>内部 床 踏込</p> <p>(改修前)</p> <p>会議室 踏込</p>	<p>(改修後)</p> <p>書庫 踏込</p>	<p>EXP. J</p> <p>(改修前)</p>	<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ⊛: 外部仕上表符号を示す ▽: カッター切を示す ⊕: 仕上げ見切り位置を示す ↖: シーリング充填位置を示す ■ (赤): [撤去] [新設] を示す ■ (緑): [下地共撤去] [下地共新設] を示す ■ (青): [躯体共撤去] [躯体共新設] を示す ---: カッター切を示す <p>特記事項 ・特記以外の改修内容は、仕上表及び仕様書、他部分詳細図等による</p>		
<p>有限会社 元廣建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号</p>	<p>工事名: 令和8年度 小学校施設整備事業 下黒瀬小学校長寿命化改良及びEV棟増築工事</p>	<p>図面名: 15棟 部分詳細図3</p>	<p>縮尺: 1/20、1/30 A2版: 100% A3版: 70%</p>	<p>査図: 部長: 課長: 主任: 担当:</p>	<p>日付: R7年 図番: A-234</p>

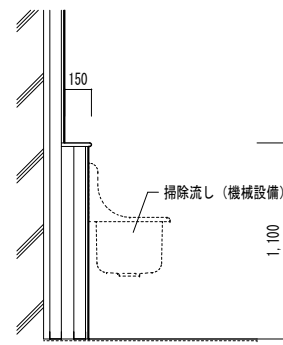
カーテン														出隅部	1/10		
仕様 ○特記による (レール: アルミ製共新設)														<p>コーナーガード: 塩ビ製 (50×50、H=1,800)</p>			
棟	階	室名	寸法	数量	棟	階	室名	寸法	数量	棟	階	室名	寸法			数量	
	10	1	更衣室 (女性用)	3,770×1,000	1	2	1	理科室	1,150×1,800	1	11	2	家庭科室			3,760×1,800	3
				1,400×1,900	1			理科準備室	3,300×1,500	1						13,070×1,350	1
			更衣室 (男性用)	1,900×1,000	1				2,200×1,800	1							
				1,400×1,900	1						15	1	図書室			15,140×1,760	1
棟	階	室名	寸法	数量													
1	1	特支 1、2	8,780×1,500	2													
			8,780×1,800	2													
		保健室	8,780×1,500	1	2	1	配膳室	1,300×1,400	1								
			8,800×1,900	1				5,600×1,900	1	2	音楽室	3,760×1,800	3				
			2,200×1,800	2				普通教室 1~4	8,780×1,500	4				13,000×1,350	1		
		職員室	11,650×1,500	1				8,780×1,800	4					準備室	4,000×1,350	1	
			4,300×1,500	1				理科室	9,800×2,040	1				図工室	3,760×1,800	3	
			11,650×1,800	1				1,900×1,800	1					13,000×1,350	1		

暗幕					ブラインド					
仕様 ○特記による (レール: アルミ製共新設)					仕様 ○特記による (レール: アルミ製共新設)					
棟	階	室名	寸法	数量	棟	階	室名	寸法	数量	
	1	1	保健室	8,780×1,500	1	1	1	校長室	2,030×1,490	2
				2,200×1,800	2					
	2	1	理科室	9,800×2,040	1					
				1,900×1,800	1					
				1,150×1,800	1					
				理科準備室	3,300×1,500	1				
				2,200×1,800	1					
	11	2	音楽室	3,760×1,800	3					
				12,990×1,350	1					
				準備室	4,000×1,350	1				

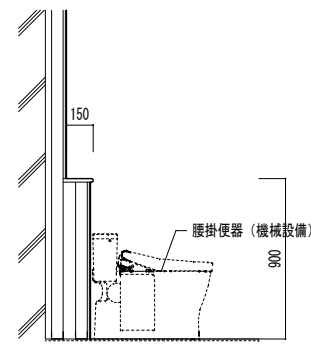




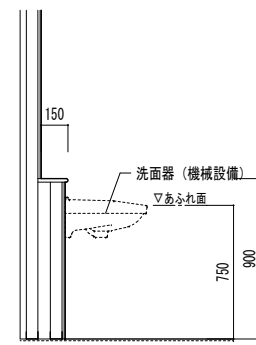
小使用



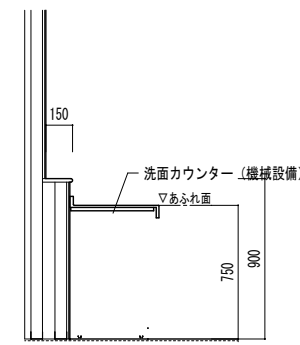
掃除流し用



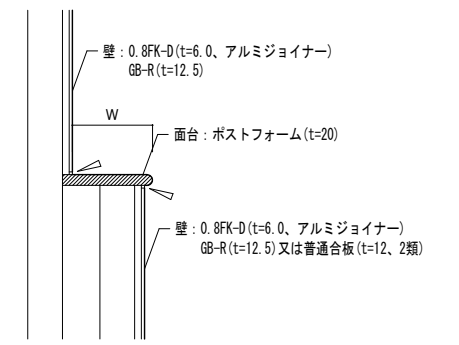
腰掛便器用



洗面器用



洗面カウンター用



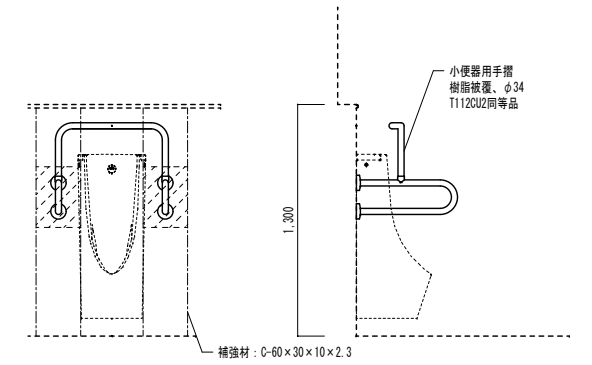
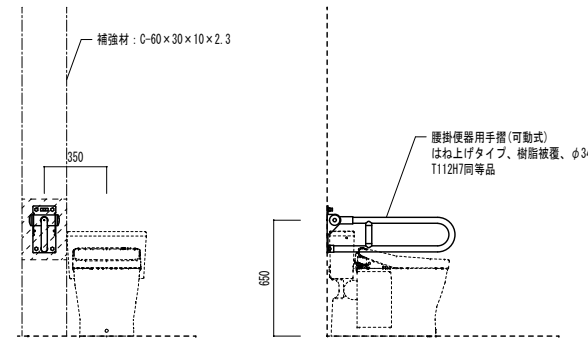
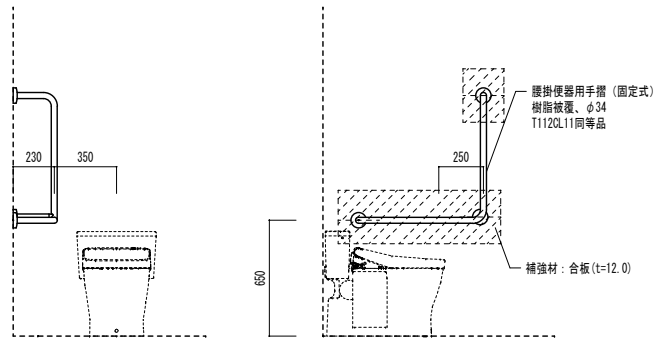
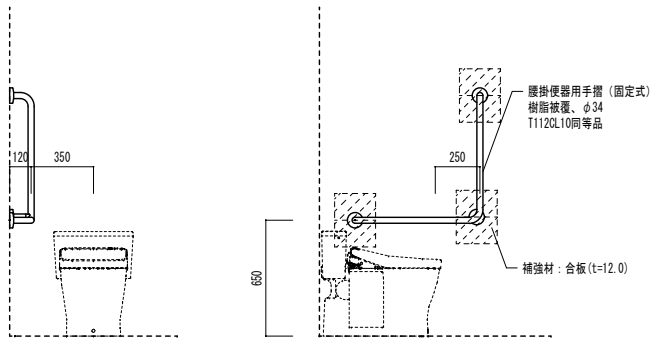
詳細図 S 1/10

腰掛便器用手摺 (固定式) 1/10

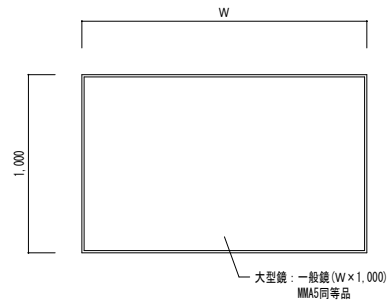
腰掛便器用手摺 (固定式) 1/10

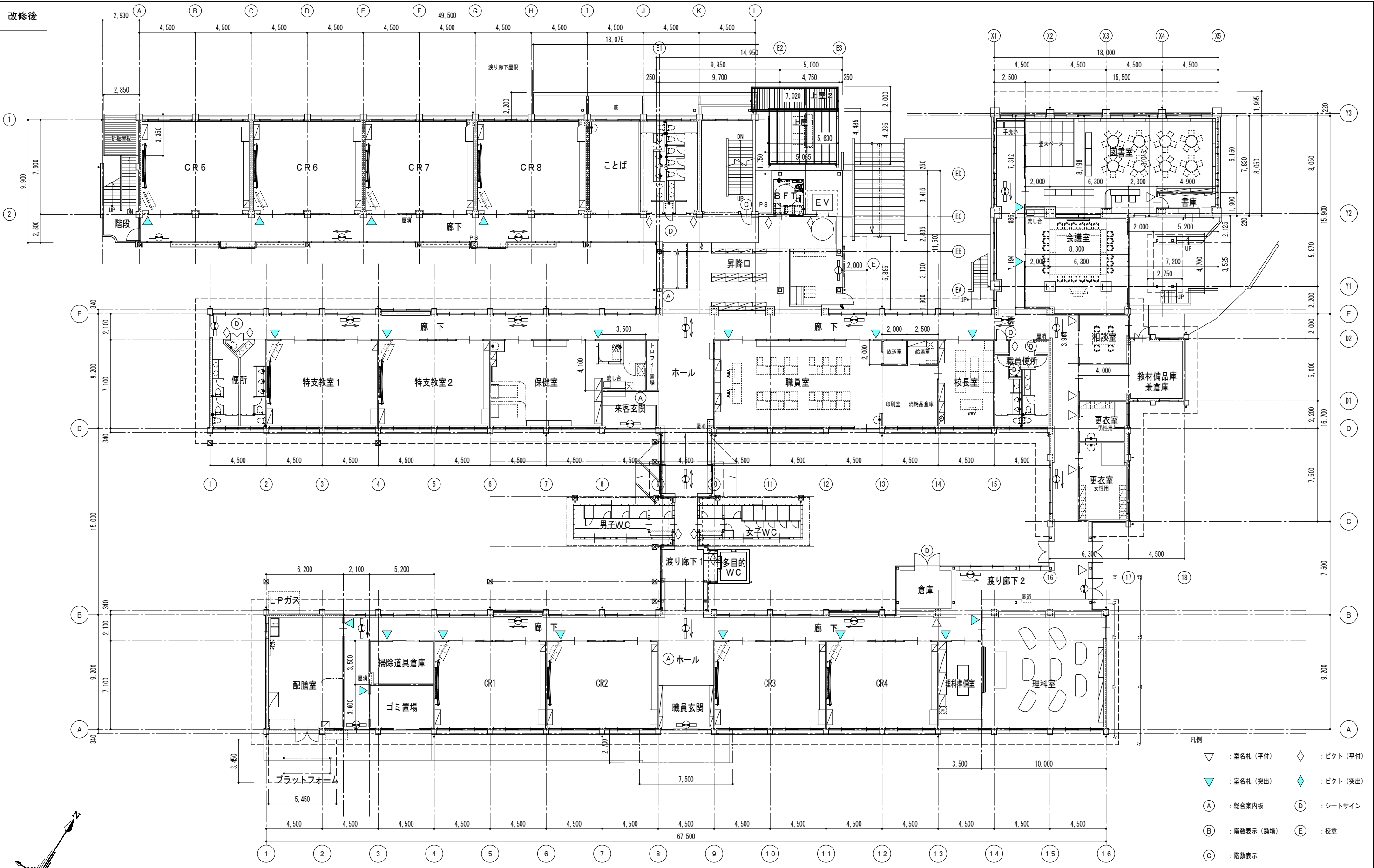
腰掛便器用手摺 (可動式) 1/30

小使用用手摺 1/30



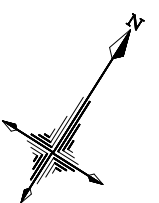
大型鏡 1/30



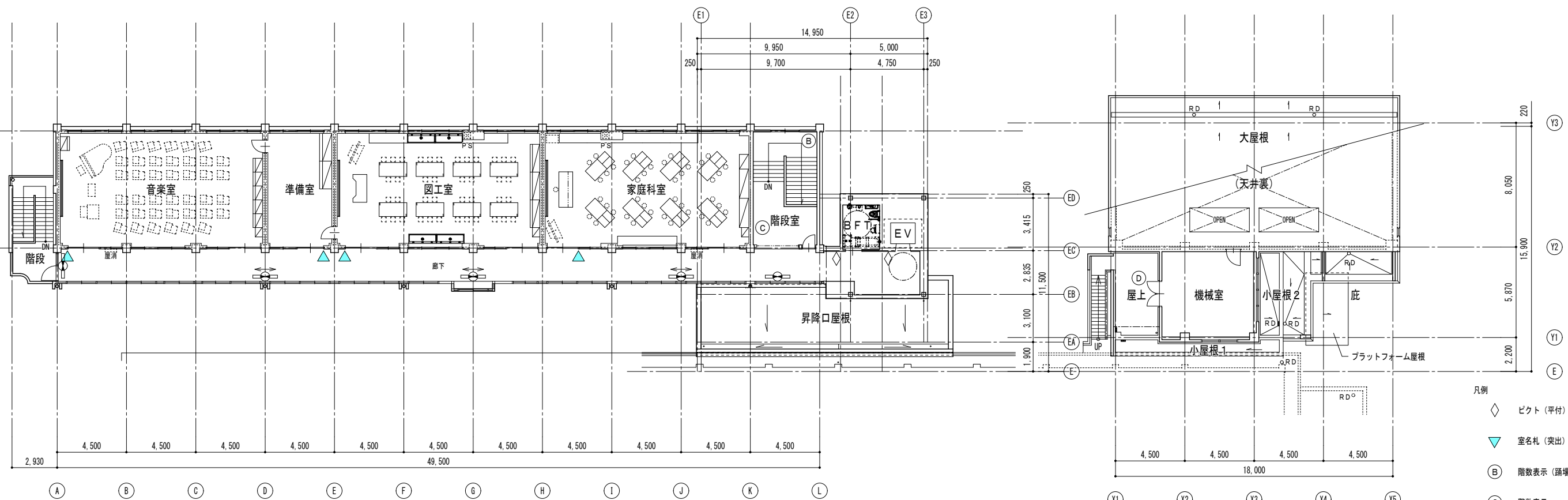


1階 サイン配置図 (改修後) S=1/200

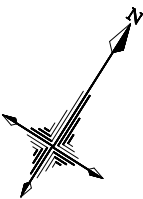
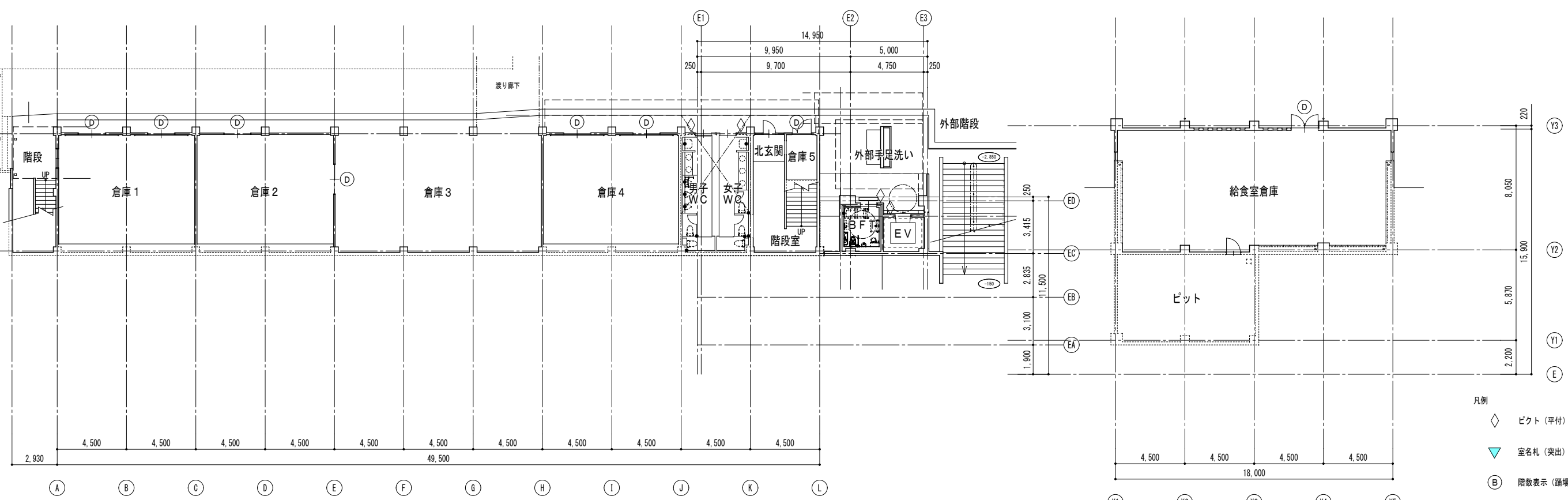
- 凡例
- ▽ : 室名札 (平付)
 - ◇ : ピクト (平付)
 - ▼ : 室名札 (突出)
 - ◆ : ピクト (突出)
 - Ⓐ : 総合案内板
 - Ⓓ : シートサイン
 - Ⓑ : 階数表示 (踊場)
 - Ⓔ : 校章
 - Ⓒ : 階数表示
 - : 誘導標識 (避難口) [新設] を示す
 - ◀▶ : 誘導標識 (避難方向) [新設] を示す ※各階段の表示は階数を表示すること。



改修後



改修後



有限会社 元廣建築設計事務所
 一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
 元廣 匡伸

工事名: 令和8年度 小学校施設整備事業
 下黒瀬小学校校長寿命化改良及び
 E V棟増築工事

図面名: (11, 15棟)
 B 1、2階 サイン配置図 (改修後)

縮尺: 1/200
 A2版: 100%
 A3版: 70%

査図: 部長: 課長: 主任: 担当:

日付: R7年 図番: A - 238

▽ ピクトグラフ（平付型）、 ▽ ピクトグラフ（突出型） 1/5

■仕様
 ブラケット：St FB-3×25 曲げ加工 SOP塗
 表示板：t=3 アクリル木目調シート（切り抜き加工）貼

■特記事項
 姿図（ピクトサイン）はJIS Z8210Iに基づき、
 案内に応じたピクトを採用すること

上図は児童用トイレの場合を示す

職員・一般用トイレの場合 多目的トイレ・オストメイトの場合 エレベーターの場合

◇ 室名札（平付型）、 ◆ 室名札（突出型） 1/5

■仕様
 ブラケット：St FB-3×25 曲げ加工 SOP塗
 表示板：t=3 アクリル木目調シート（切り抜き加工）貼

Ⓐ 総合案内板 1/20

■仕様
 表示板：t=3 アクリルシート+透明幕板（t=5mm+5mm） 壁面固定方法：D-レット立ち上げ
 フレーム：無 表示方法：インジエクト挟み込み（糊なし/マット）

Ⓑ 階数表示（踊場） 1/10

■仕様
 表示板：t=3 アクリル木目調シート（切り抜き加工）貼

Ⓒ 階数表示 1/10

■仕様
 表示板：t=3 アクリル木目調シート（切り抜き加工）貼

Ⓓ シートサイン 1/3

Ⓔ 校章 1/20

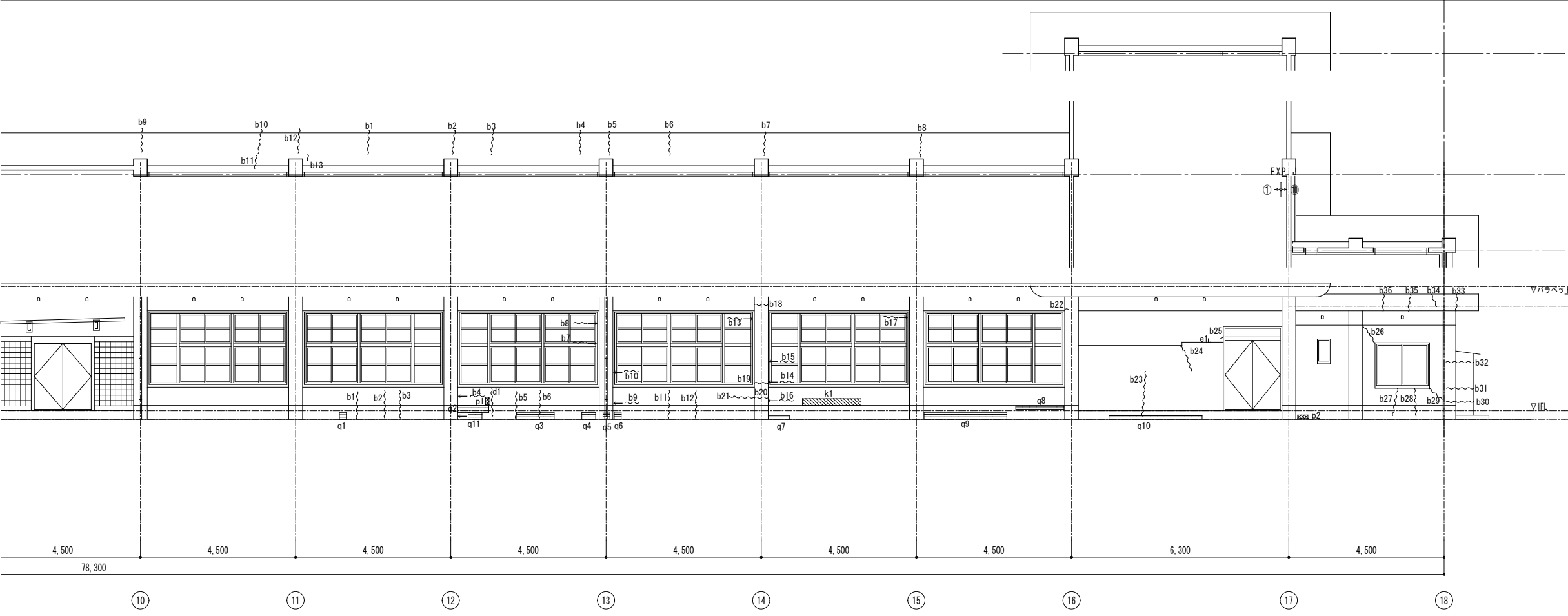
仕様 ○ステンレス製
 厚み ○100
 仕上げ ○HL

誘導標識 1/10

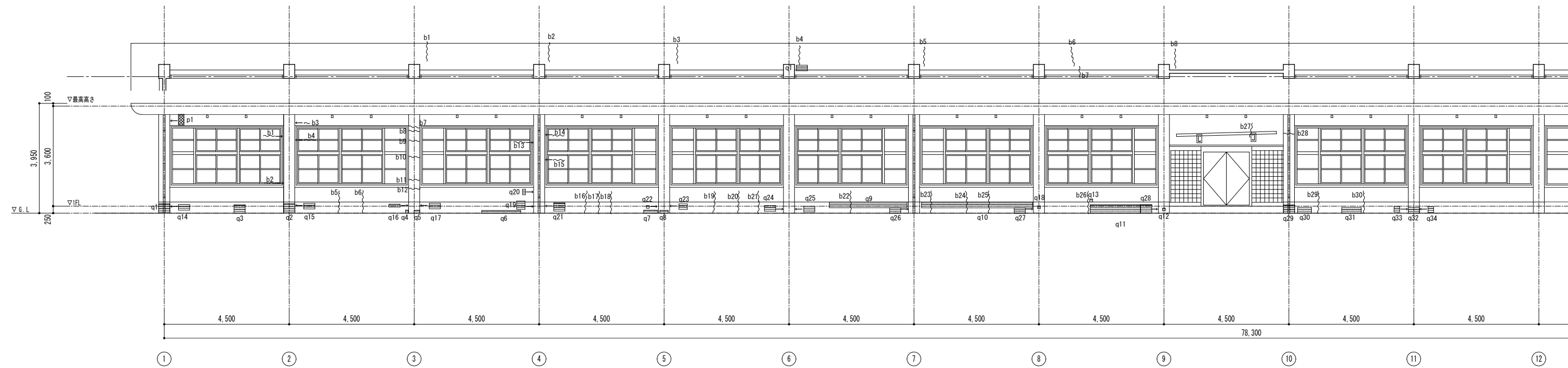
・消防法に適合する市販品

--	--	--	--

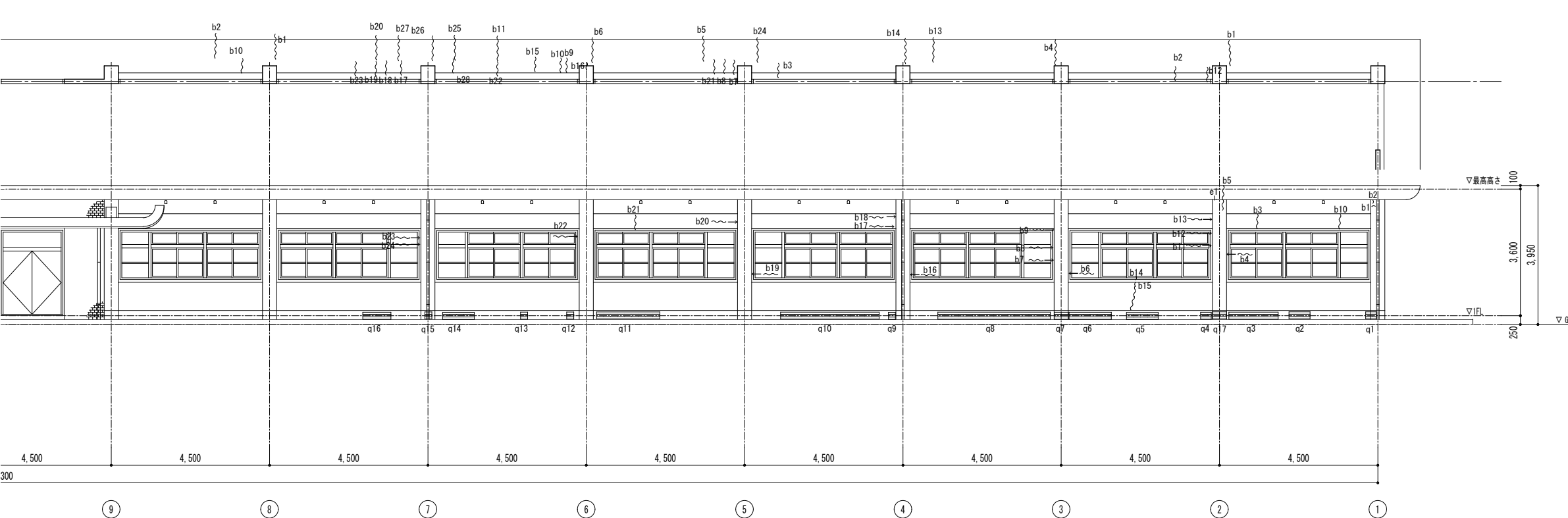
備考	凡例
モルタルひび割れ 幅0.2mm未満 処置なし	a1
モルタルひび割れ 幅0.2-0.5mm未満 樹脂注入	b1
モルタルひび割れ 幅1.0mmを超える カットシール	d1
モルタル錆鉄筋 錆鉄筋部処理	e1
モルタル錆鉄筋箇所 錆鉄筋部処理	f1
モルタル浮き0.25㎡未満 はつり	g1
モルタル浮き0.25㎡未満 樹脂注入 一般部	h1
モルタル浮き0.25㎡以上 はつり	k1
モルタル欠損 欠損部処理	p1
モルタル塗膜浮き サグ-工法	q1
45二丁タイル下地浮き0.25㎡未満 樹脂注入 一般部	U1



南側立面図2 S=1/100

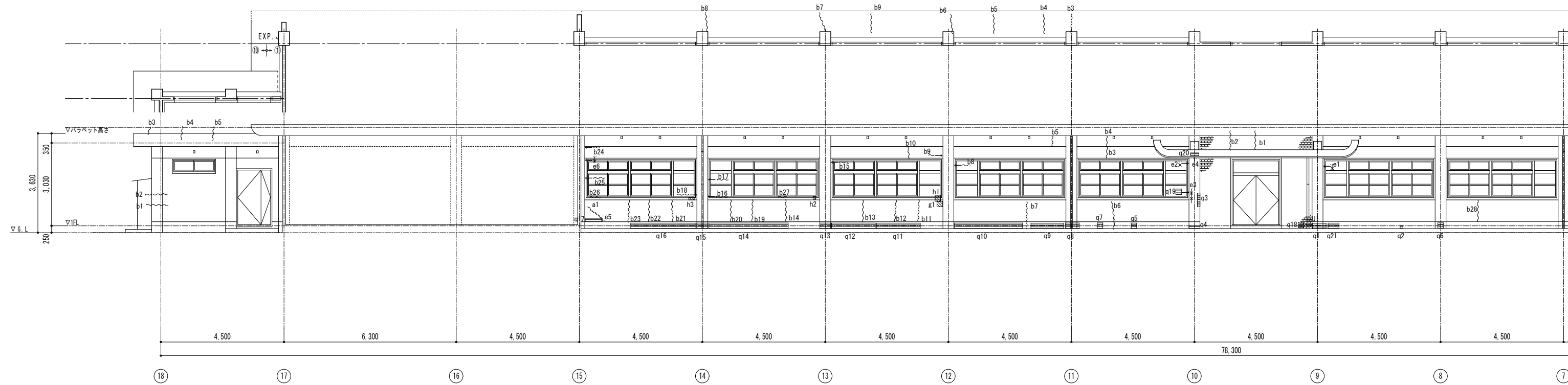


南側立面図1 S=1/100

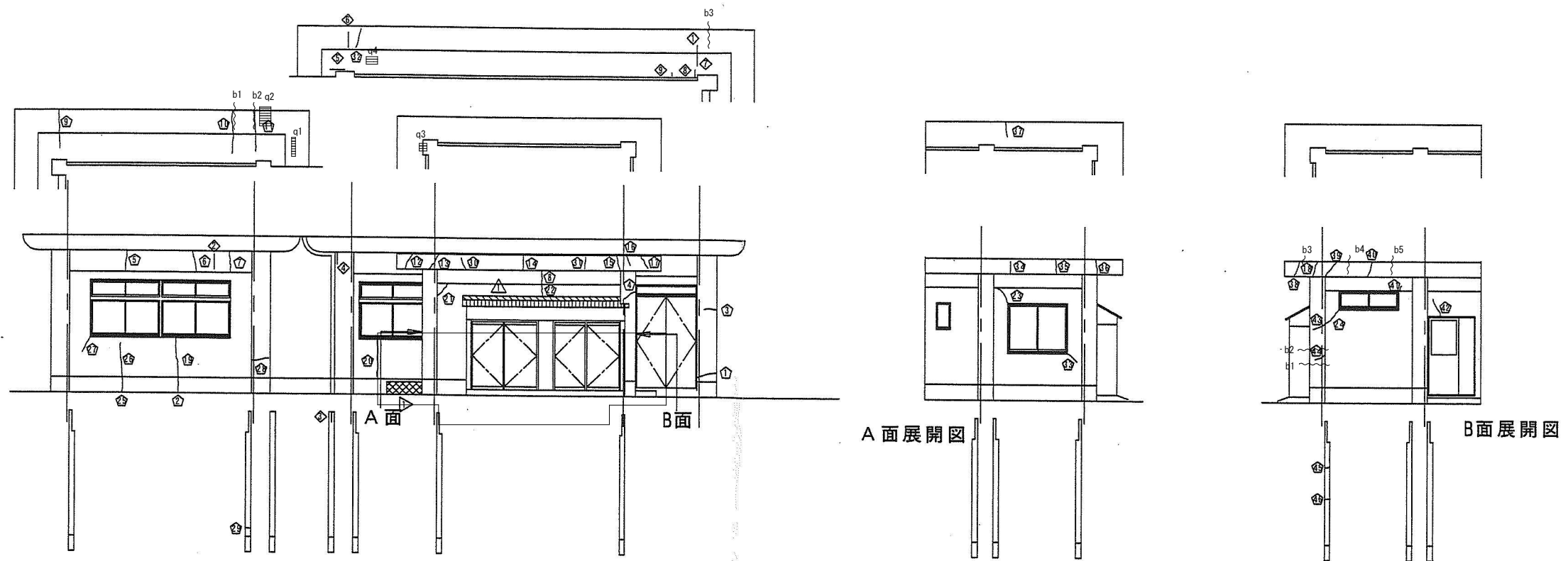


備考	凡例
モルタルひび割れ 幅0.2mm未満 処置なし	a1
モルタルひび割れ 幅0.2-0.5mm未満 樹脂注入	b1
モルタルひび割れ 幅1.0mmを超える Uカット	d1
モルタル錆鉄筋 錆鉄筋部処理	e1
モルタル錆鉄筋部 錆鉄筋部処理	f1
モルタル浮き0.25mm未満 はつり	g1
モルタル浮き0.25mm未満 樹脂注入 一般部	h1
モルタル浮き0.25mm以上 はつり	k1
モルタル欠損 欠損部処理	p1
モルタル塗膜浮き サンダー工法	q1
45二丁目下地浮き0.25mm未満 樹脂注入 一般部	U1

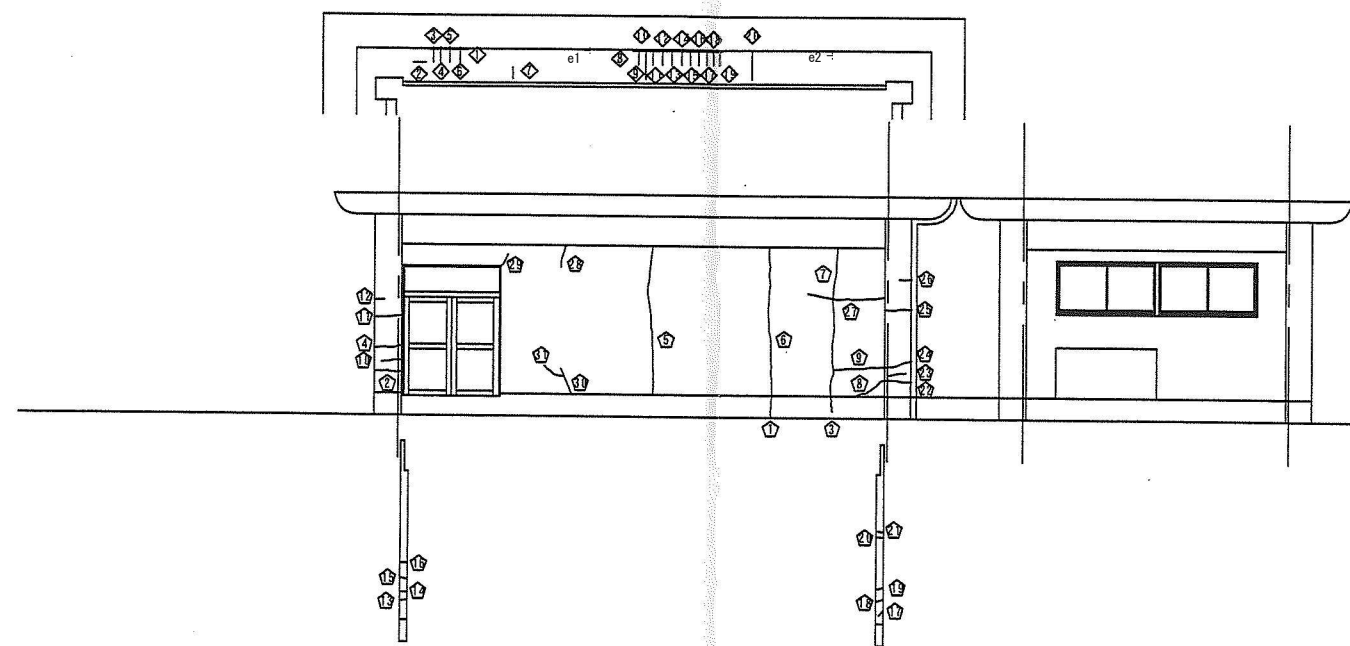
北側立面図2 S=1/100



北側立面図1 S=1/100



第2校舎 東立面・展開図 1:100

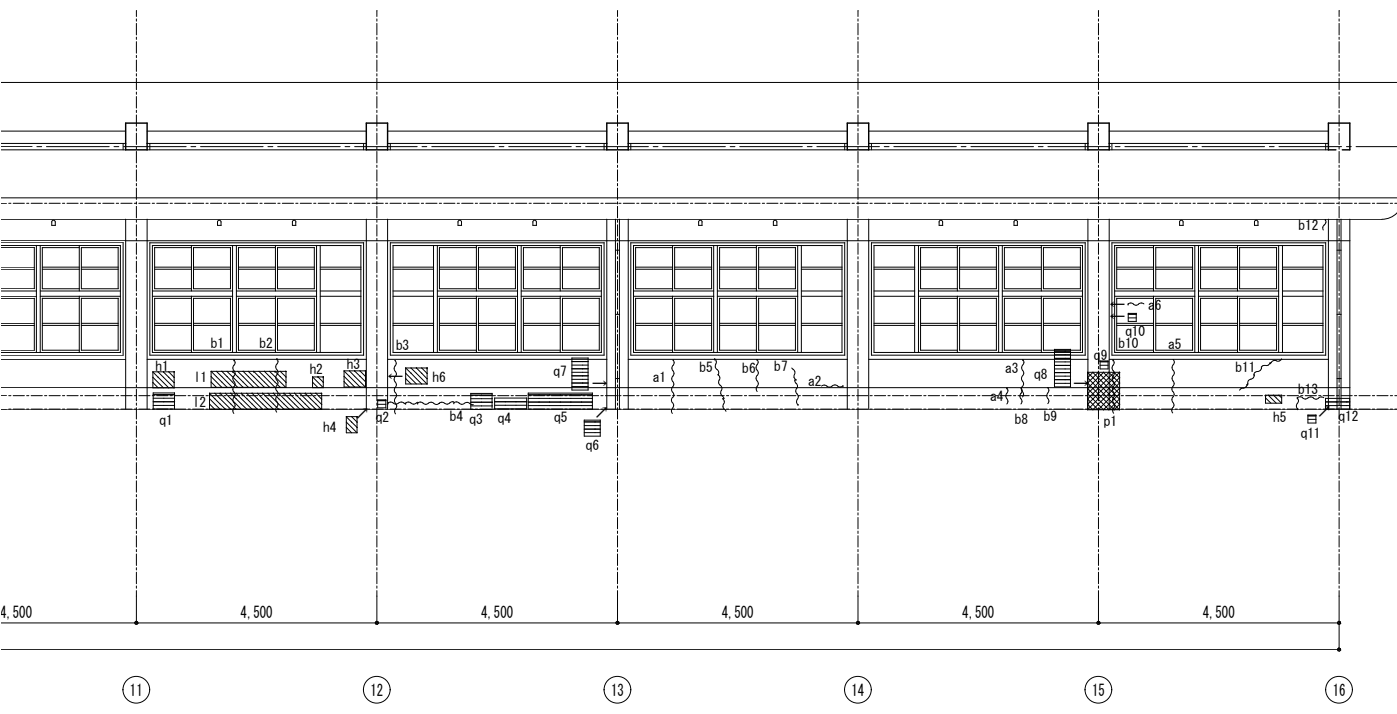


第2校舎 西立面・展開図 1:100

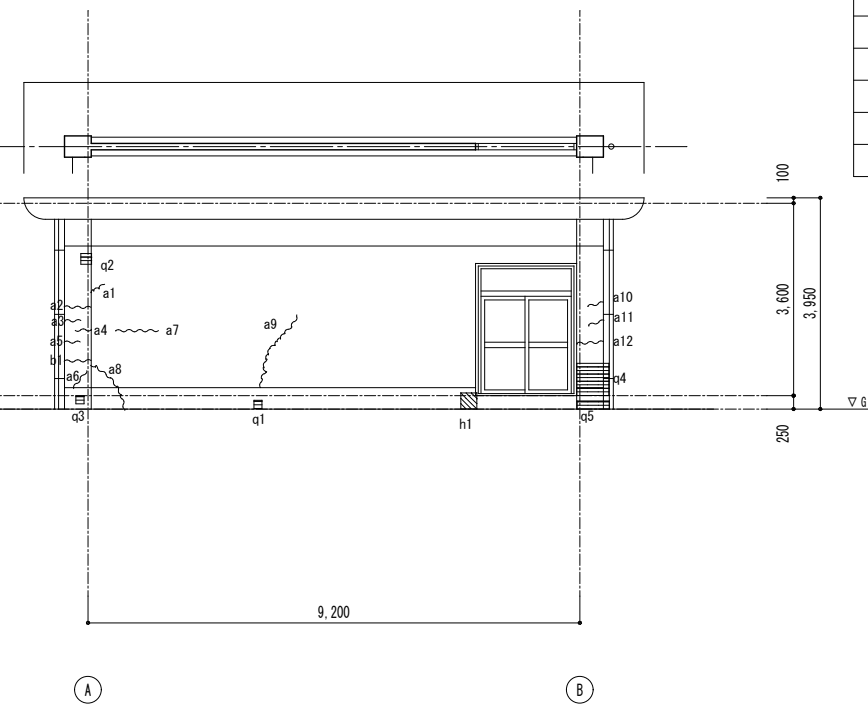
凡例	
記号	名称
	ひび割れ
	鋼鉄筋
	浮き(サンダ)
	浮き(研り)

備考	凡例
モルタルひび割れ 幅0.2mm未満 処置なし	a1 ~~~~~
モルタルひび割れ 幅0.2-0.5mm未満 樹脂注入	b1 ~~~~~
モルタルひび割れ 幅1.0mmを超える Uカッシー	d1 ~~~~~
モルタル鋼鉄筋 鋼鉄筋部処理	e1 -*****
モルタル鋼鉄筋箇所 鋼鉄筋部処理	f1 ⊗
モルタル浮き0.25㎡未満 はつり	g1
モルタル浮き0.25㎡未満 樹脂注入 一般部	h1
モルタル浮き0.25㎡以上 はつり	k1
モルタル欠損 欠損部処理	p1
モルタル塗膜浮き サンダ-工法	q1
45二丁目下地浮き0.25㎡未満 樹脂注入 一般部	U1

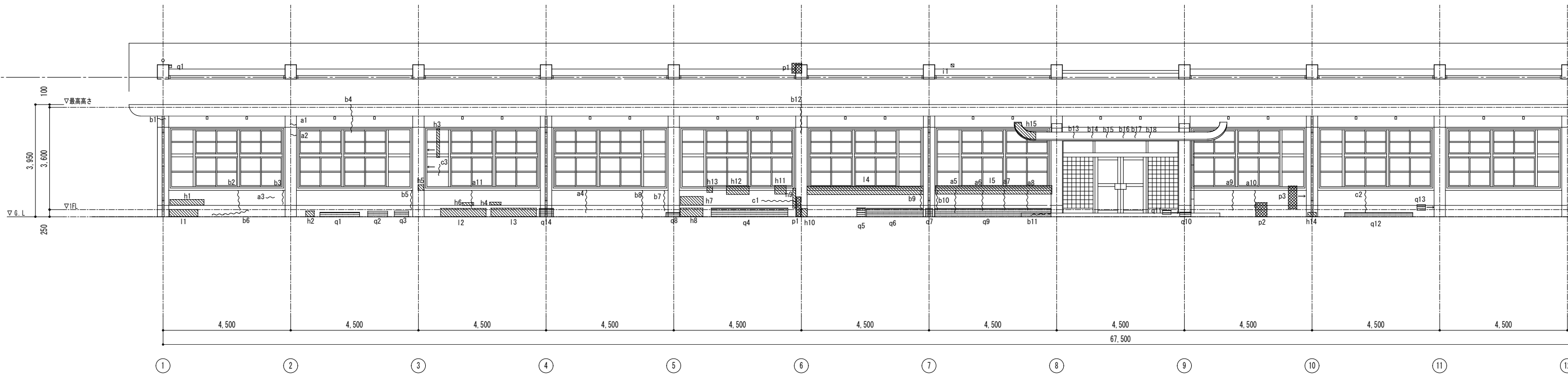
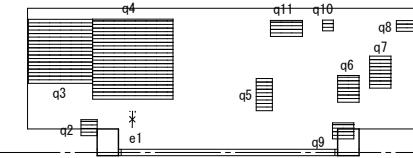
備考	凡例
モルタルひび割れ 幅0.2mm未満 処置なし	a1 ~~~~~
モルタルひび割れ 幅0.2-0.5mm未満 樹脂注入	b1 ~~~~~
モルタルひび割れ 幅0.5-1.0mm未満 樹脂注入	c1 ~~~~~
モルタル錆鉄筋 錆鉄筋部処理	e1 *****
モルタル浮き0.25㎡未満 はつり	g1 [斜線]
モルタル浮き0.25㎡未満 樹脂注入 一般部	h1 [斜線]
モルタル浮き0.25㎡未満 樹脂注入 指定部	i1 [斜線]
モルタル浮き0.25㎡以上 樹脂注入 一般部	l1 [斜線]
モルタル塗膜浮き サグ-工法	q1 [斜線]
モルタル欠損 欠損部処理	p1 [斜線]



南側立面図2 S=1/100

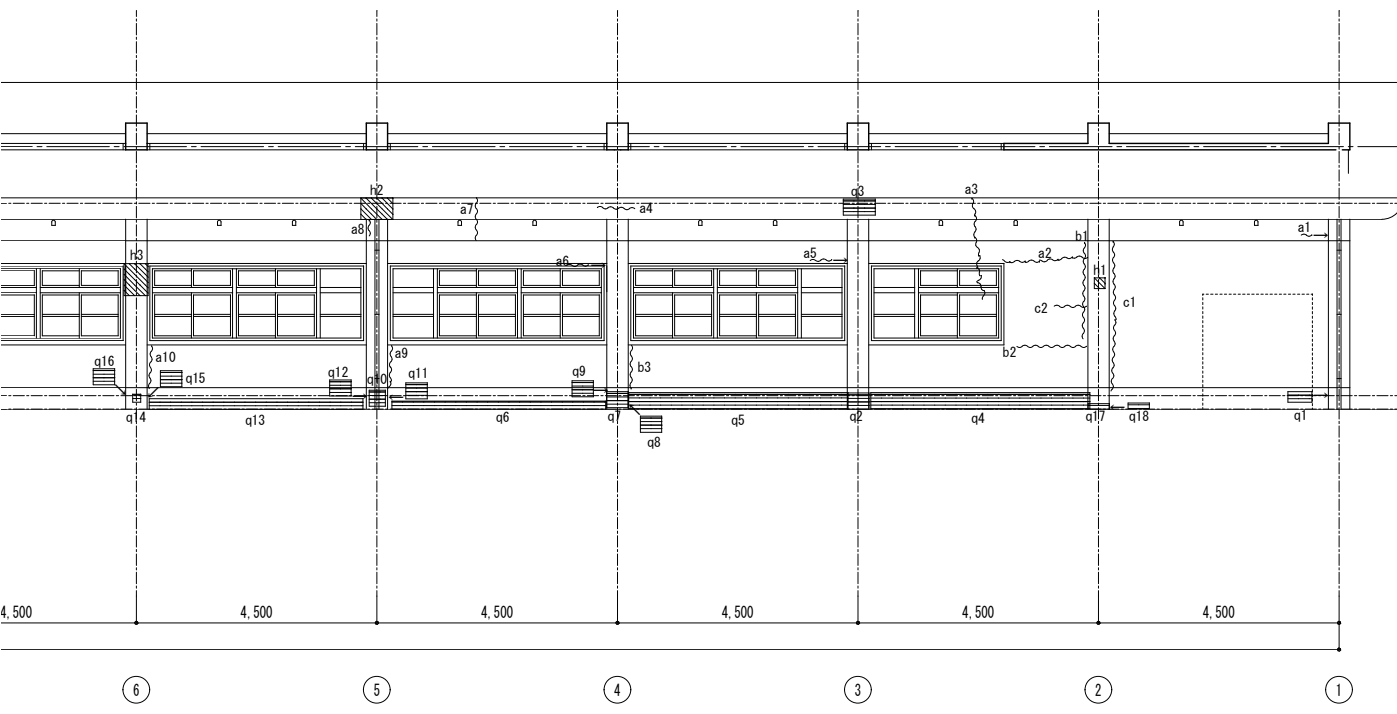


東側立面図 S=1/100

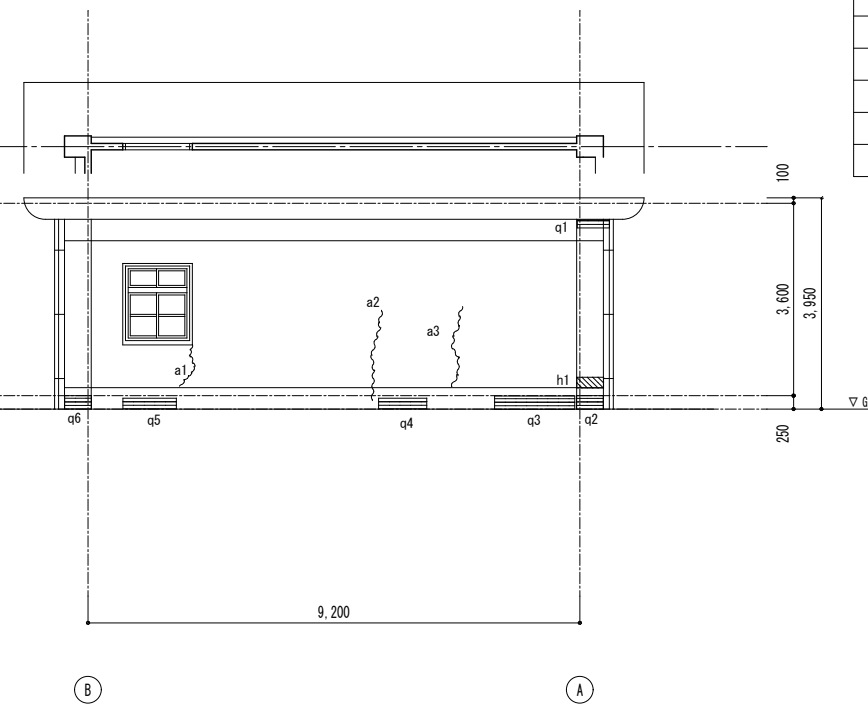


南側立面図1 S=1/100

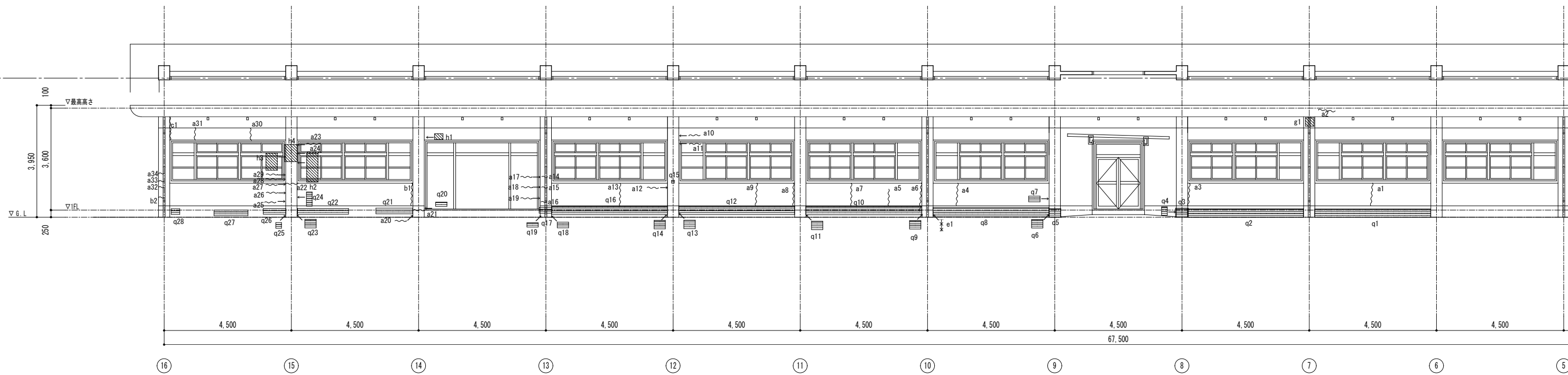
備考	凡例
モルタルひび割れ 幅0.2mm未満 処置なし	a1
モルタルひび割れ 幅0.2-0.5mm未満 樹脂注入	b1
モルタルひび割れ 幅0.5-1.0mm未満 樹脂注入	c1
モルタル錆鉄筋 錆鉄筋部処理	e1
モルタル浮き0.25㎡未満 はつり	g1
モルタル浮き0.25㎡未満 樹脂注入 一般部	h1
モルタル浮き0.25㎡未満 樹脂注入 指定部	i1
モルタル浮き0.25㎡以上 樹脂注入 一般部	l1
モルタル塗膜浮き サンド-工法	q1
モルタル欠損 欠損部処理	p1



北側立面図2 S=1/100

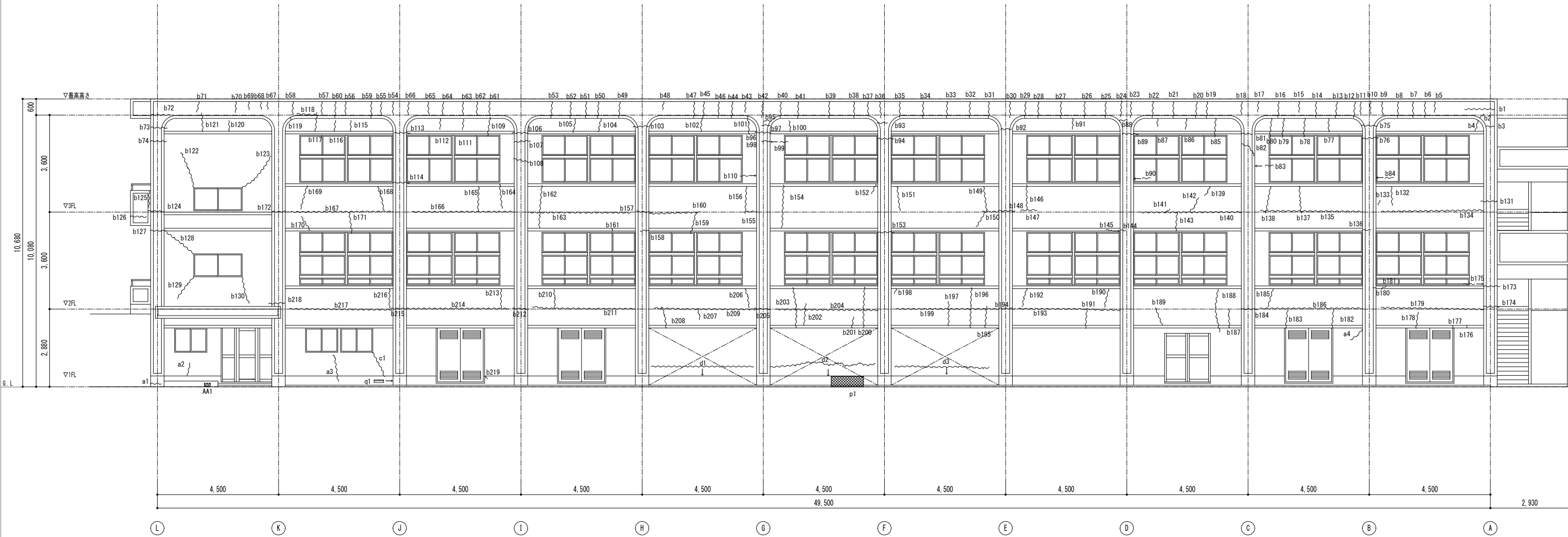


西側立面図 S=1/100

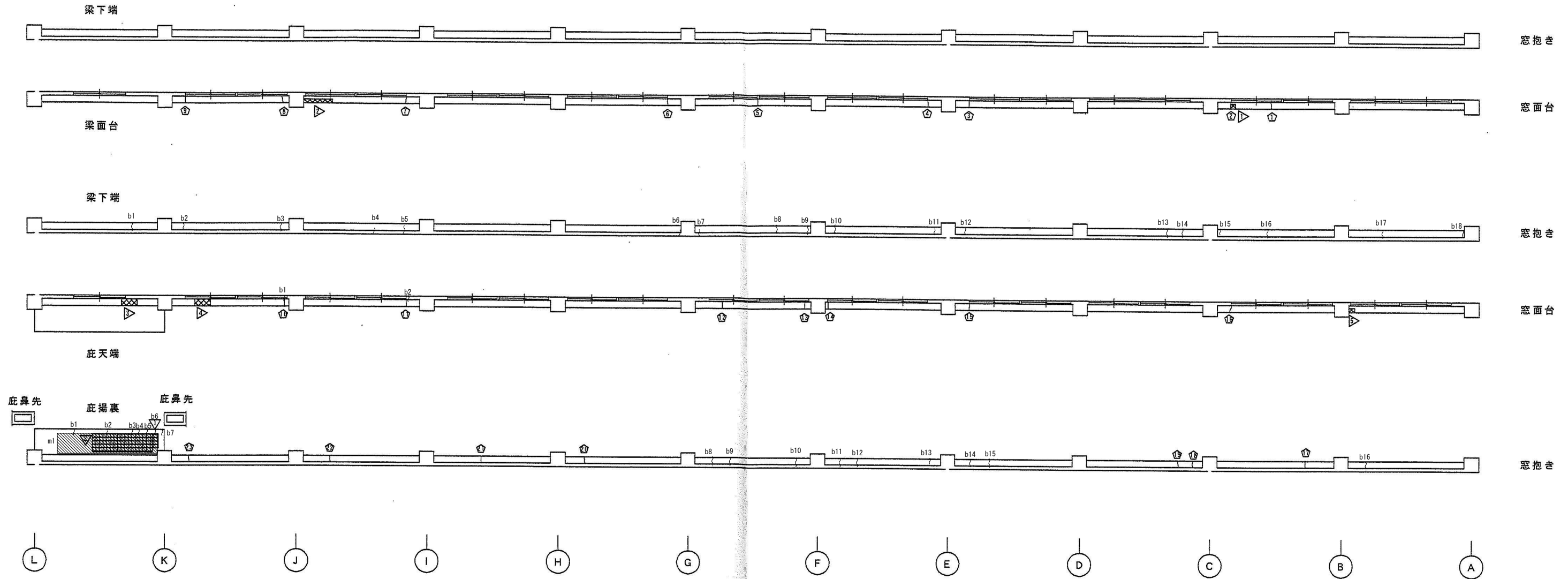


北側立面図1 S=1/100

備 考	凡 例
凹凸ひび割れ 幅0.2mm未満 処置なし	a1 ~~~~~
凹凸ひび割れ 幅0.2-0.5mm未満 樹脂注入	b1 ~~~~~
凹凸ひび割れ 幅0.5-1.0mm以下 樹脂注入	c1 ~~~~~
凹凸ひび割れ 幅1.0mmを超える かつし	d1 ~~~~~
凹凸浮き0.25mm未満 樹脂注入 一般部	h1
凹凸浮き0.25mm以上 樹脂注入 一般部	l1
凹凸浮き0.25mm以上 樹脂注入 指定部	m1
凹凸欠損 欠損部処理	p1
凹凸塗膜浮き サグ-工法	q1
45二丁目欠損 張替え	AA1
段鼻欠損 張替え	AA1
役物欠損 張替え	AA1



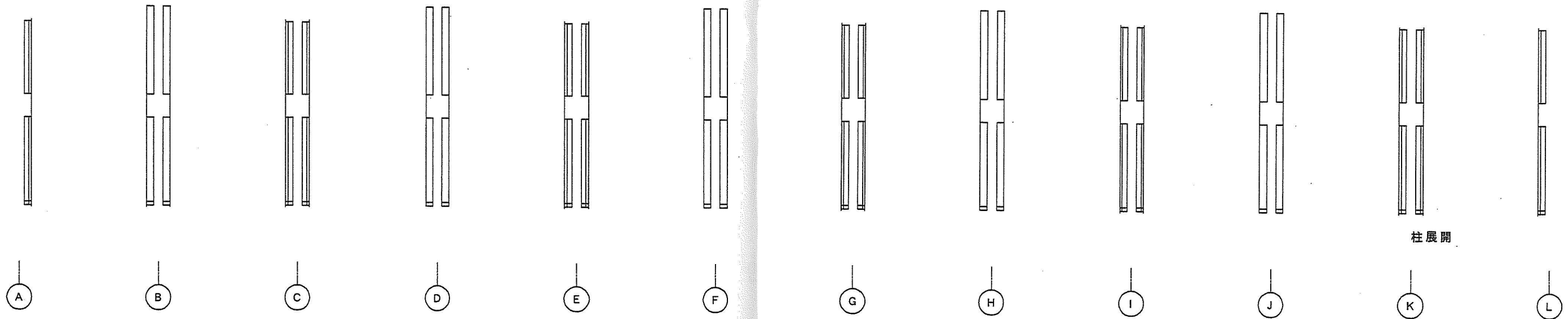
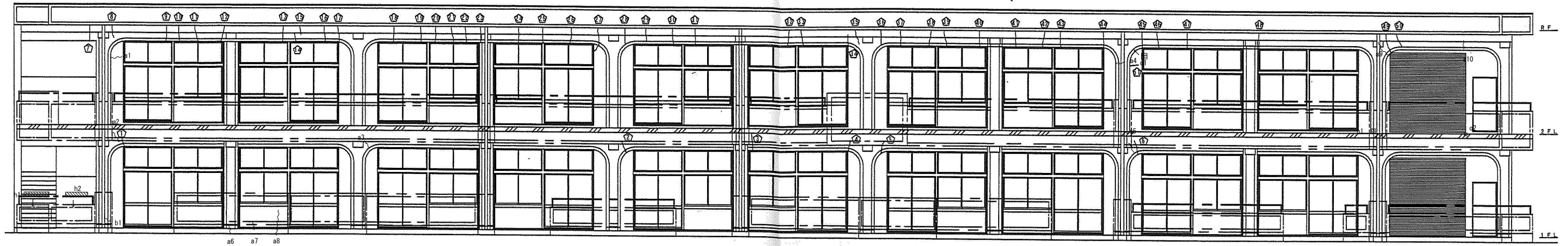
北側立面図 S=1/100



北立面・展開図2 1:100

凡例	
記号	名称
	ひび割れ
	補鉄筋
	浮き(上)の浮き
	浮き(断り)
	仕上材の浮き

備考	凡例
モルタルひび割れ 幅0.2mm未満 処置なし	a1
モルタルひび割れ 幅0.2-0.5mm未満 樹脂注入	b1
モルタルひび割れ 幅0.5-1.0mm以下 樹脂注入	c1
モルタルひび割れ 幅1.0mmを超える Uカット	d1
モルタル浮き0.25㎡未満 樹脂注入 一般部	h1
モルタル浮き0.25㎡以上 樹脂注入 一般部	l1
モルタル浮き0.25㎡以上 樹脂注入 指定部	m1
モルタル欠損 欠損部処理	p1
モルタル塗膜浮き サンダー工法	q1
45°丁欠損 張替え	AA1
段鼻欠損 張替え	AA1
役物欠損 張替え	AA1

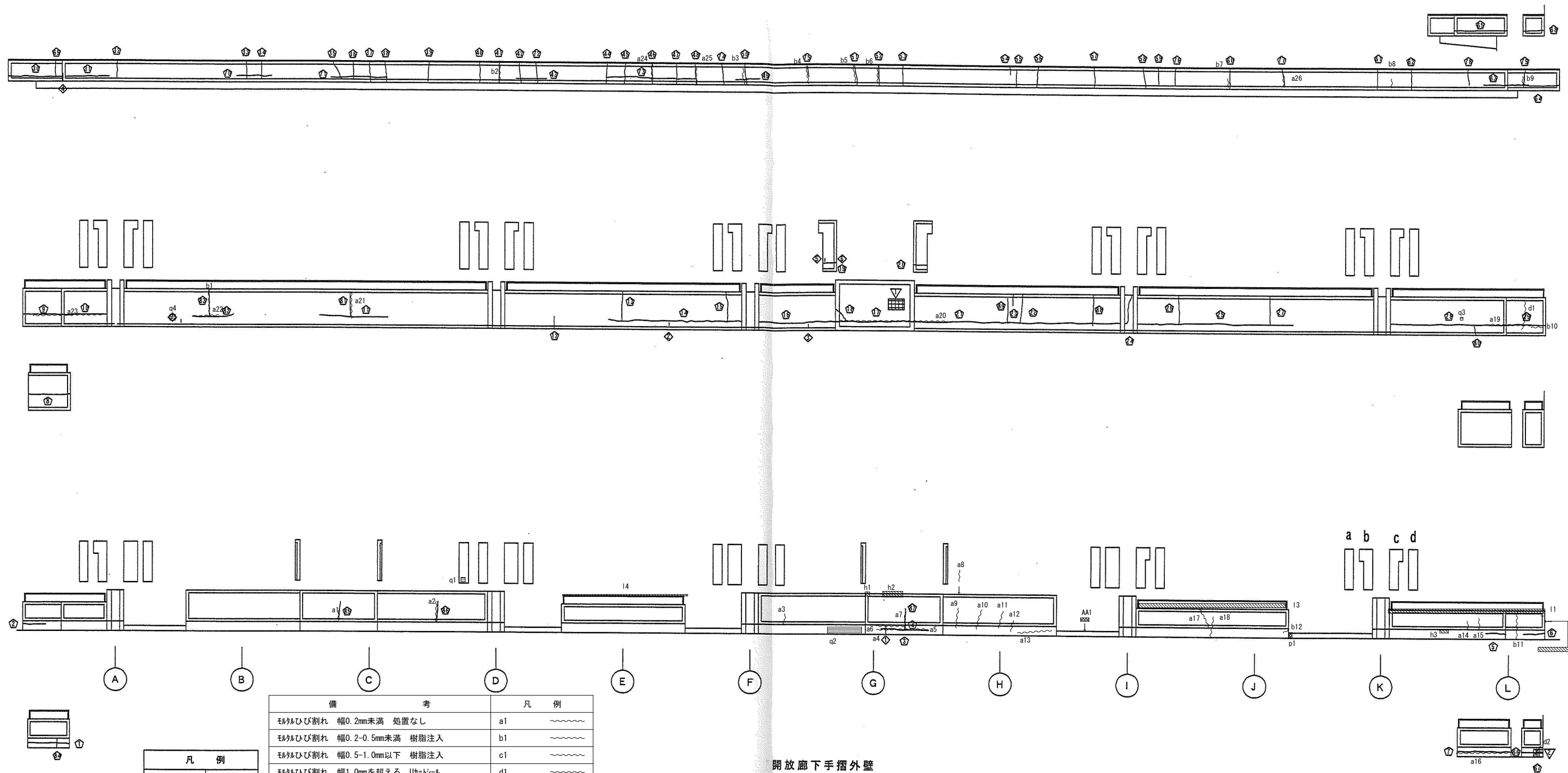


柱展開

南立面・展開図1 1:100

凡例	
記号	名称
	ひび割れ
	露鉄筋
	浮き(「コンクリート」)
	浮き(新り)
	仕上材の浮き

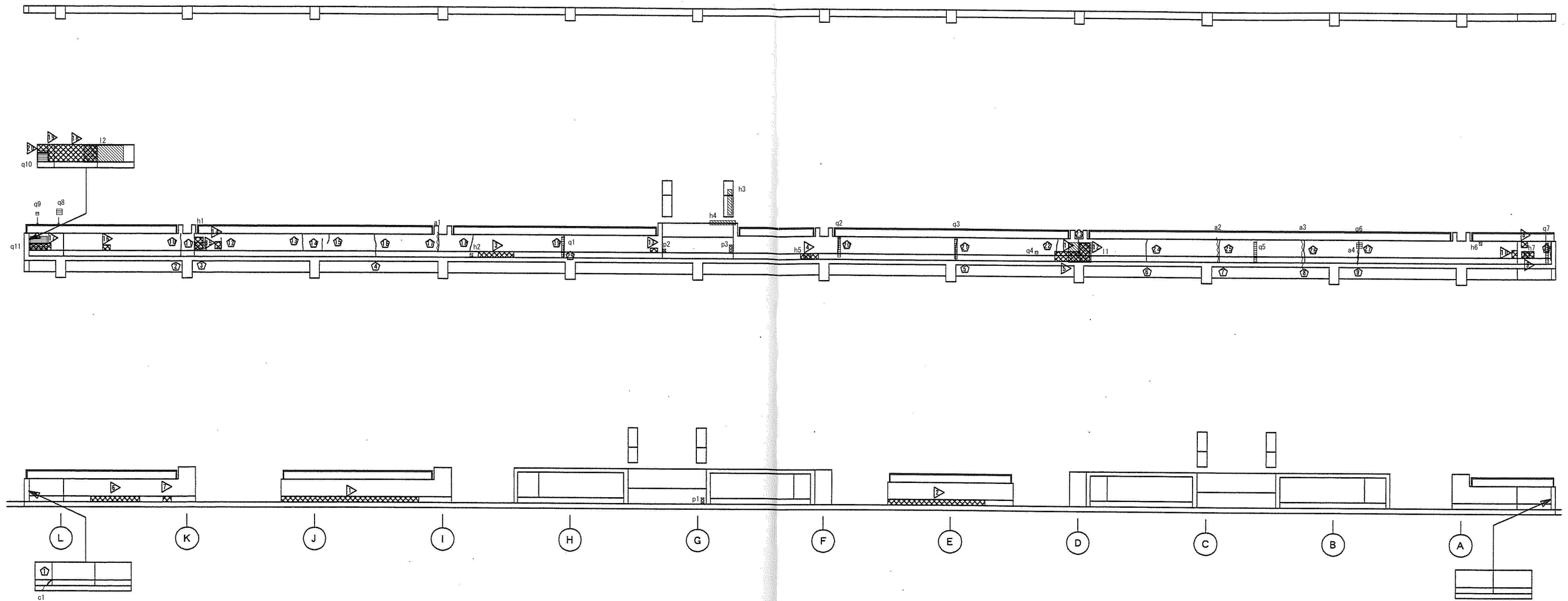
備考	凡例
モルタルひび割れ 幅0.2mm未満 処置なし	a1
モルタルひび割れ 幅0.2-0.5mm未満 樹脂注入	b1
モルタルひび割れ 幅0.5-1.0mm以下 樹脂注入	c1
モルタルひび割れ 幅1.0mmを超える Uカット	d1
モルタル浮き0.25㎡未満 樹脂注入 一般部	h1
モルタル浮き0.25㎡以上 樹脂注入 一般部	l1
モルタル浮き0.25㎡以上 樹脂注入 指定部	m1
モルタル欠損 欠損部処理	p1
モルタル塗膜浮き サンダー工法	q1
45°丁たい欠損 張替え	AA1
段鼻たい欠損 張替え	AA1
役物たい欠損 張替え	AA1



凡例	
記号	名称
	ひび割れ
	剥離
	浮き(剥がれ)
	浮き(剥がれ)
	仕上材の浮き

備考	凡例
モルタルひび割れ 幅0.2mm未満 処置なし	a1
モルタルひび割れ 幅0.2-0.5mm未満 樹脂注入	b1
モルタルひび割れ 幅0.5-1.0mm以下 樹脂注入	c1
モルタルひび割れ 幅1.0mmを超える Uカット	d1
モルタル浮き0.25㎡未満 樹脂注入 一般部	h1
モルタル浮き0.25㎡以上 樹脂注入 一般部	l1
モルタル浮き0.25㎡以上 樹脂注入 指定部	m1
モルタル欠損 欠損部処理	p1
モルタル塗膜浮き サンダー工法	q1
45二丁目欠損 張替え	AA1
段鼻欠損 張替え	AA1
役物欠損 張替え	AA1

南立面・展開図 2 1:100



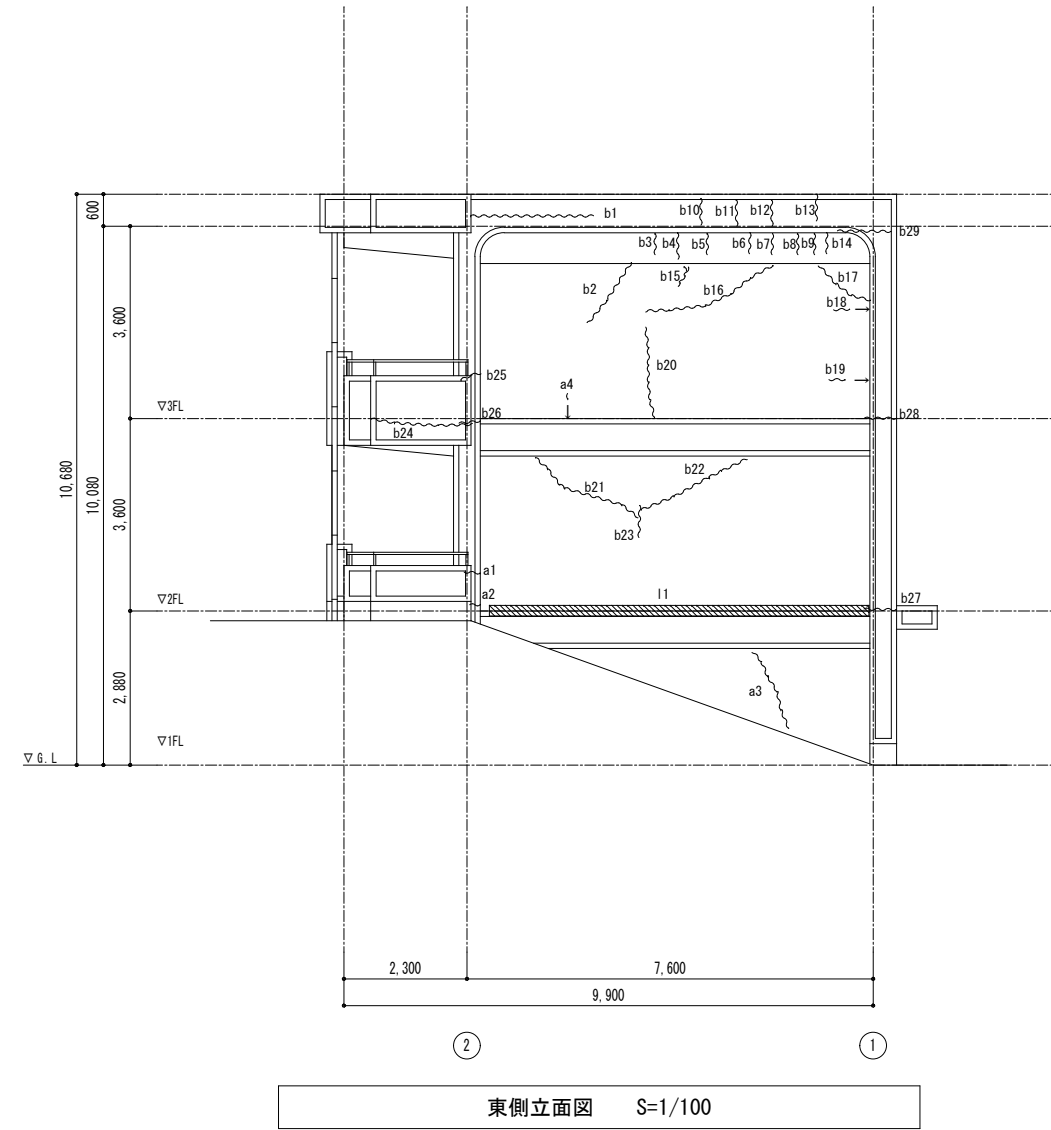
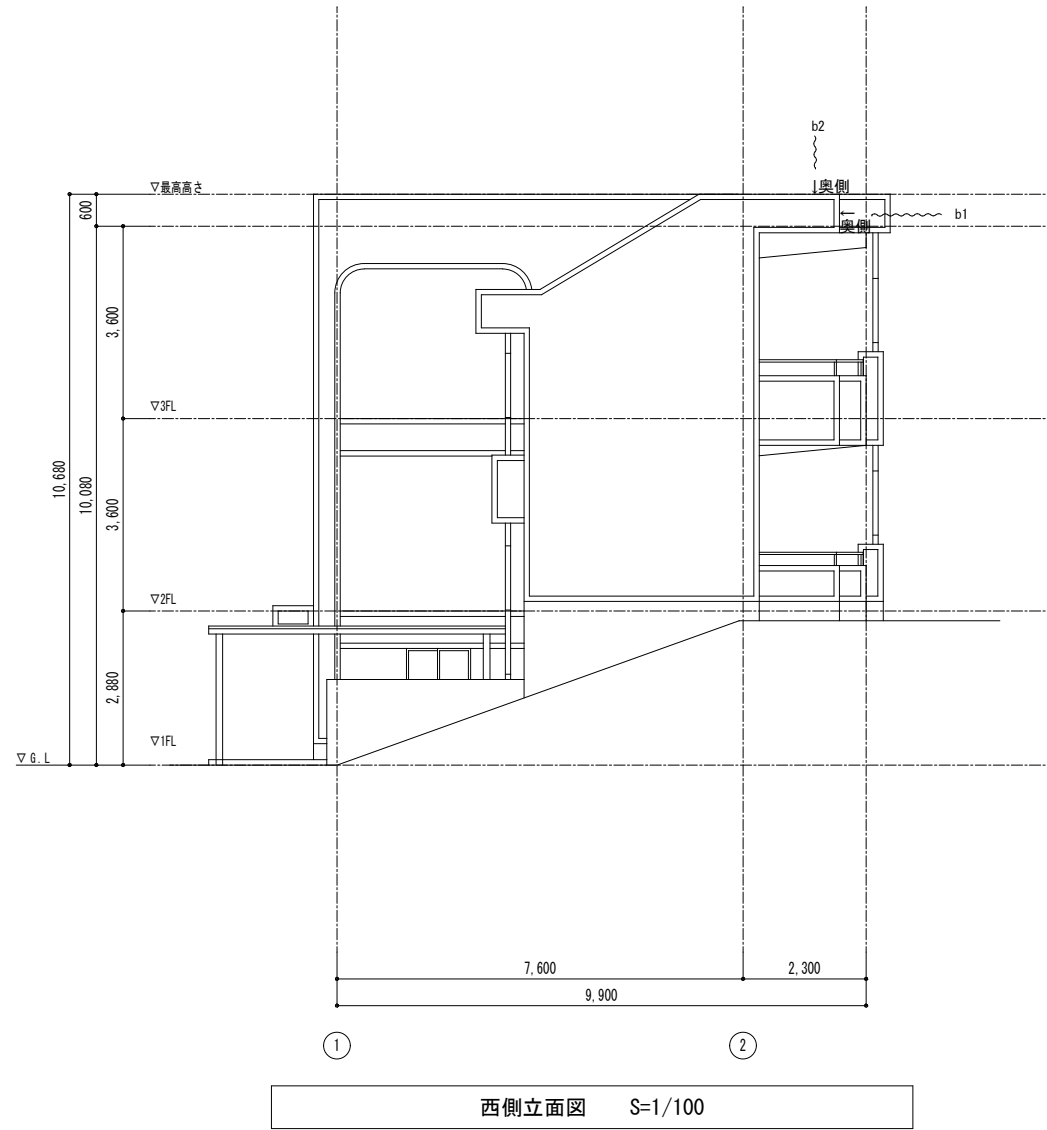
開放廊下手摺内壁

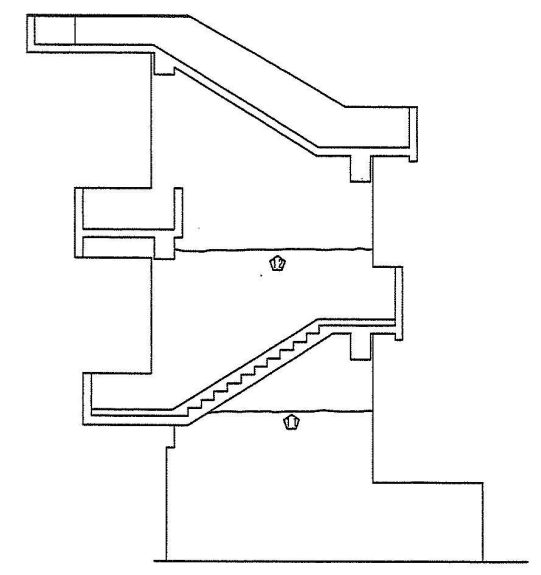
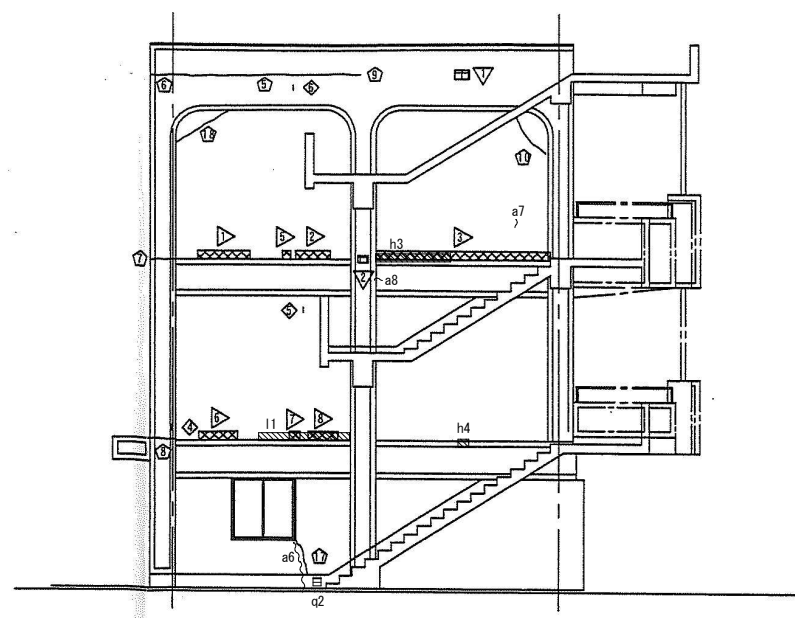
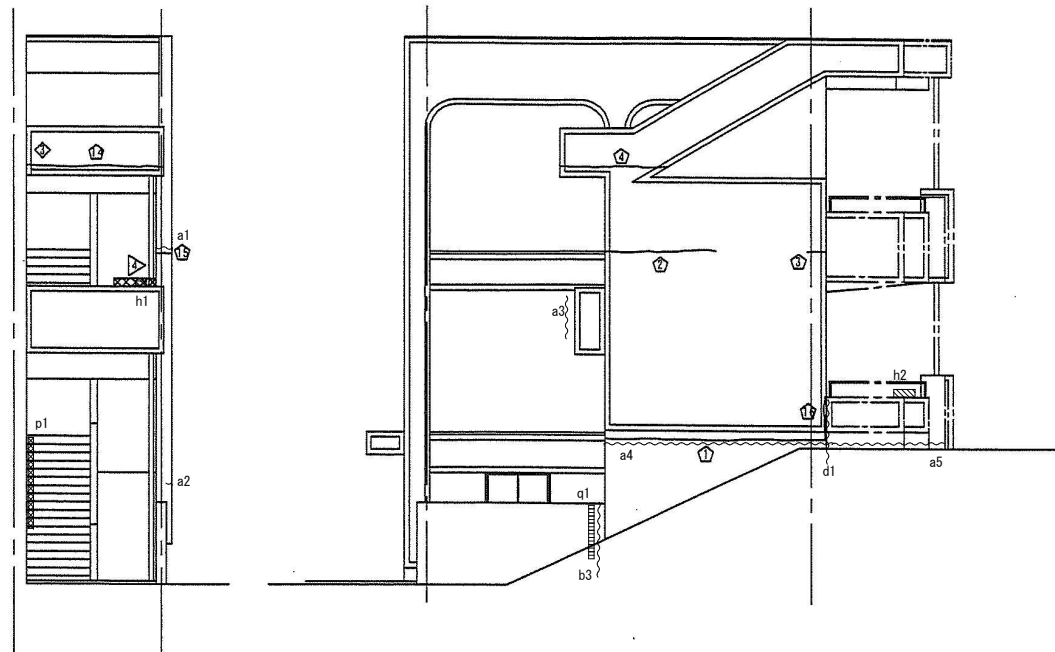
南立面・展開図3 1:100

凡例	
記号	名称
	ひび割れ
	筋鉄筋
	浮き(上)
	浮き(下)
	仕上材の浮き

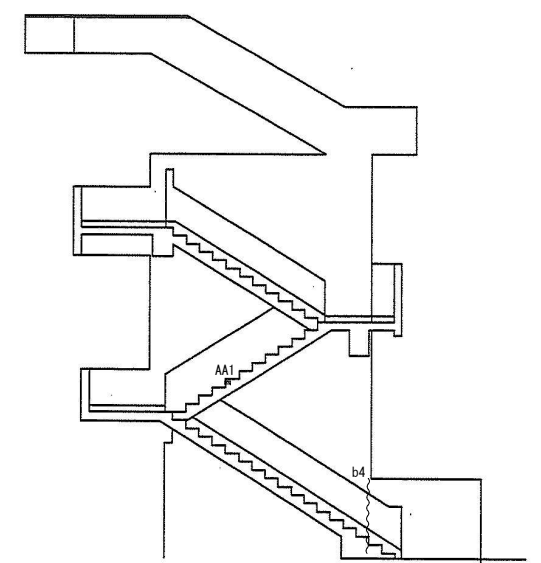
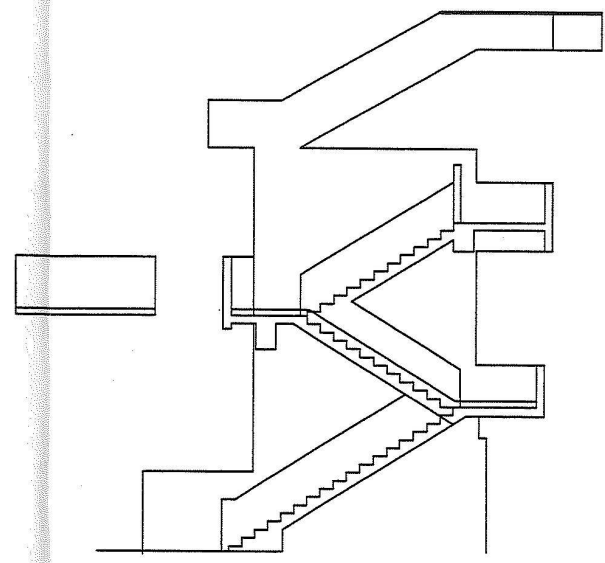
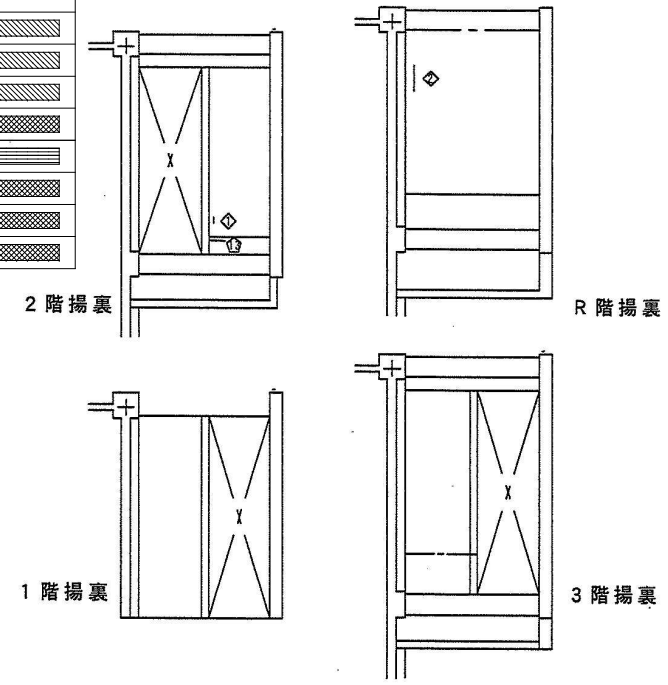
備考	凡例
モルタルひび割れ 幅0.2mm未満 処置なし	a1
モルタルひび割れ 幅0.2-0.5mm未満 樹脂注入	b1
モルタルひび割れ 幅0.5-1.0mm以下 樹脂注入	c1
モルタルひび割れ 幅1.0mmを超える Uカット	d1
モルタル浮き0.25mm未満 樹脂注入 一般部	h1
モルタル浮き0.25mm以上 樹脂注入 一般部	l1
モルタル浮き0.25mm以上 樹脂注入 指定部	m1
モルタル欠損 欠損部処理	p1
モルタル塗膜浮き サツガ-工法	q1
45二丁タイル欠損 張替え	AA1
段鼻タイル欠損 張替え	AA1
役物タイル欠損 張替え	AA1

備 考	凡 例
モルタルひび割れ 幅0.2mm未満 処置なし	a1 ~~~~~
モルタルひび割れ 幅0.2-0.5mm未満 樹脂注入	b1 ~~~~~
モルタルひび割れ 幅0.5-1.0mm以下 樹脂注入	c1 ~~~~~
モルタルひび割れ 幅1.0mmを超える かつし	d1 ~~~~~
モルタル浮き0.25㎡未満 樹脂注入 一般部	h1
モルタル浮き0.25㎡以上 樹脂注入 一般部	l1
モルタル浮き0.25㎡以上 樹脂注入 指定部	m1
モルタル欠損 欠損部処理	p1
モルタル塗膜浮き サンド-工法	q1
45二丁タイル欠損 張替え	AA1
段鼻タイル欠損 張替え	AA1
役物タイル欠損 張替え	AA1





備考	凡例
モルタルひび割れ 幅0.2mm未満 処置なし	a1
モルタルひび割れ 幅0.2-0.5mm未満 樹脂注入	b1
モルタルひび割れ 幅0.5-1.0mm以下 樹脂注入	c1
モルタルひび割れ 幅1.0mmを超える ウッドシル	d1
モルタル浮き0.25㎡未満 樹脂注入 一般部	h1
モルタル浮き0.25㎡以上 樹脂注入 一般部	l1
モルタル浮き0.25㎡以上 樹脂注入 指定部	m1
モルタル欠損 欠損部処理	p1
モルタル塗膜浮き サンド-工法	q1
45ニ丁タル欠損 張替え	AA1
段鼻タル欠損 張替え	AA1
役物タル欠損 張替え	AA1



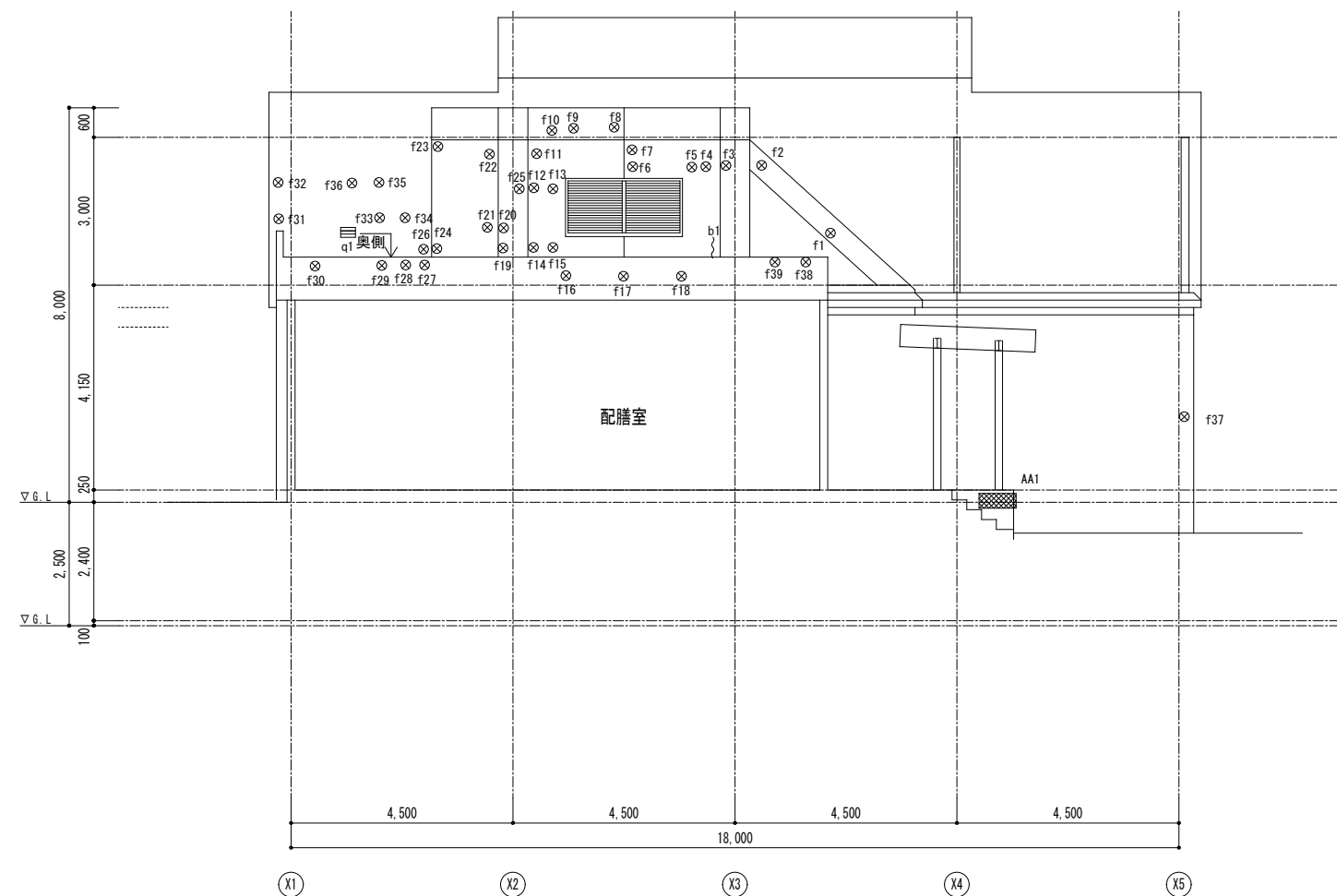
西立面・展開図 1:100

凡例	
記号	名称
	ひび割れ
	樹脂注入
	浮き(サンド)
	浮き(研リ)
	仕上材の浮き

備考	凡例
モルタルひび割れ 幅0.2mm未満 処置なし	a1
モルタルひび割れ 幅0.2-0.5mm未満 樹脂注入	b1
モルタル錆筋箇所 錆筋部処理	f1
モルタル浮き0.25㎡以上 樹脂注入 一般部	l1
モルタル塗膜浮き カタ'-工法	q1
モルタル亀甲ひび割れ	r1
段鼻タイル欠損 張替え	AA1



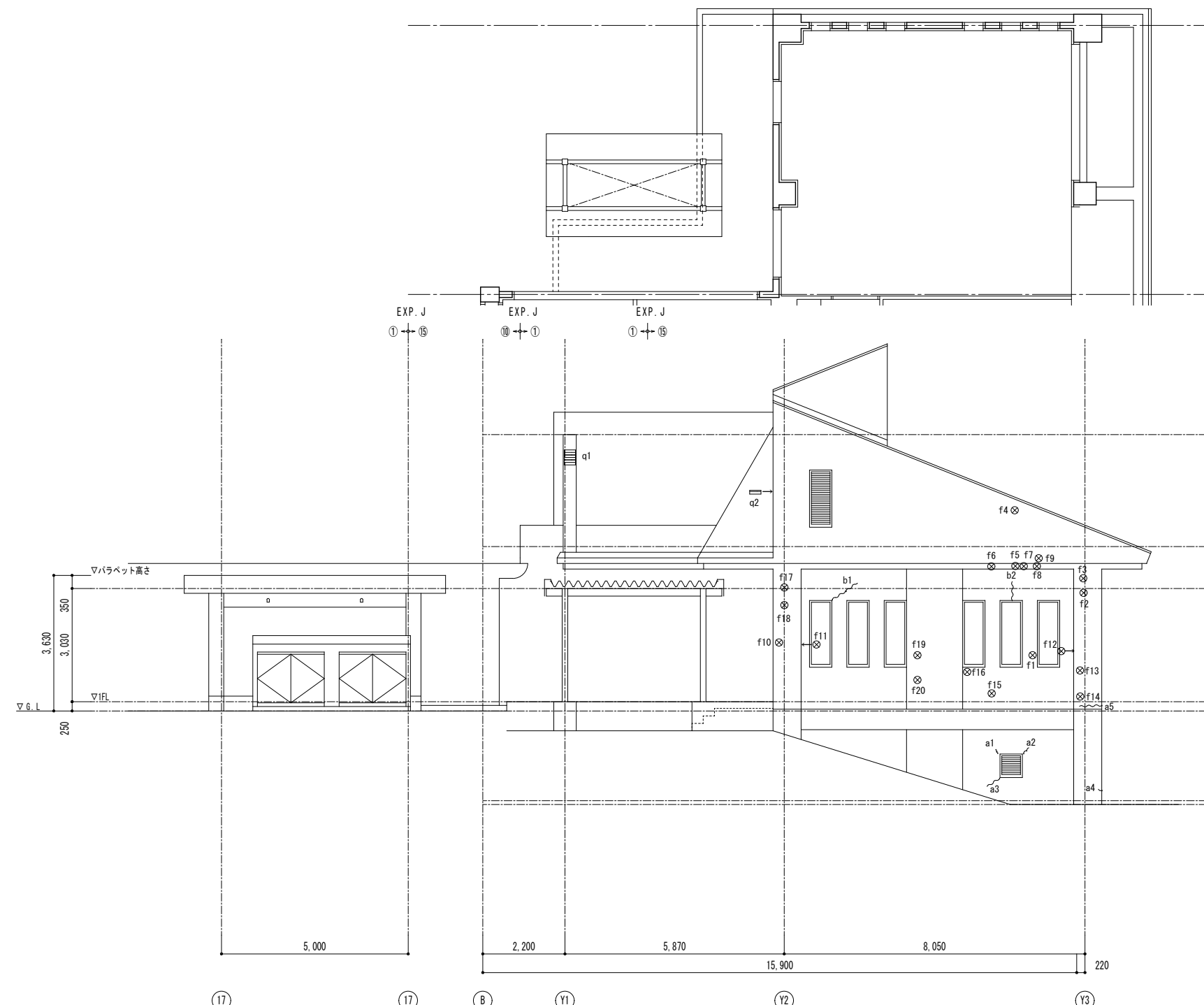
北側立面図 S=1/100



南側立面図 1 S=1/100

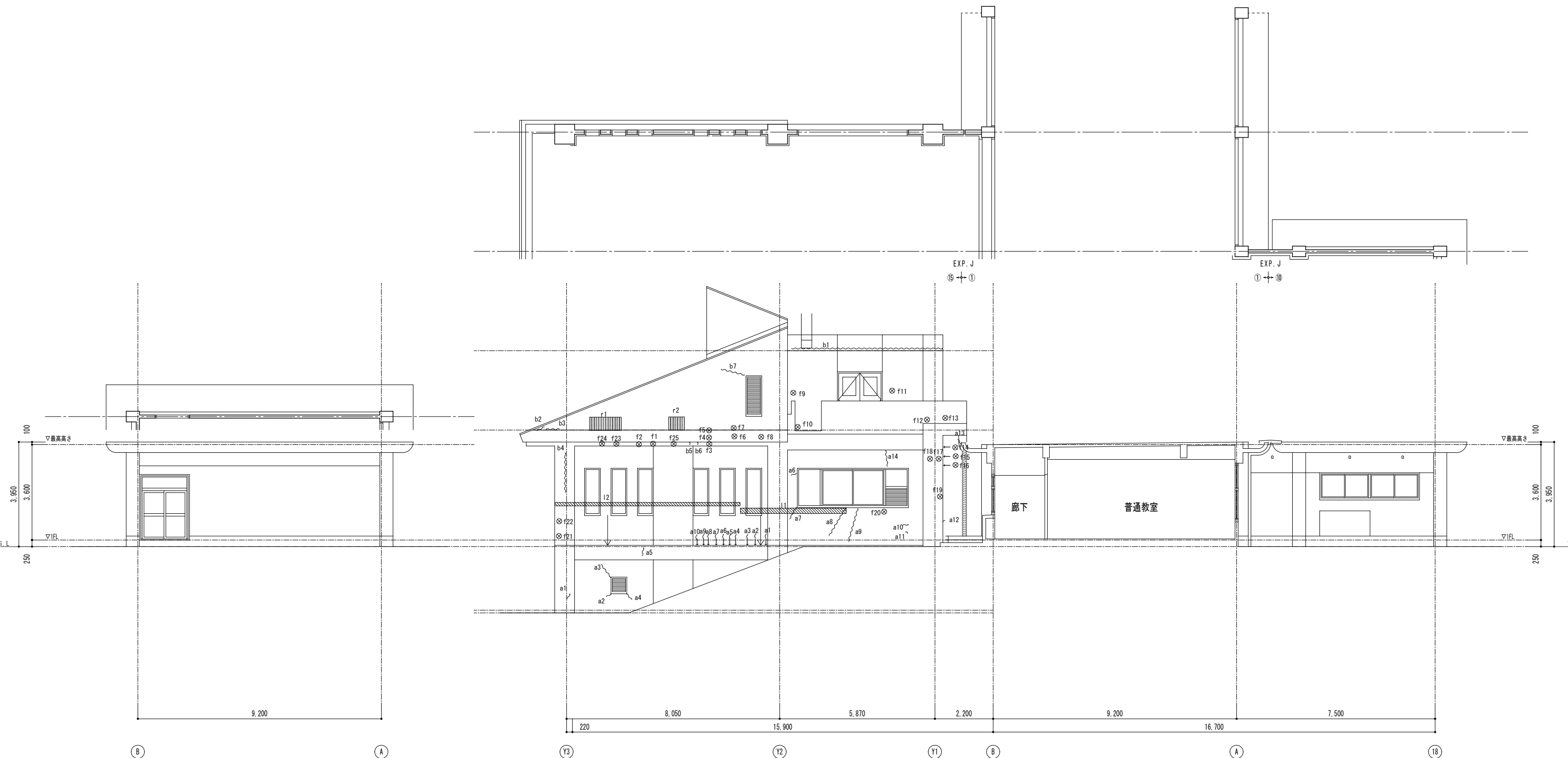


備考	凡例
モルタルひび割れ 幅0.2mm未満 処置なし	a1
モルタルひび割れ 幅0.2-0.5mm未満 樹脂注入	b1
モルタル錆筋箇所 錆鉄筋部処理	f1
モルタル浮き0.25㎡以上 樹脂注入 一般部	l1
モルタル塗膜浮き カタ工法	q1
モルタル亀甲ひび割れ	r1
段鼻タイル欠損 張替え	AA1



東側立面図 1 S=1/100

備考	凡例
モルタルひび割れ 幅0.2mm未満 処置なし	a1
モルタルひび割れ 幅0.2-0.5mm未満 樹脂注入	b1
モルタル錆鉄筋箇所 錆鉄筋部処理	f1
モルタル浮き0.25㎡以上 樹脂注入 一般部	l1
モルタル塗膜浮き カタ工法	q1
モルタル亀甲ひび割れ	r1
段鼻タイル欠損 張替え	AA1



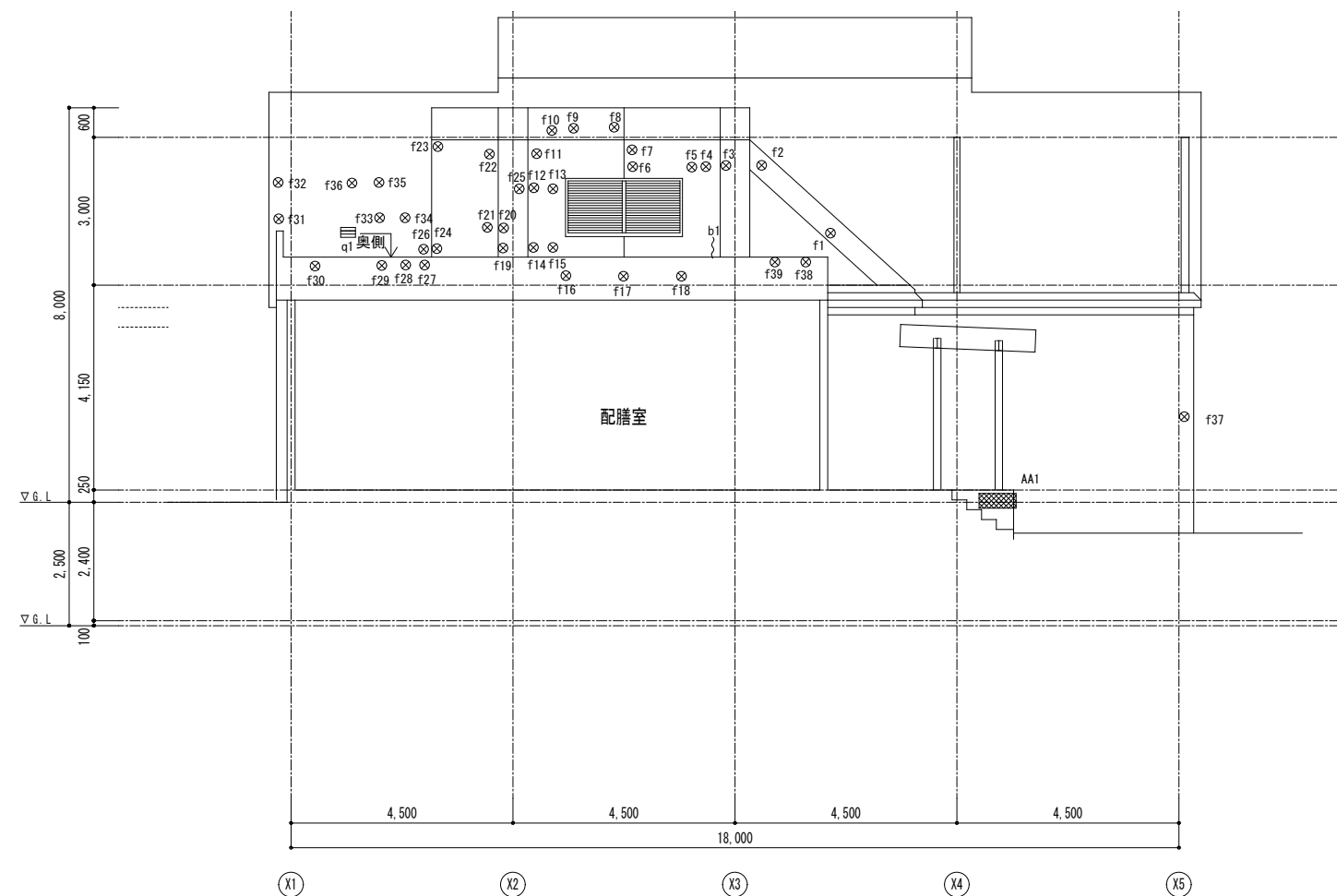
西側立面図 1 S=1/100

西側立面図 2 S=1/100

備考	凡例
モルタルひび割れ 幅0.2mm未満 処置なし	a1
モルタルひび割れ 幅0.2-0.5mm未満 樹脂注入	b1
モルタル錆筋箇所 錆筋部処理	f1
モルタル浮き0.25㎡以上 樹脂注入 一般部	l1
モルタル塗膜浮き カタ'-工法	q1
モルタル亀甲ひび割れ	r1
段鼻タイル欠損 張替え	AA1

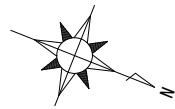


北側立面図 S=1/100

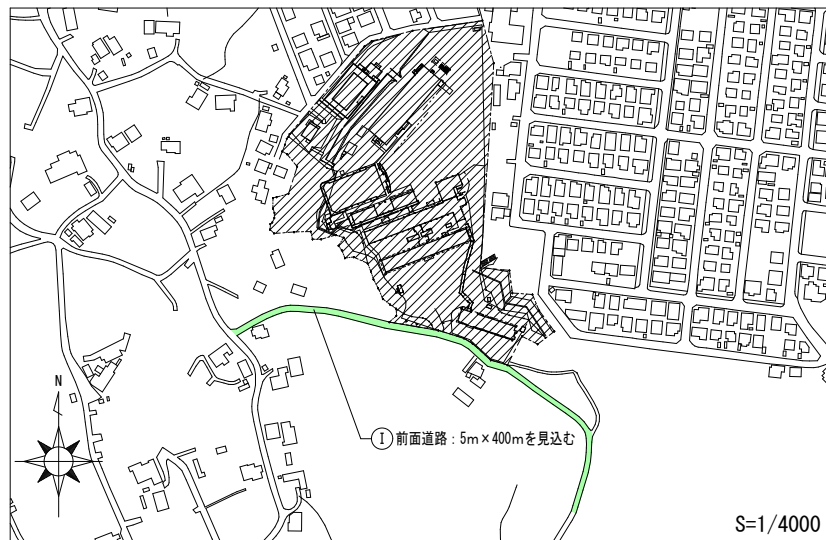
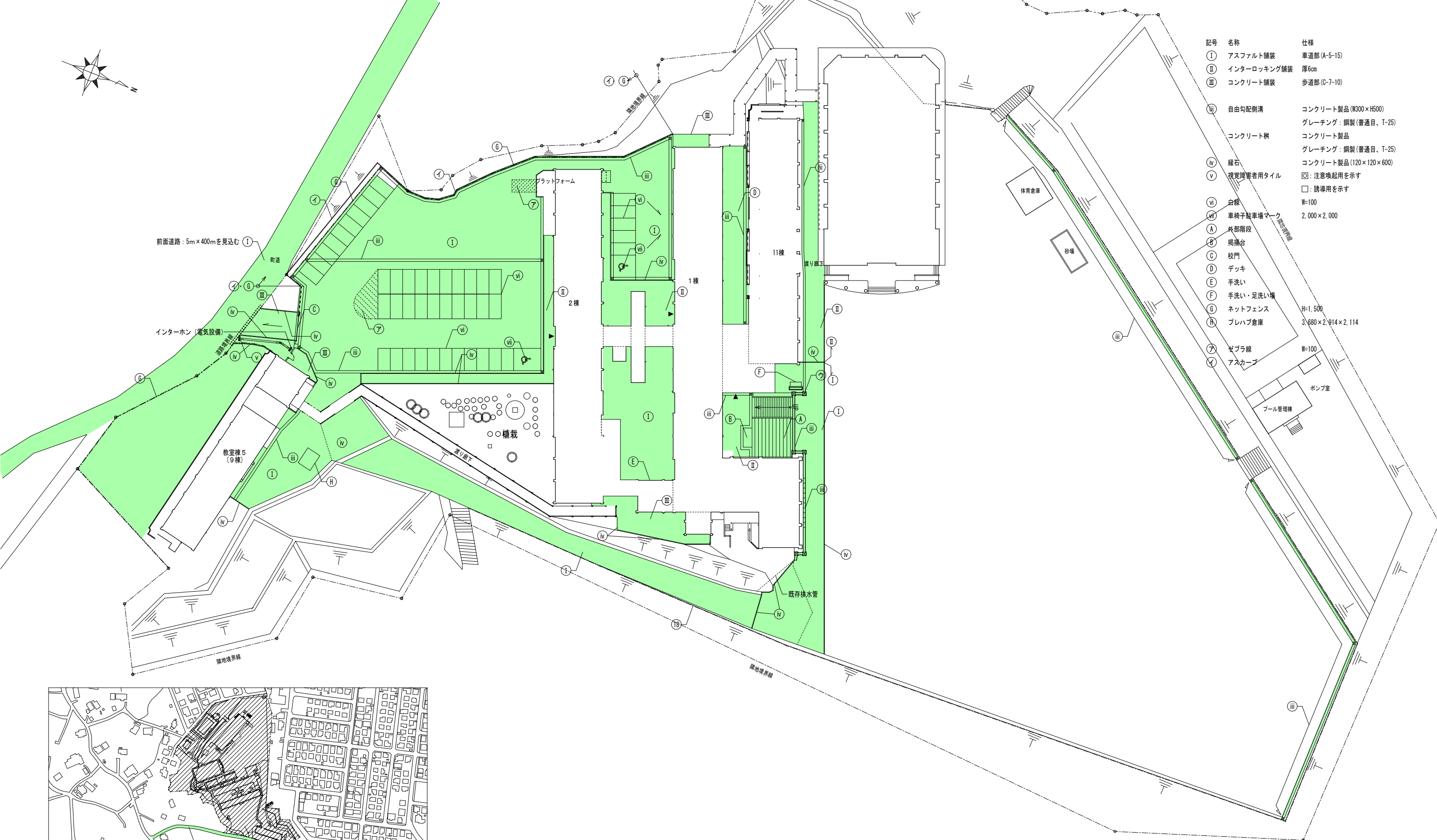


南側立面図 1 S=1/100

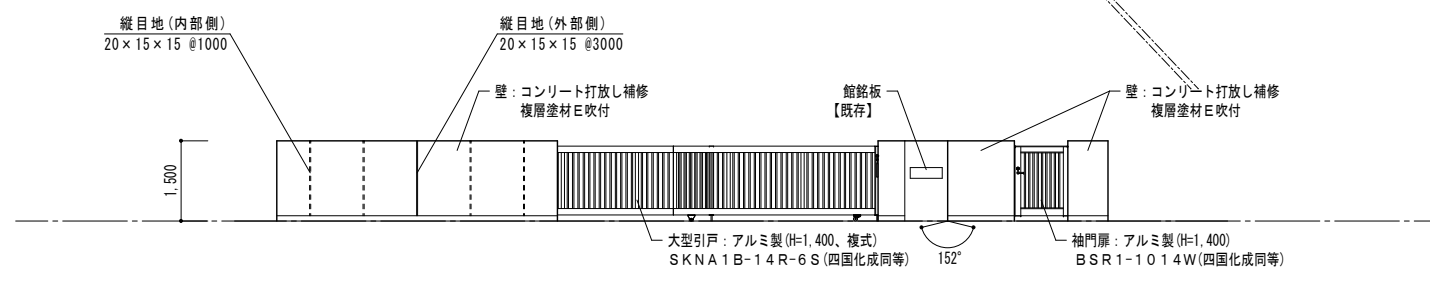
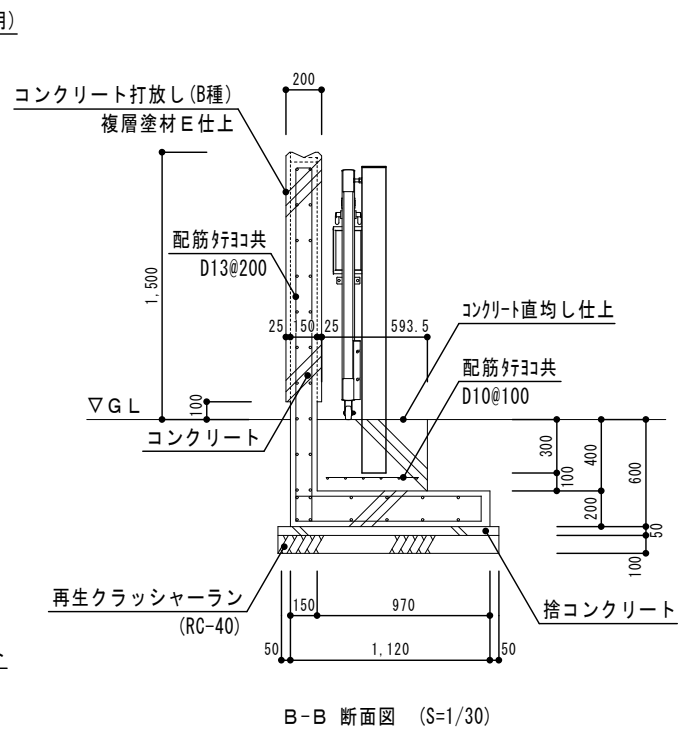
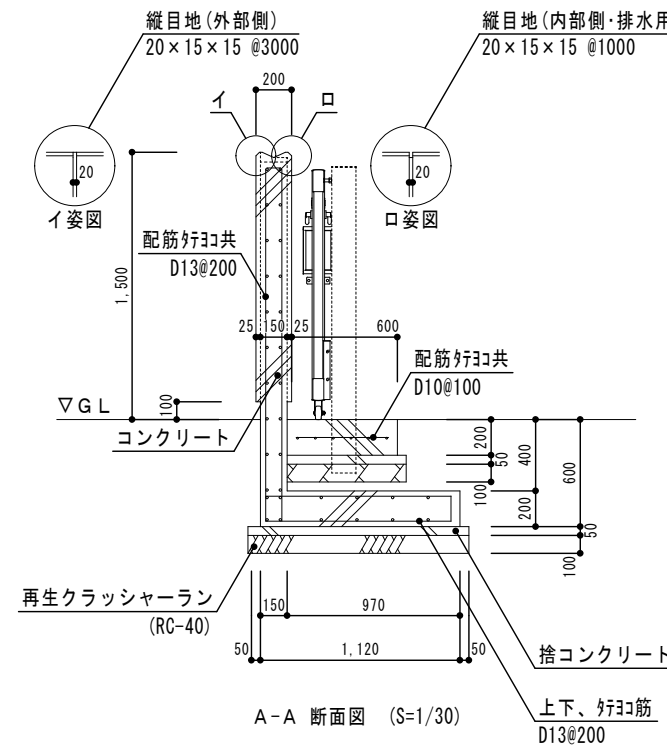
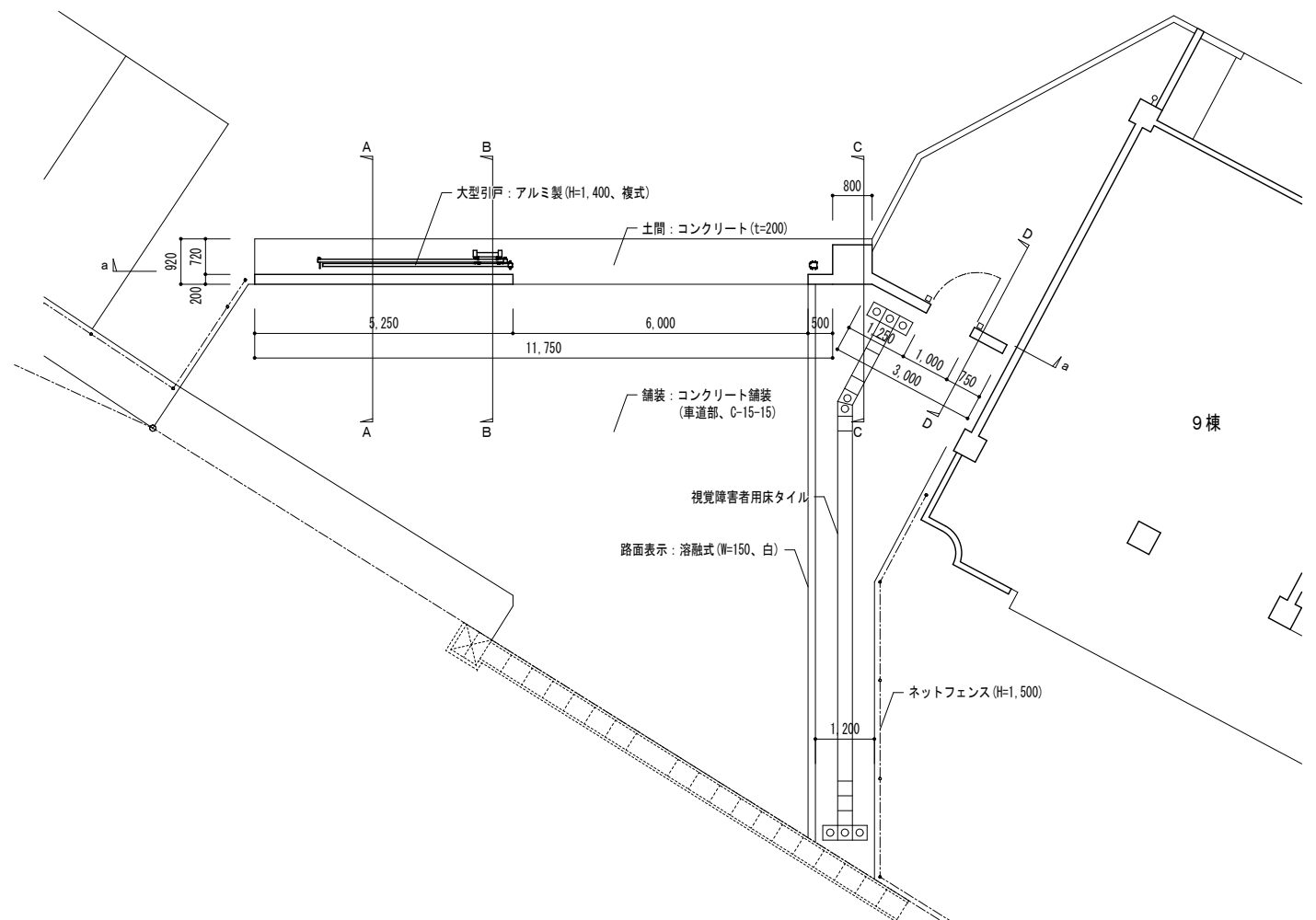




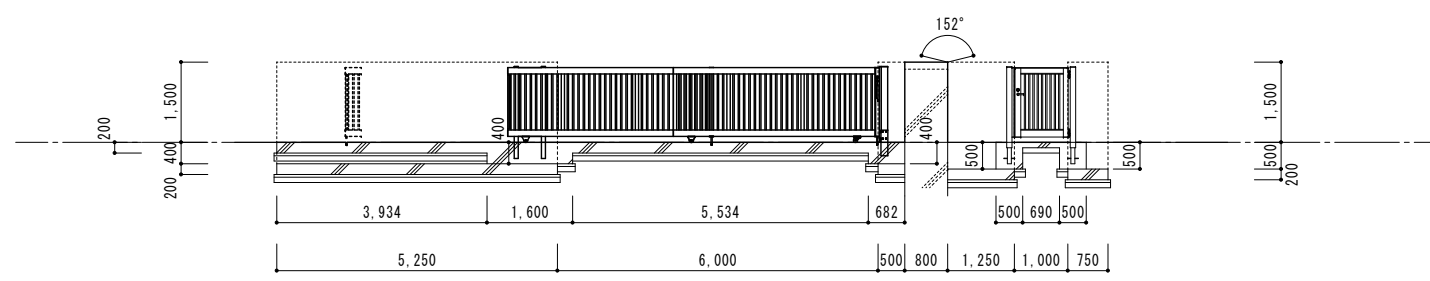
記号	名称	仕様
Ⅰ	アスファルト舗装	車道部 (A-5-15)
Ⅱ	インターロッキング舗装	厚6cm
Ⅲ	コンクリート舗装	歩道部 (C-7-10)
Ⅳ	自由勾配側溝	コンクリート製品 (W300×H500) グレーチング: 鋼製 (普通目、T-25)
Ⅴ	コンクリート樹	コンクリート製品 グレーチング: 鋼製 (普通目、T-25)
Ⅵ	緑石	コンクリート製品 (120×120×600)
Ⅶ	視覚障害者用タイル	☐: 注意喚起用を示す □: 誘導用を示す
Ⅷ	白線	W=100
Ⅸ	車椅子駐車場マーク	2,000×2,000
Ⅹ	外部階段	
Ⅺ	掲揚台	
Ⅻ	校門	
Ⅼ	デッキ	
Ⅽ	手洗い	
Ⅾ	手洗い・足洗い場	
Ⅿ	ネットフェンス	H=1,500
ⅰ	プレハブ倉庫	3,680×2,014×2,114
ⅱ	ゼブラ線	W=100
ⅲ	アスカープ	



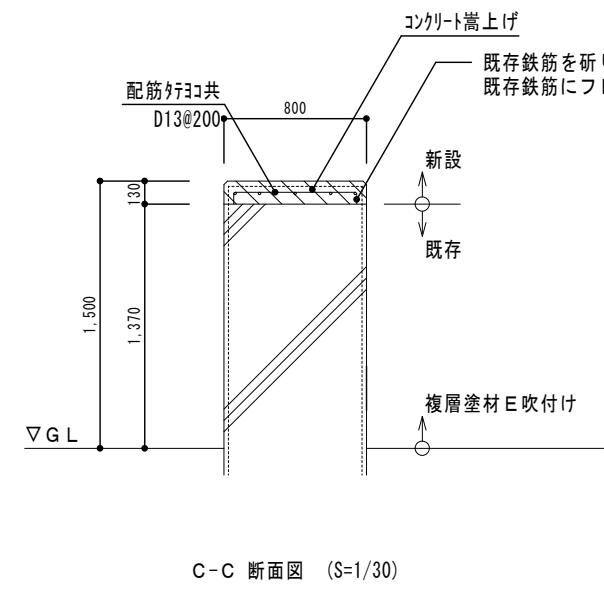
外構図 S=1/500



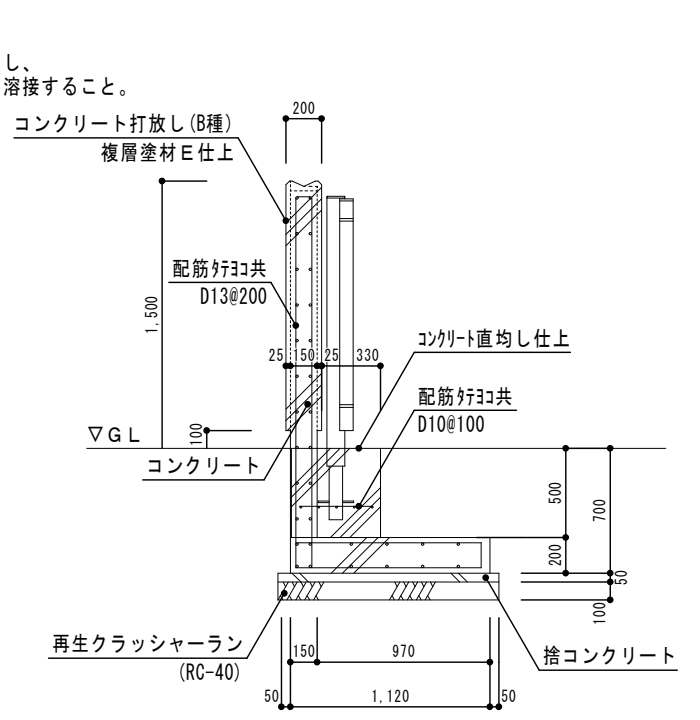
外部側(南面)姿図 (S=1/100)



a-a 断面図 (S=1/100)

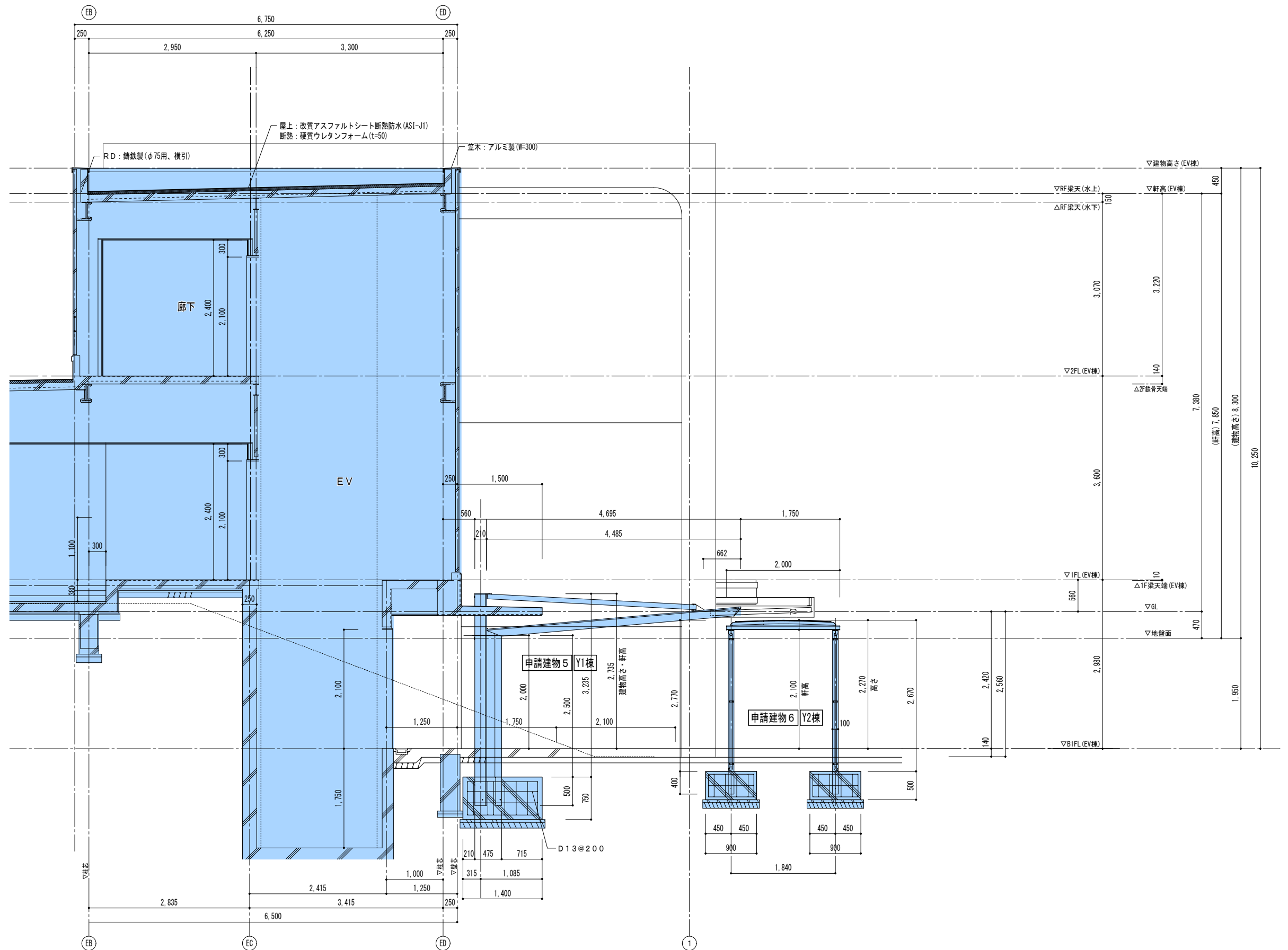


C-C 断面図 (S=1/30)



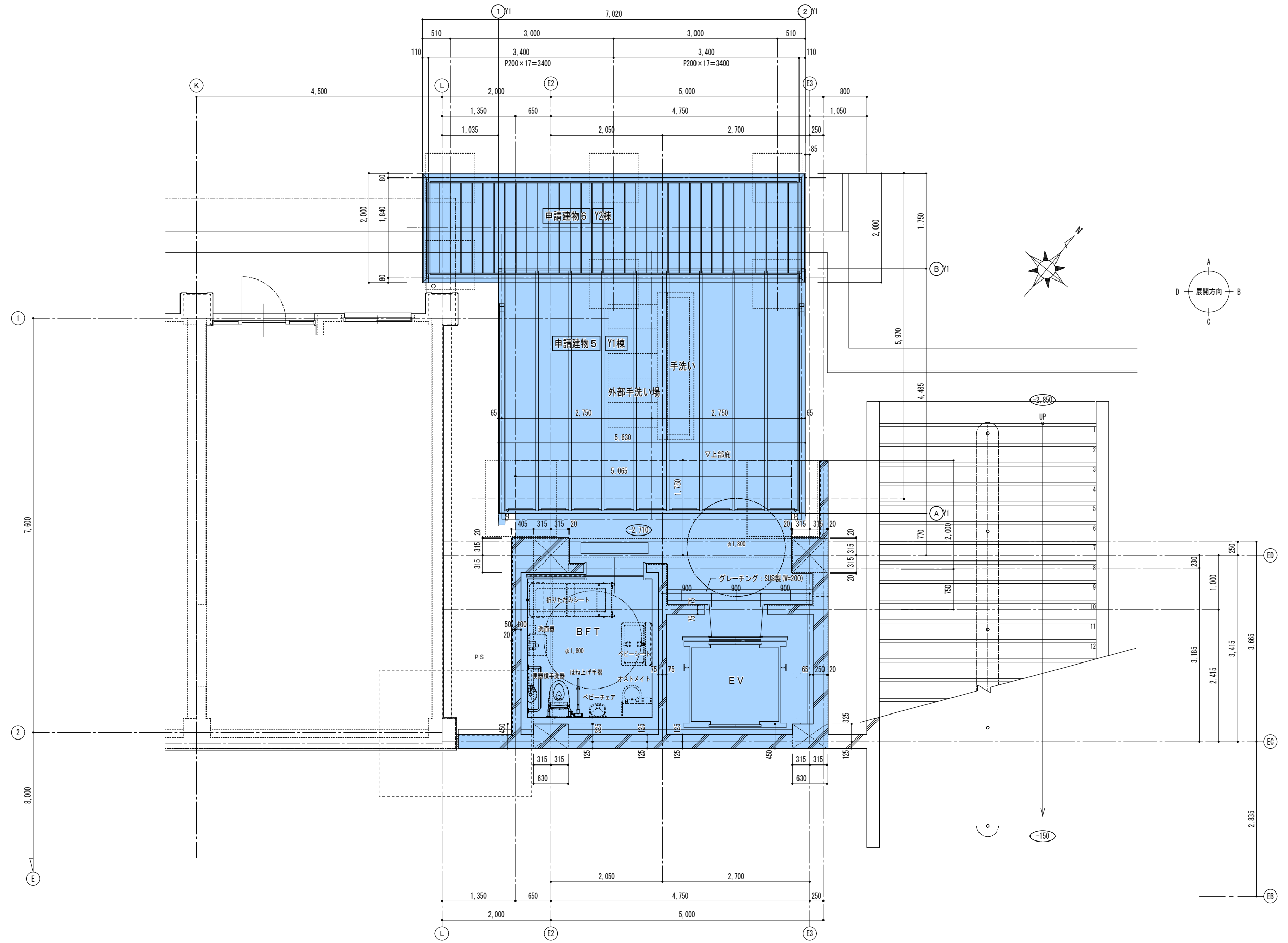
D-D 断面図 (S=1/30)

※捨てコンクリート: Fc=18・15・20
コンクリート: Fc=24・18・20



矩計図2 (改修後) S=1/50

凡例
 : 申請部分を示す



B 1 F 平面詳細図 (改修後) S=1/50

凡例
 : 申請部分を示す

Y1棟 申請建物5

マイポートNEXT ワイドタイプ (参考型式: NXTRE-P5647)
 【設計条件】
 積雪荷重 600N/m²
 耐風圧強度 V0=3.4m/s
 【主要構造】
 アルミ合金造
 国土交通省告示408・409・410 (750) 号対応

Y2棟 申請建物6

ソリッドルーフ Hタイプ (特寸)

Y1棟

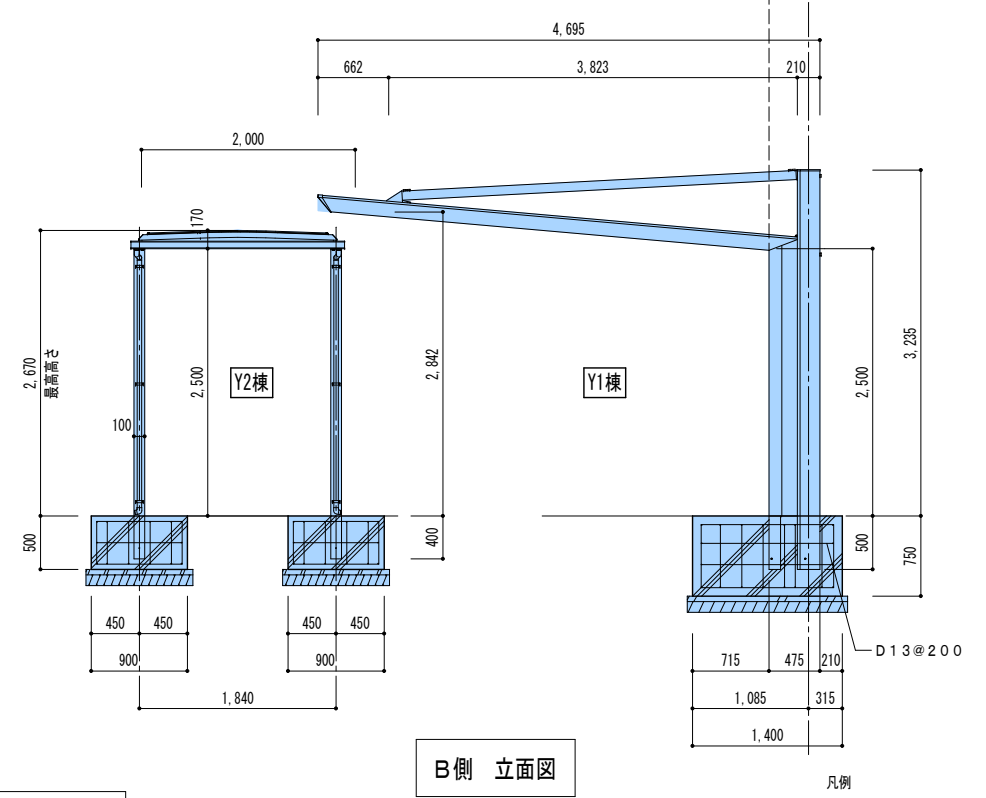
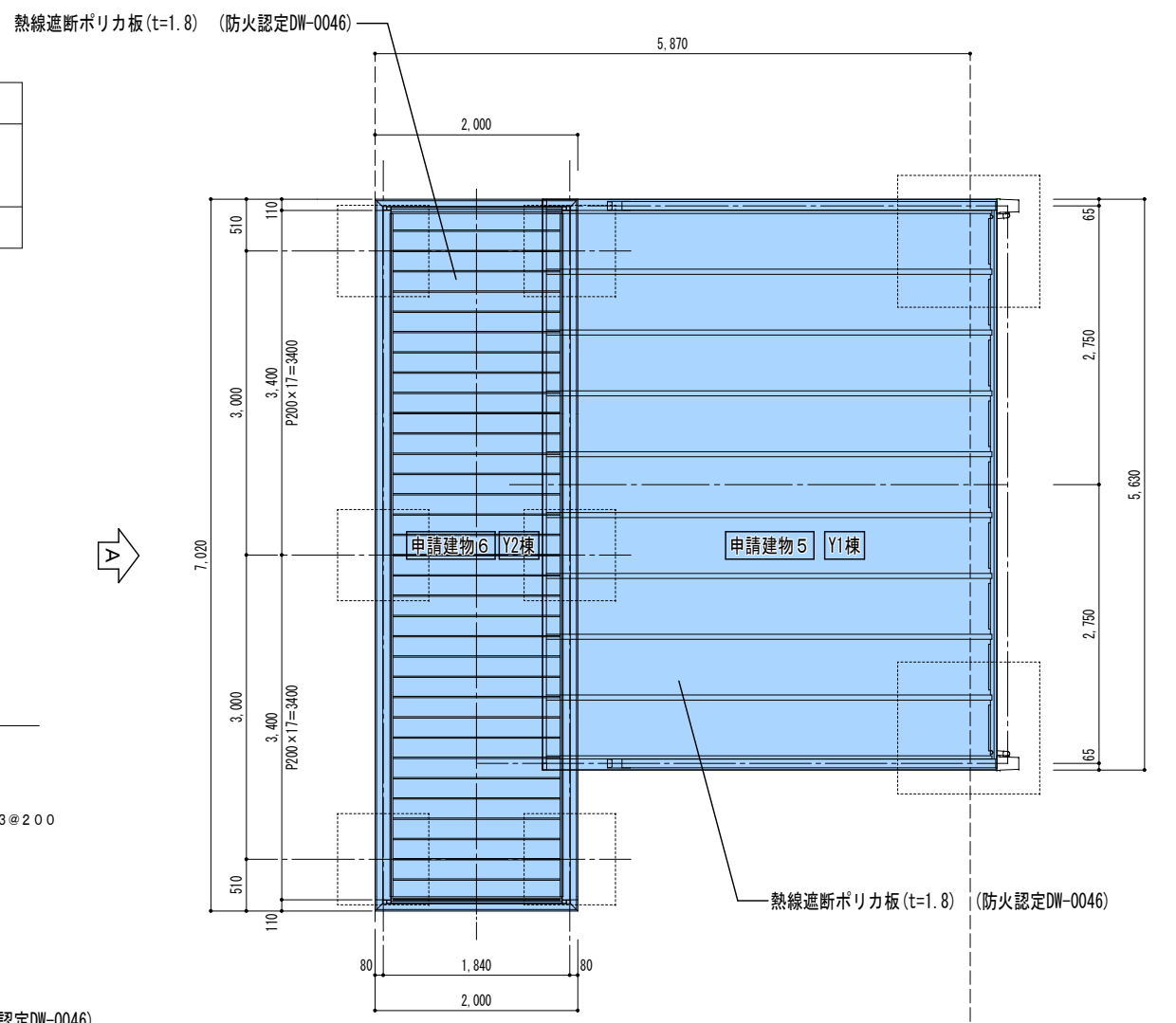
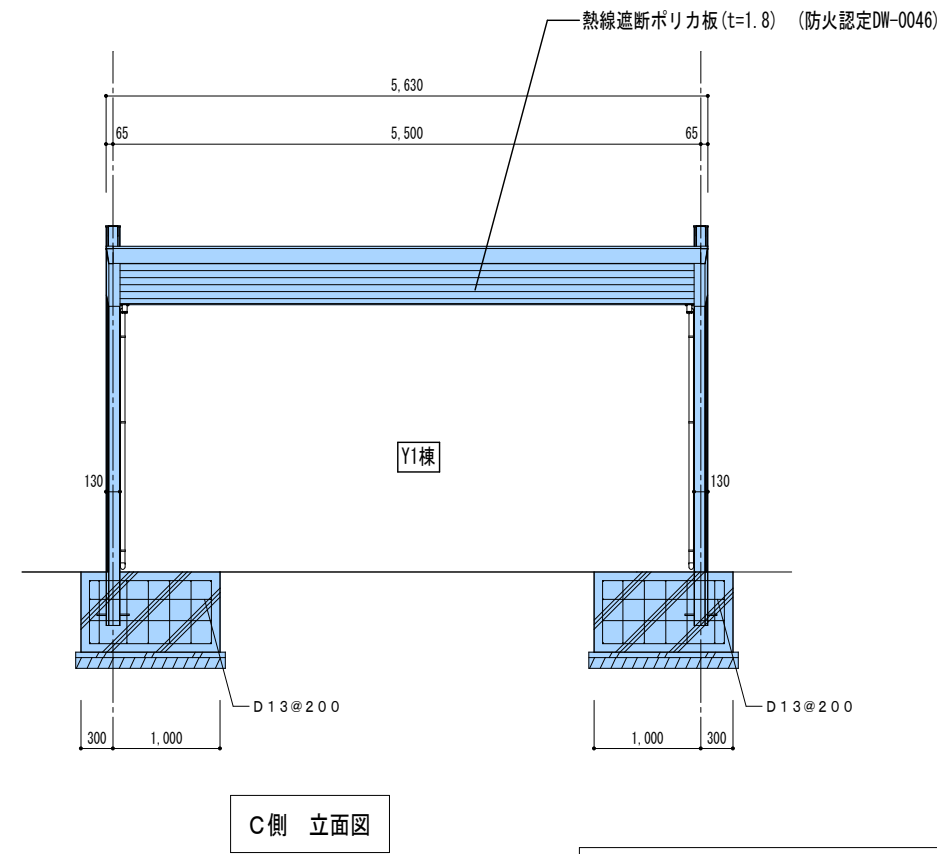
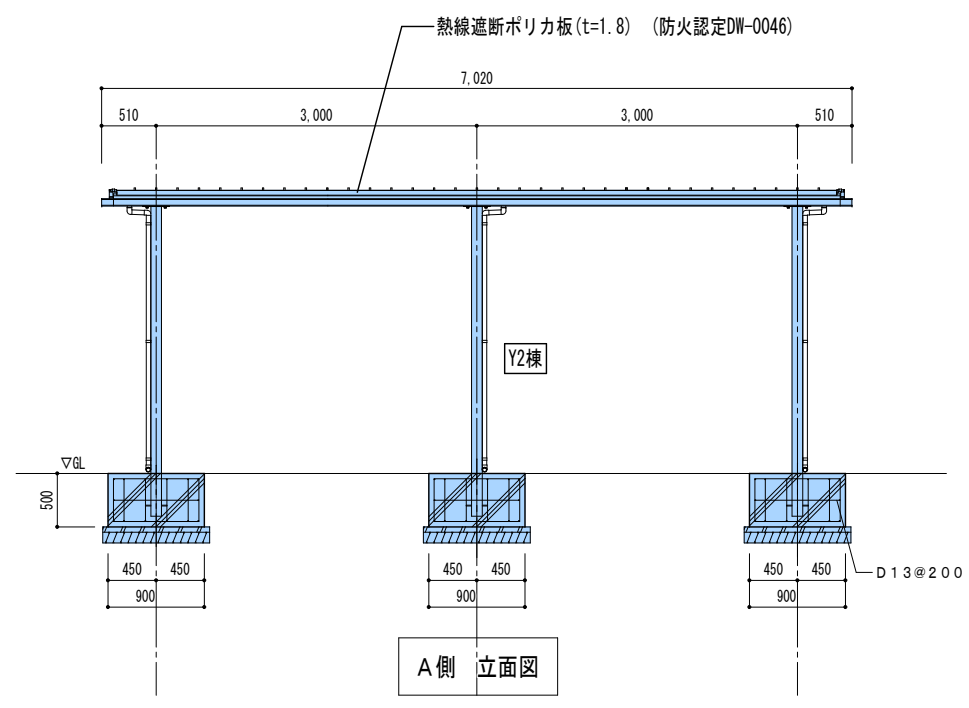
ボルト類	ステンレス
屋根材	熱線吸収ポリカーボネート板 熱線遮断ポリカーボネート板
縦樋	ASA+ABS 外径: φ42
⑨ 端部屋根押え	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑧ 屋根押え	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑦ 小梁	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑥ 後枠 (雨樋)	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑤ 中間梁	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
④ 前枠	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
③ 吊部材	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
② 側枠	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
① 支柱	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
主要部材	仕様 (材質・塗装)

Y2棟

ネジ類	ステンレス鋼線材
プレス部品	一般構造用圧延鋼材
⑭ 縦樋	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑬ F形材屋根終端部	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑫ F形材屋根中間	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑪ F形材屋根端部	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑩ 屋根側面カバー	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑨ F桁カバー	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑧ Fフロント化粧材	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑦ F屋根押え	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑥ FA正面梁S	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑤ F正面水切	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
④ FA桁M	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
③ 高延高支柱 (20・26用)	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
② 延高支柱W (26用)	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
① 延高支柱S (20用)	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
主要部材	仕様 (材質・塗装)

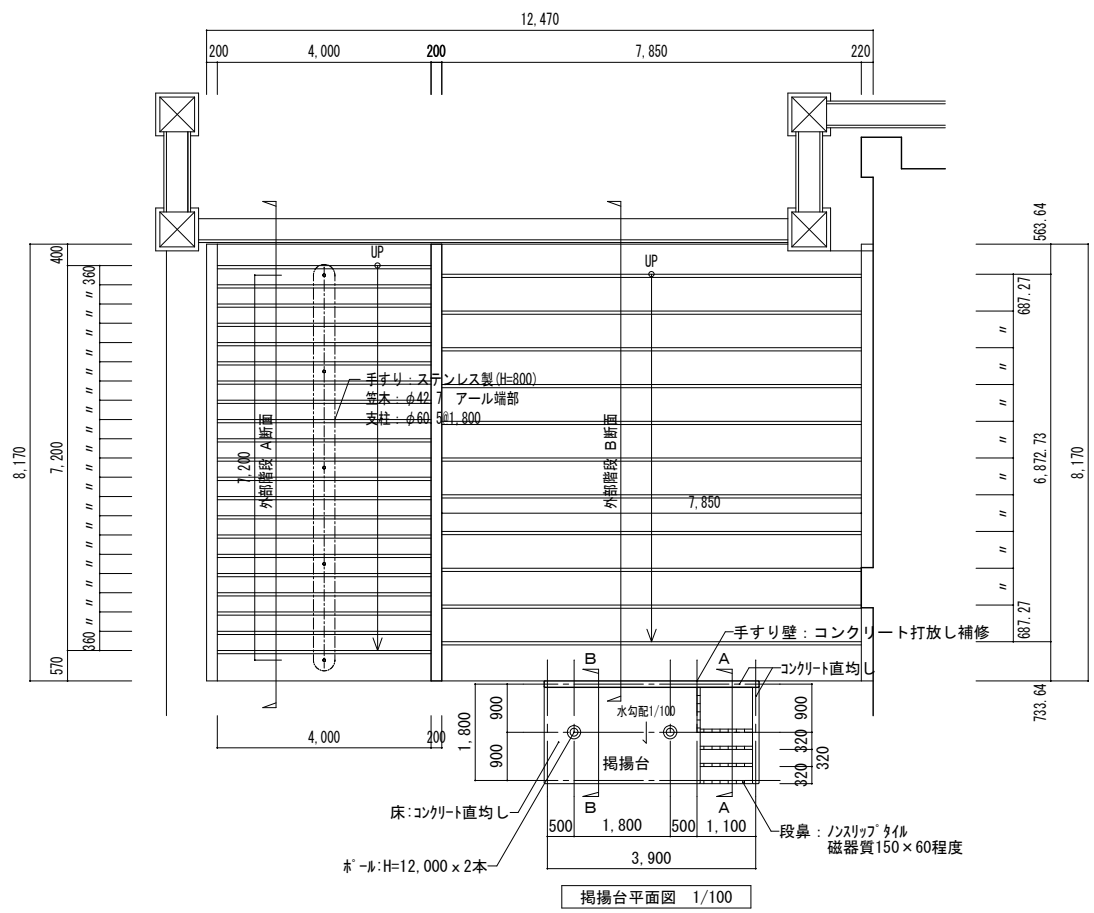
側圧: 考慮なし

長期地耐力50kN/m ²			長期地耐力100kN/m ²		
B (mm)	L (mm)	H (mm)	B (mm)	L (mm)	H (mm)
1300	1400	750	1200	1300	750

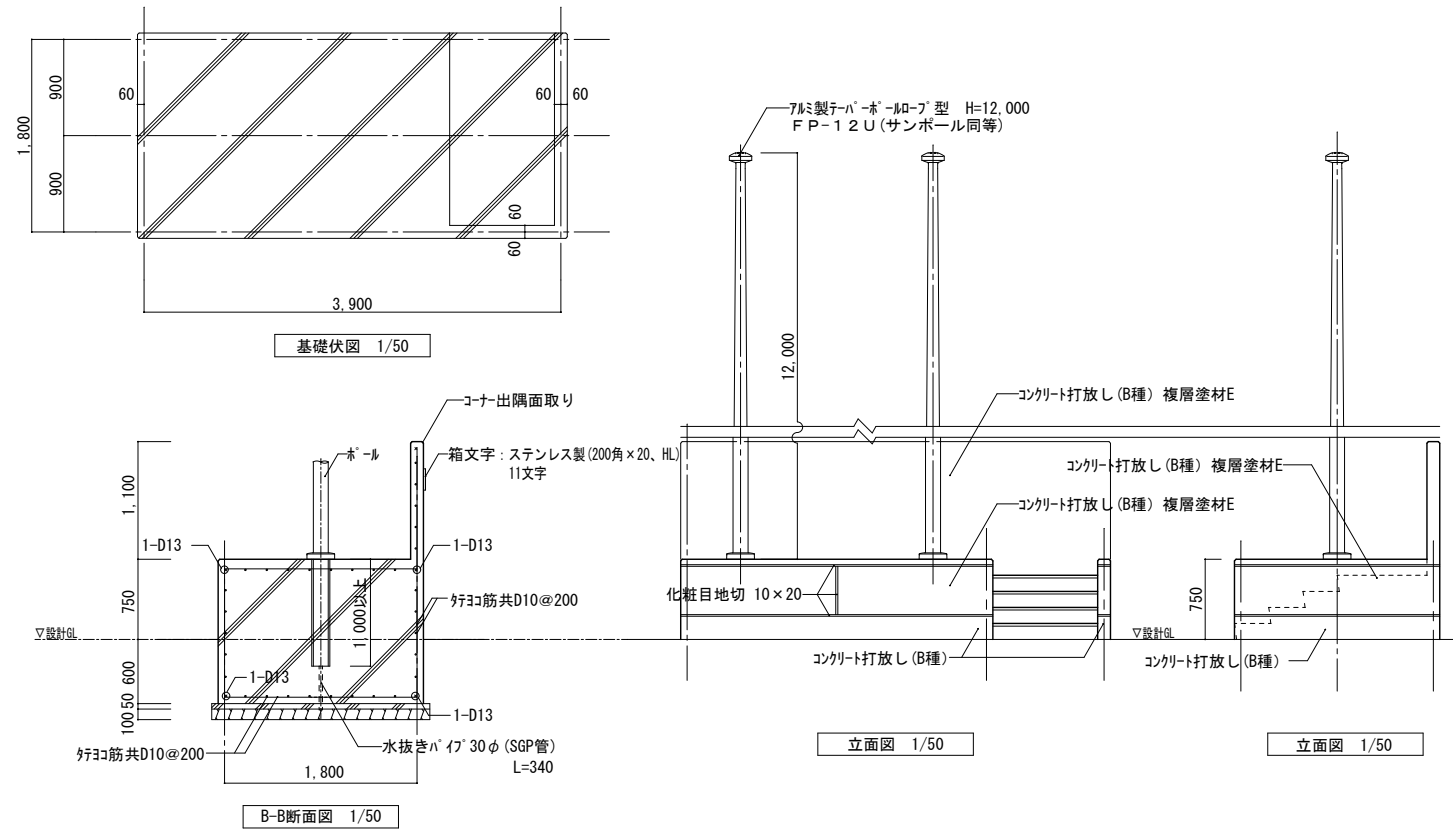


外部手洗い屋根 詳細図 S=1/50

凡例
 : 申請部分を示す



掲揚台平面図 1/100

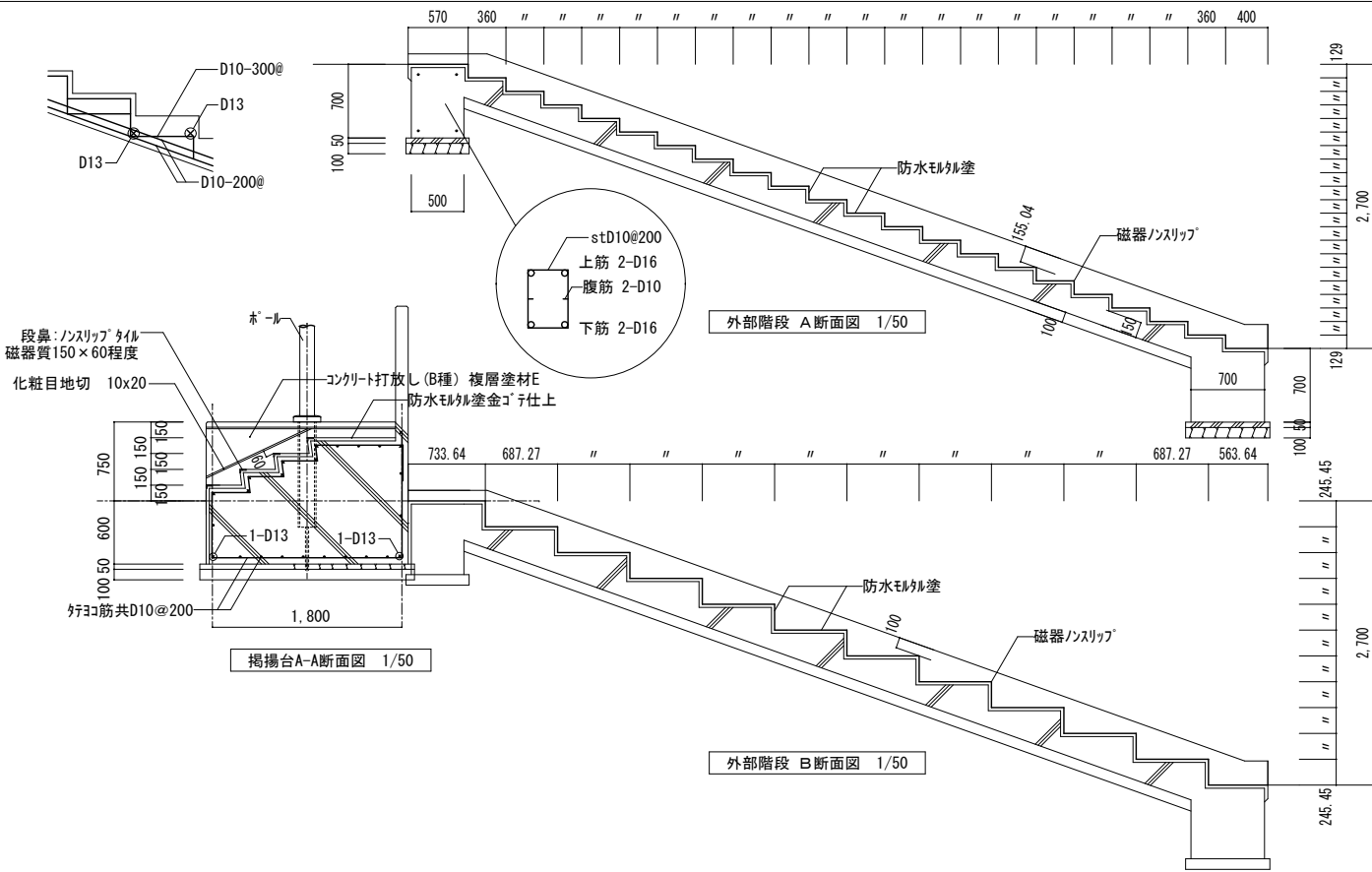


基礎伏図 1/50

B-B断面図 1/50

立面図 1/50

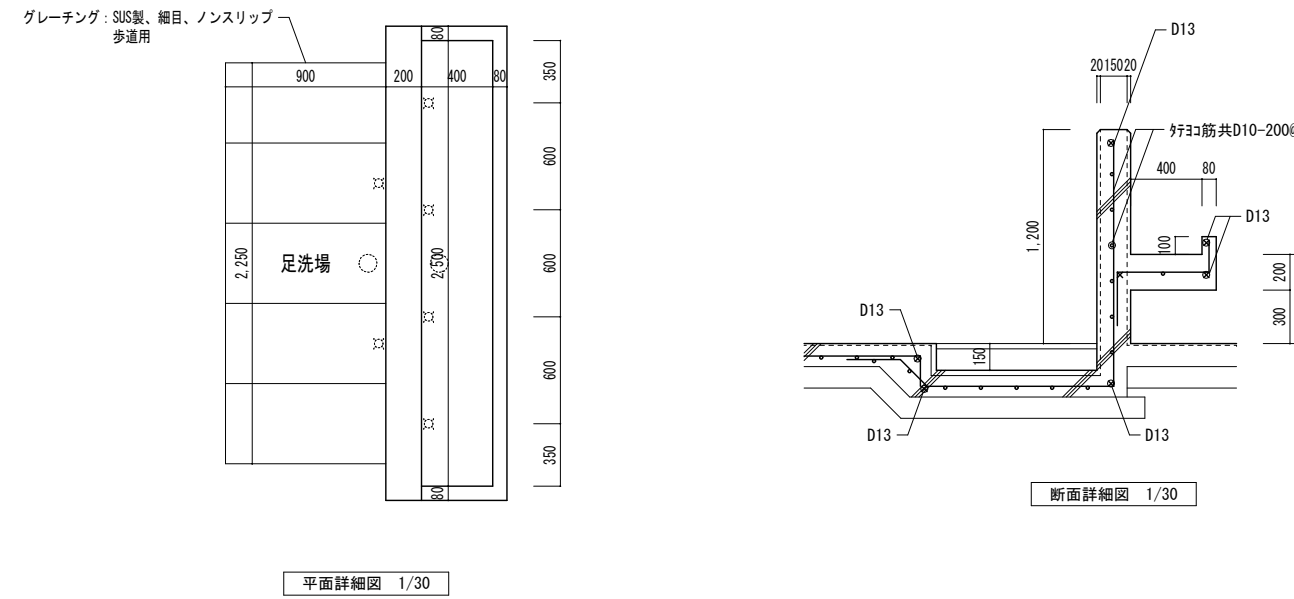
立面図 1/50



外部階段 A断面図 1/50

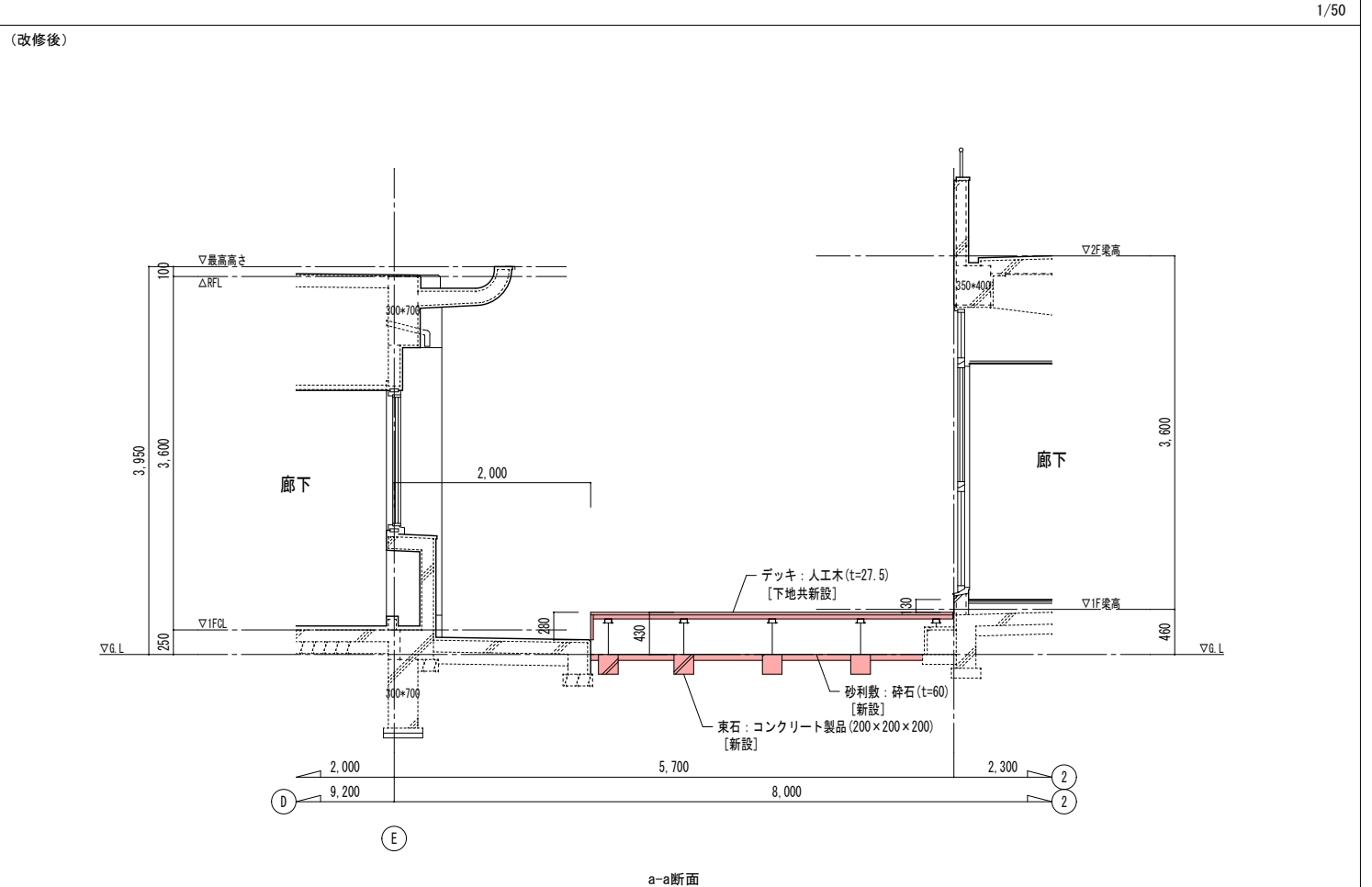
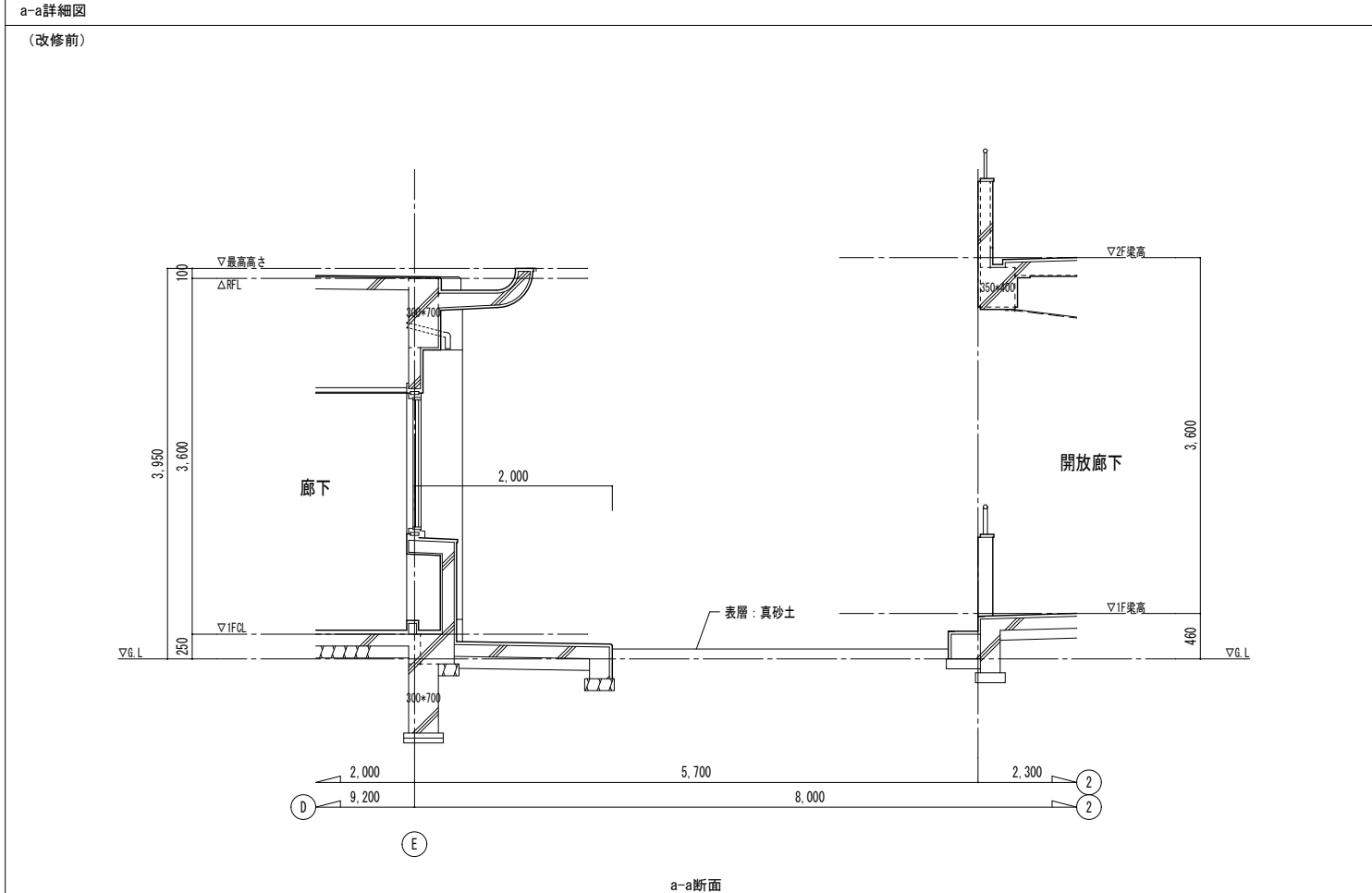
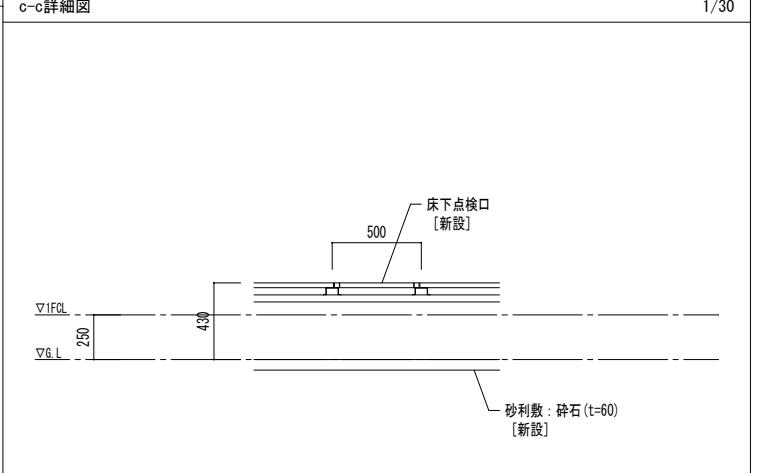
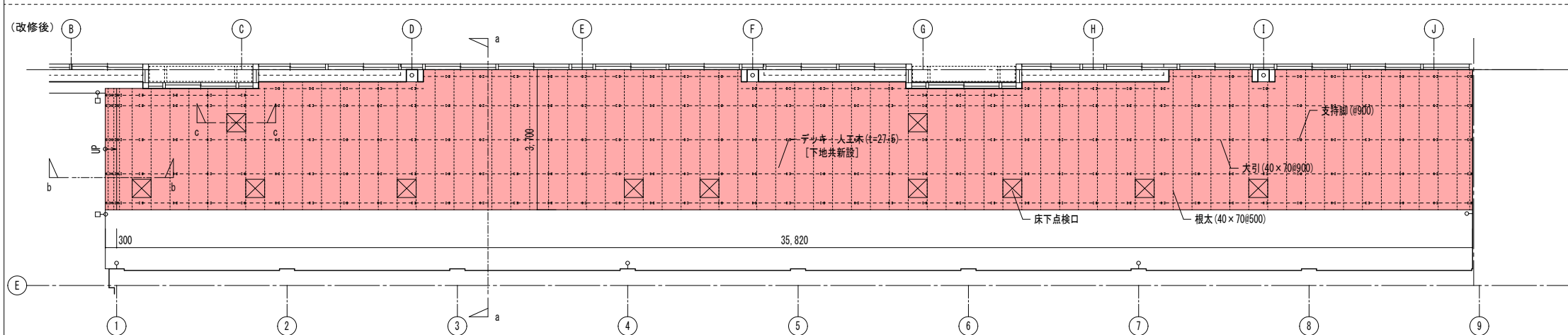
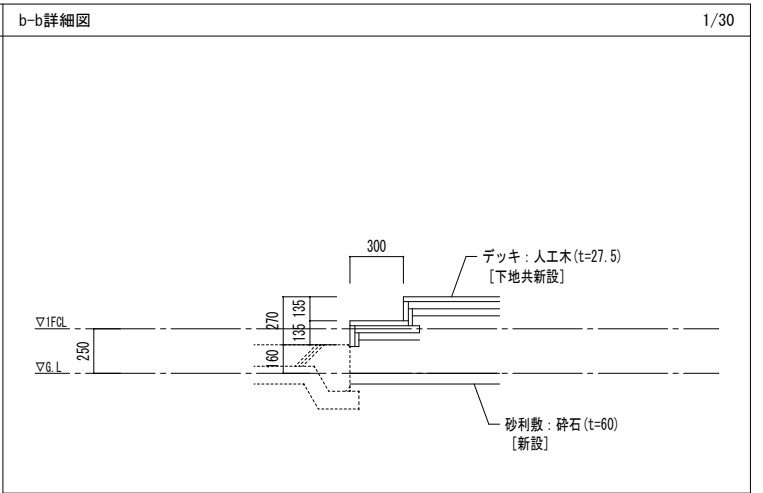
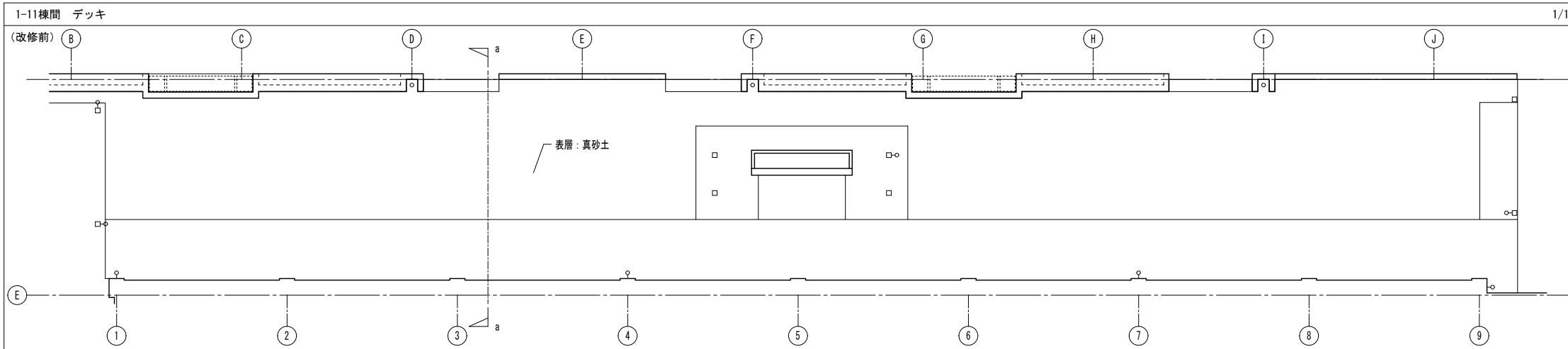
外部階段 B断面図 1/50

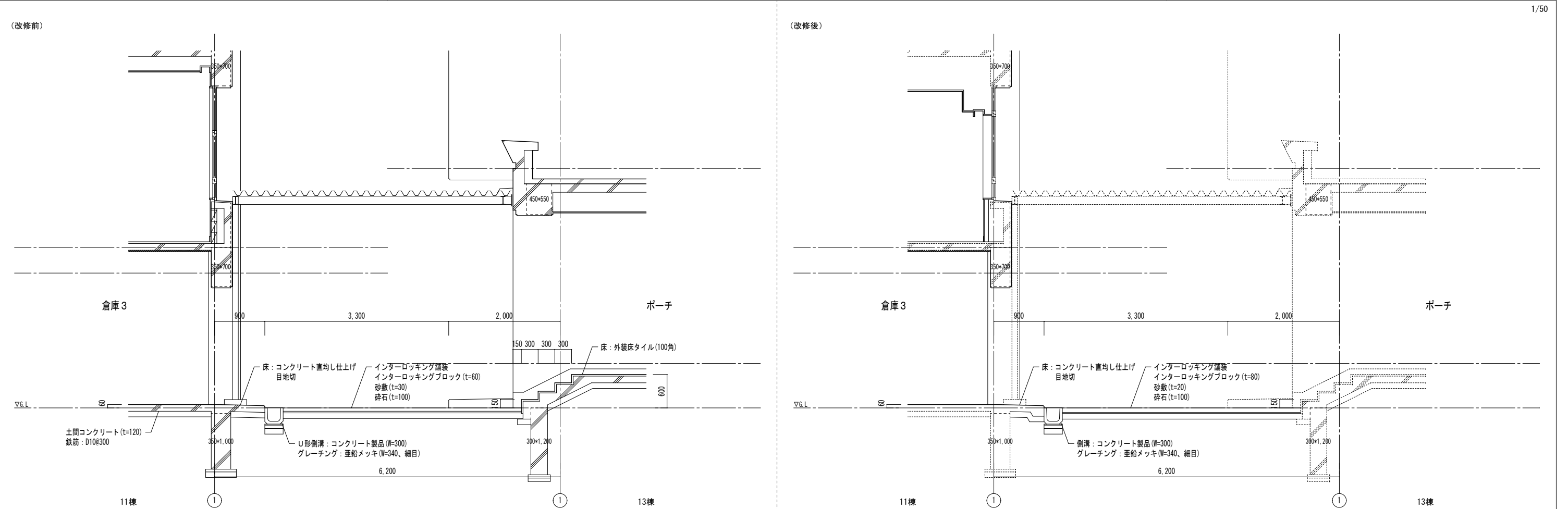
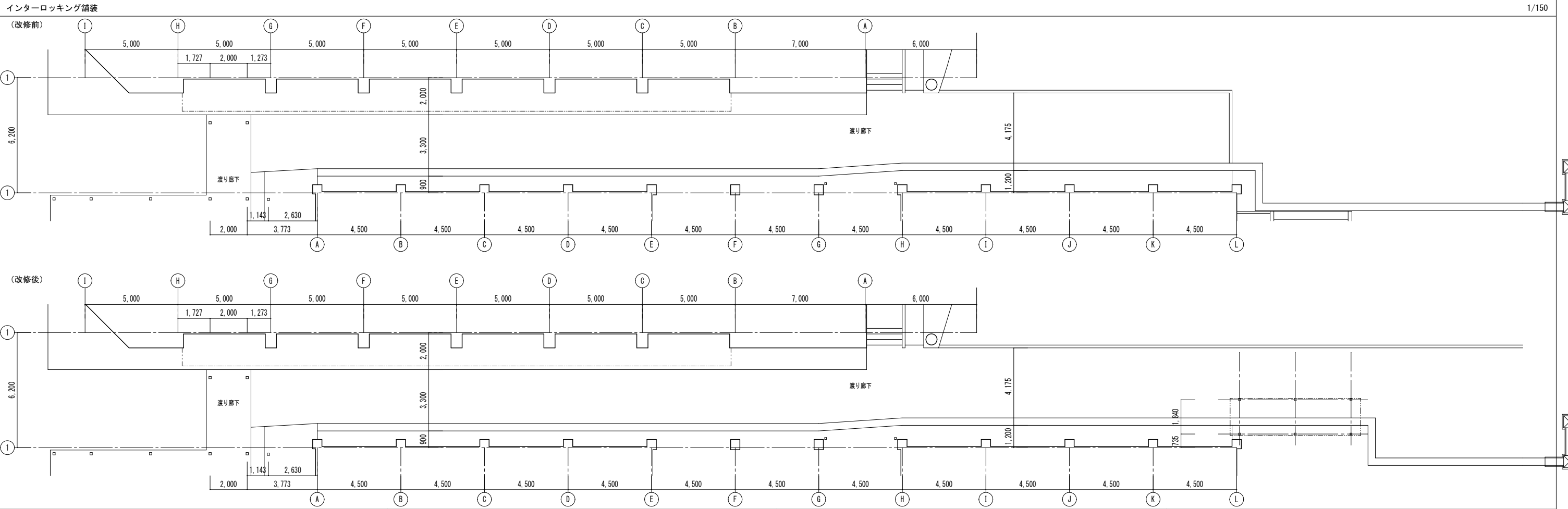
掲揚台A-A断面図 1/50

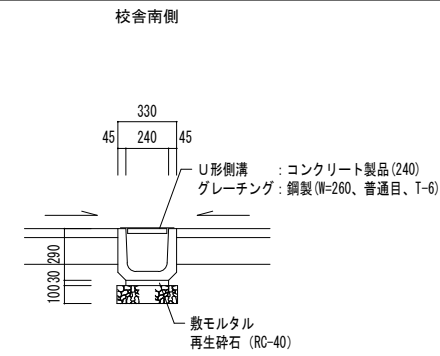
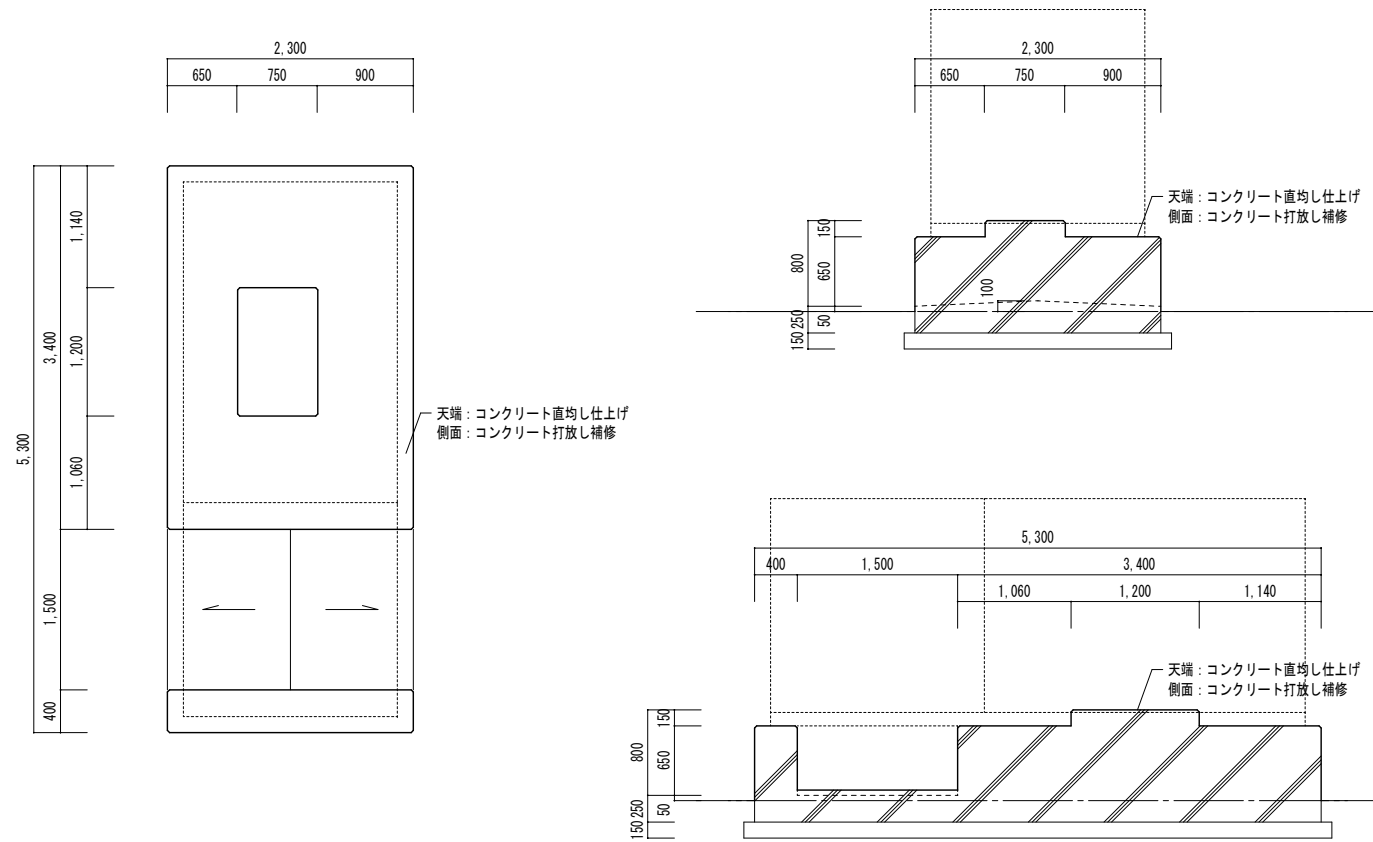


平面詳細図 1/30

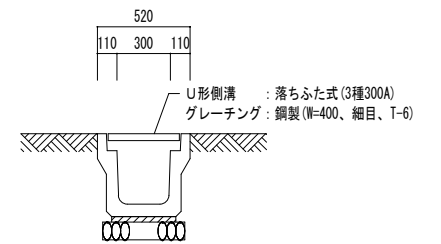
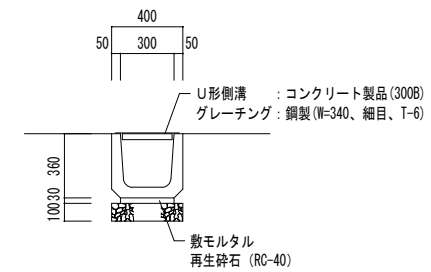
断面詳細図 1/30







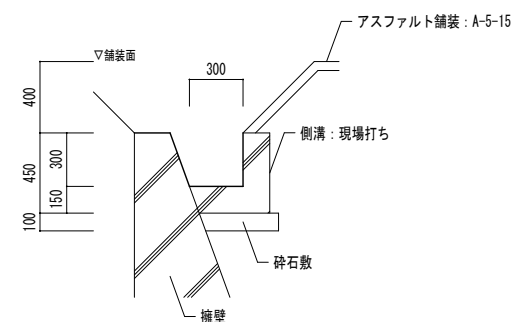
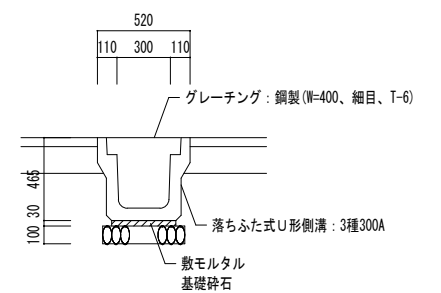
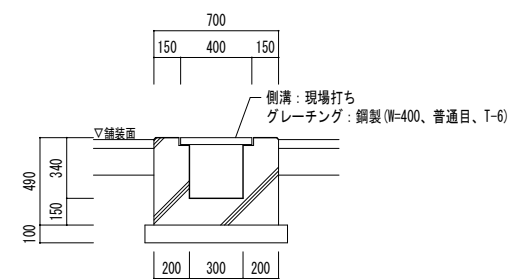
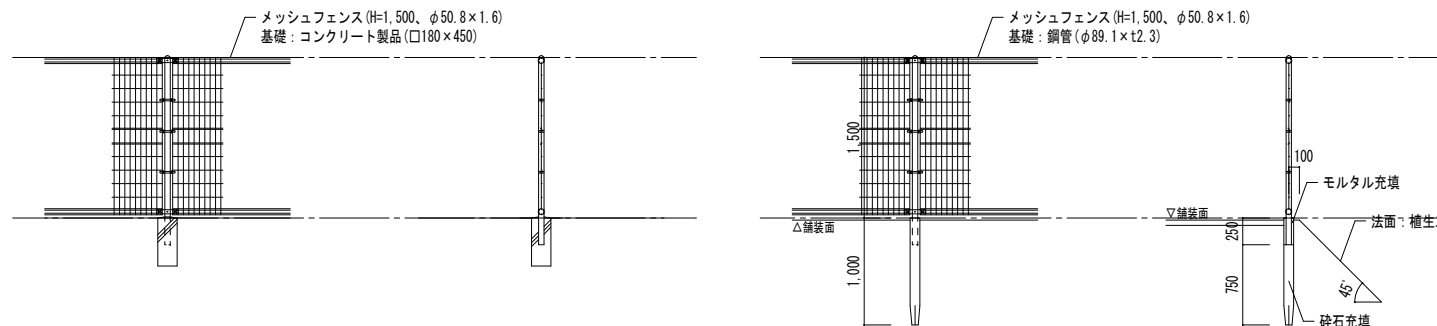
グラウンド

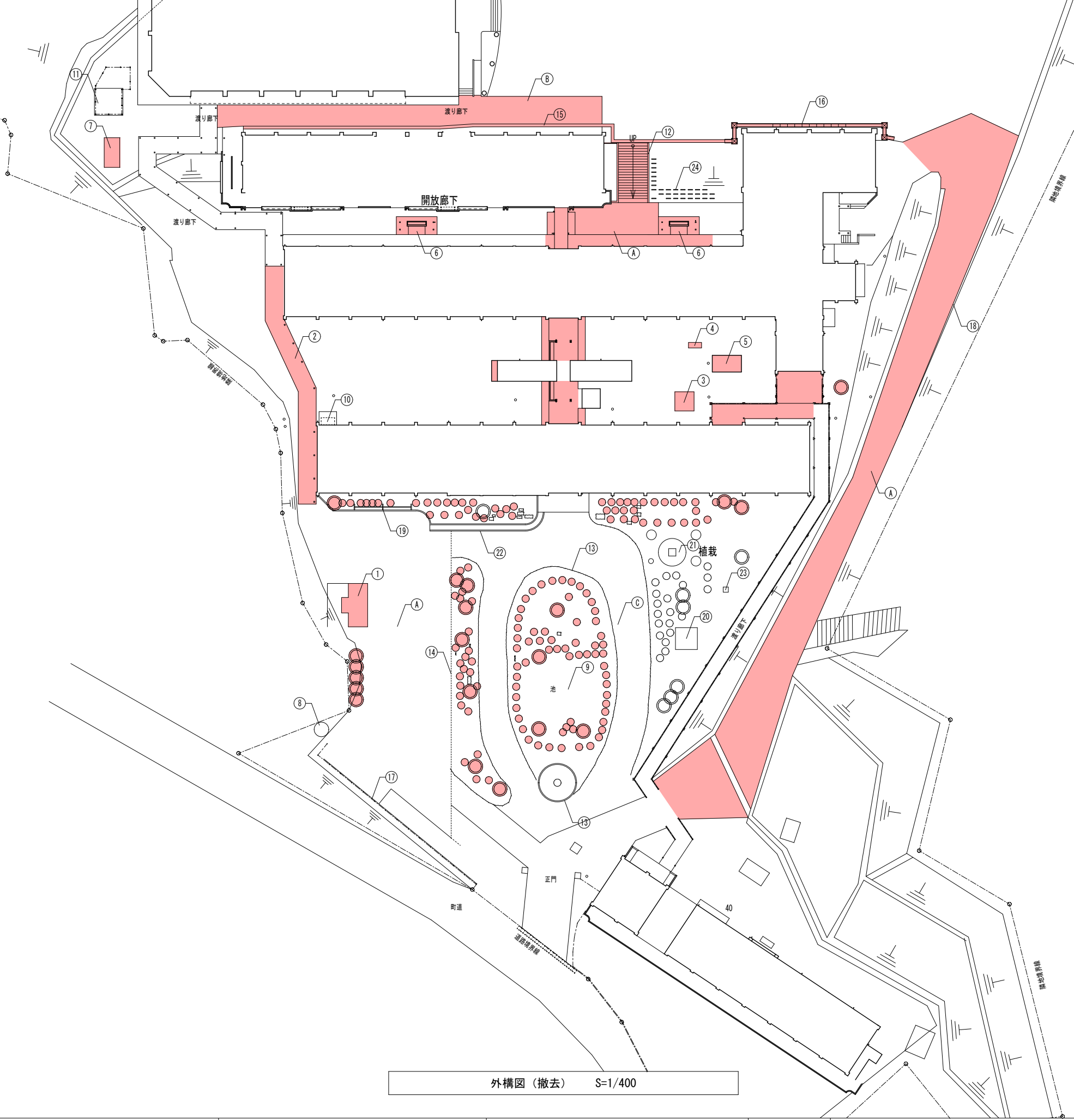
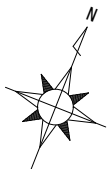


東側通路(参考)

一般部

法面上部





外構図（撤去） S=1/400

解体物概要			
記号	名称	仕様	
①	銅舎小屋	鉄骨造平屋建て 延べ面積：17.77㎡	[解体撤去処分]
②	渡り廊下	鉄骨造平屋建て 延べ面積：44.40㎡	[解体撤去処分]
③	物置1	既製品(鋼製) 延べ面積：6.92㎡	[解体撤去処分]
④	物置2	既製品(鋼製) 延べ面積：1.35㎡	[解体撤去処分]
⑤	ポンプ室	C B造平屋建て 延べ面積：8.11㎡	[解体撤去処分]
⑥	手洗場	鉄骨造平屋建て 延べ面積：4.60㎡	[解体撤去処分]
⑦	掃除具置	鉄骨造平屋建て 延べ面積：8.4㎡	[解体撤去処分]
⑧	鳥小屋	鉄骨造平屋建て 延べ面積：3.14㎡	[解体撤去処分]
⑨	池	コンクリート造	[解体撤去処分]
⑩	ポンベ置場	コンクリート基礎	
⑪	キュービクル置場	コンクリート基礎	
⑫	外部階段	コンクリート造 階段手すり：ステンレス製(H=800)	[解体撤去処分]
⑬	縁石	コンクリート製品	[解体撤去処分]
⑭	U字溝	コンクリート製品 蓋：グレーチング	[解体撤去処分]
⑮	U字溝	コンクリート製品 蓋：グレーチング	[解体撤去処分]
⑯	側溝	F G式道路用側溝(1種 250) 同蓋一部グレーチング	[解体撤去処分]
⑰	ネットフェンス	H=1,500	[解体撤去処分]
⑱	アングルフェンス	H=1,500	[解体撤去処分]
⑲	卒業制作 (校名看板)		[解体撤去処分]
⑳	卒業制作 (地形モデル)		[解体撤去処分]
㉑	卒業制作 (日時計)	1,000×1,000×1,000 土台(φ3,800)	[解体撤去処分]
㉒	通路	床：コンクリート刷毛引き仕上げ 縁：コンクリート製品(φ150)	[解体撤去処分]
㉓	百葉箱	木製 鋼製架台	
㉔	卒業制作 (児童造形物)	コンクリート造(600×100×H400) 32か所	[解体撤去処分]
A	アスファルト舗装	A-5-15	[解体撤去処分]
B	インターロッキング	t=60	[解体撤去処分]
C	砕石敷	t=60、RC=40	[解体撤去処分]

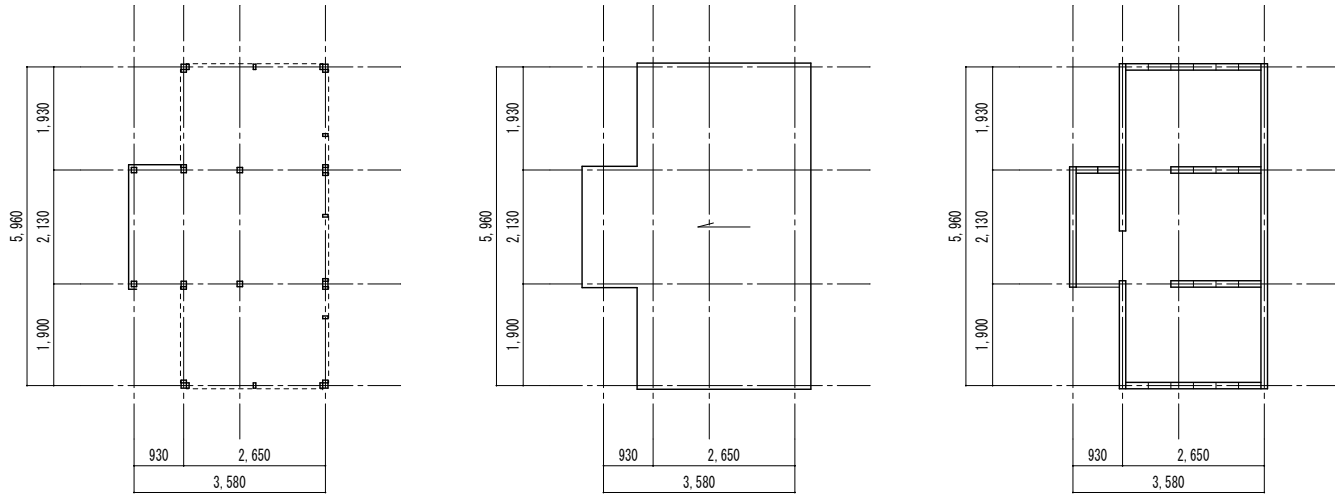
立竹木概要				
場所	仕様・数量(本)			
	幹間：L(cm)			
	L<15	15≤L<25	25≤L<40	40≤L<60
植栽1	56	64	17	22

特記事項
・伐根共

飼育小屋

1/100

構造・規模：鉄骨造 17.78㎡
 【 仕上 】
 屋根：波板スレート(小波)
 外壁：波板スレート(小波)
 金網
 基礎：C8(t=120)化粧積み



鳥小屋

1/100

構造・規模：鉄骨造 3.36㎡
 【 仕上 】
 屋根：FRP製
 外壁：金網

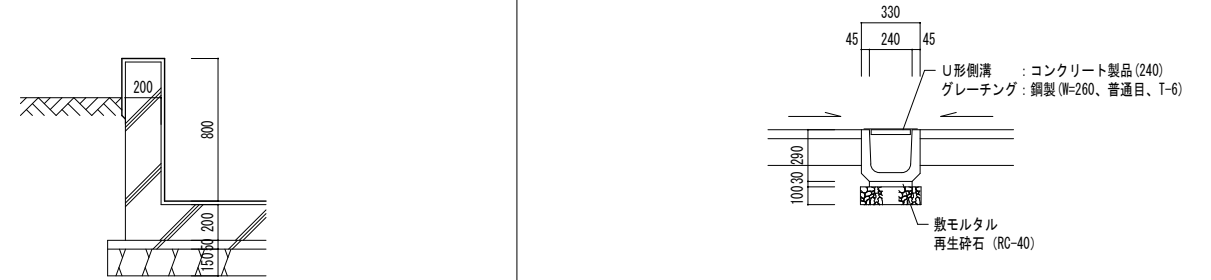


池(水槽)

1/30

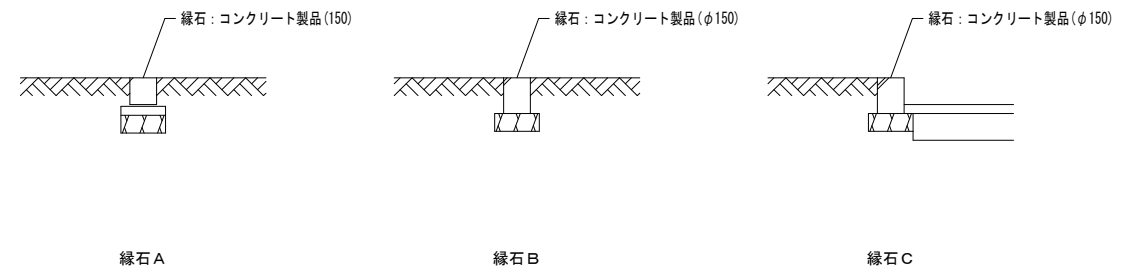
U形側溝

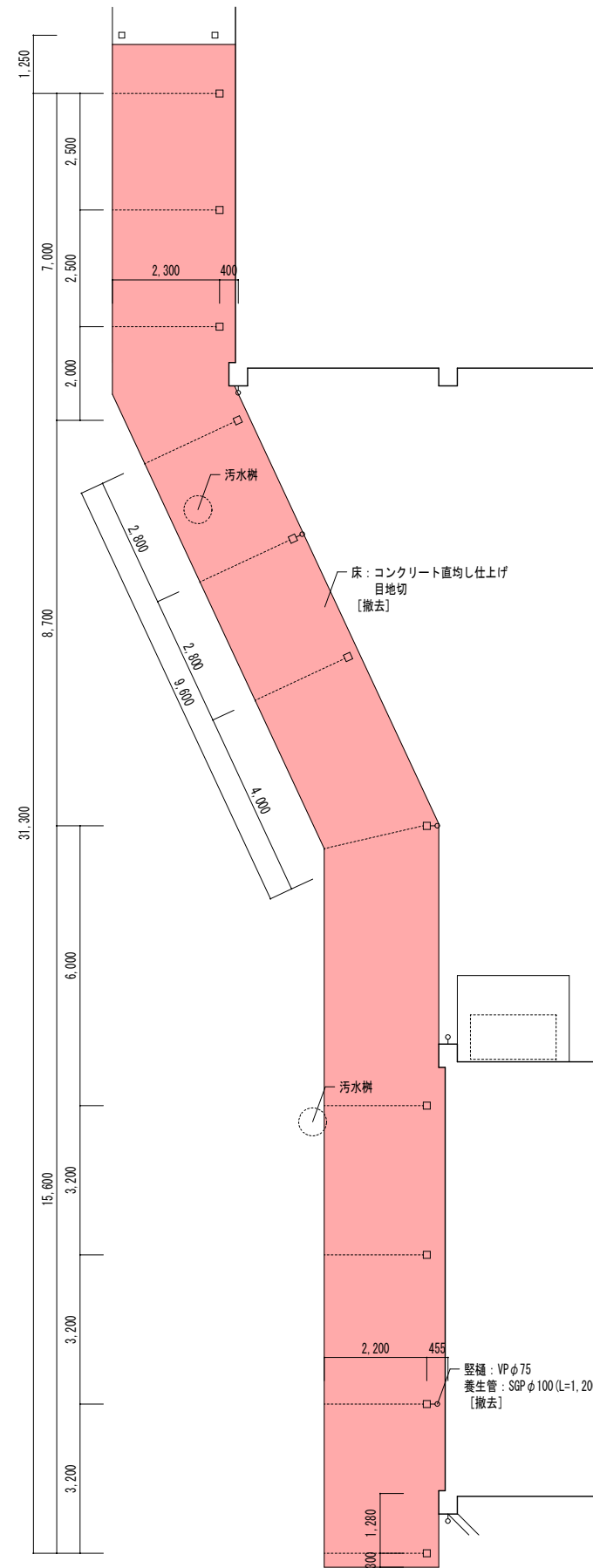
1/30



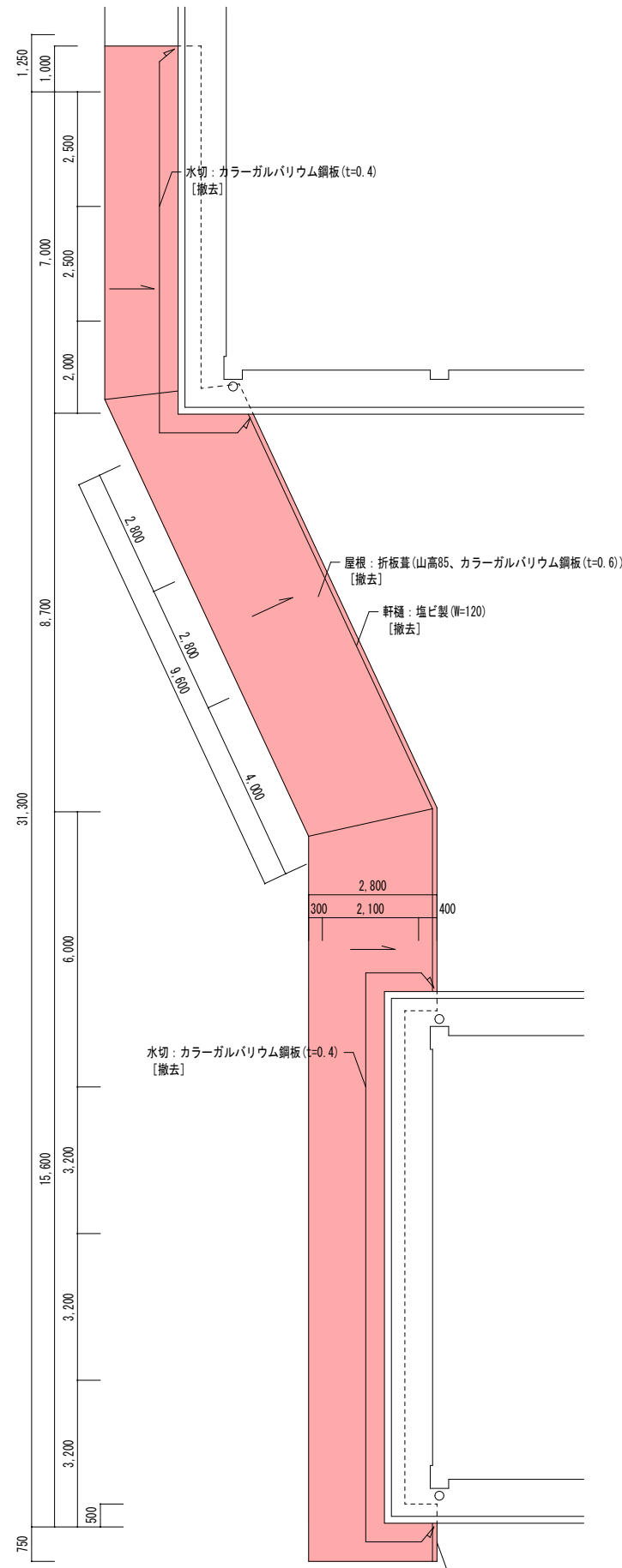
縁石

1/30

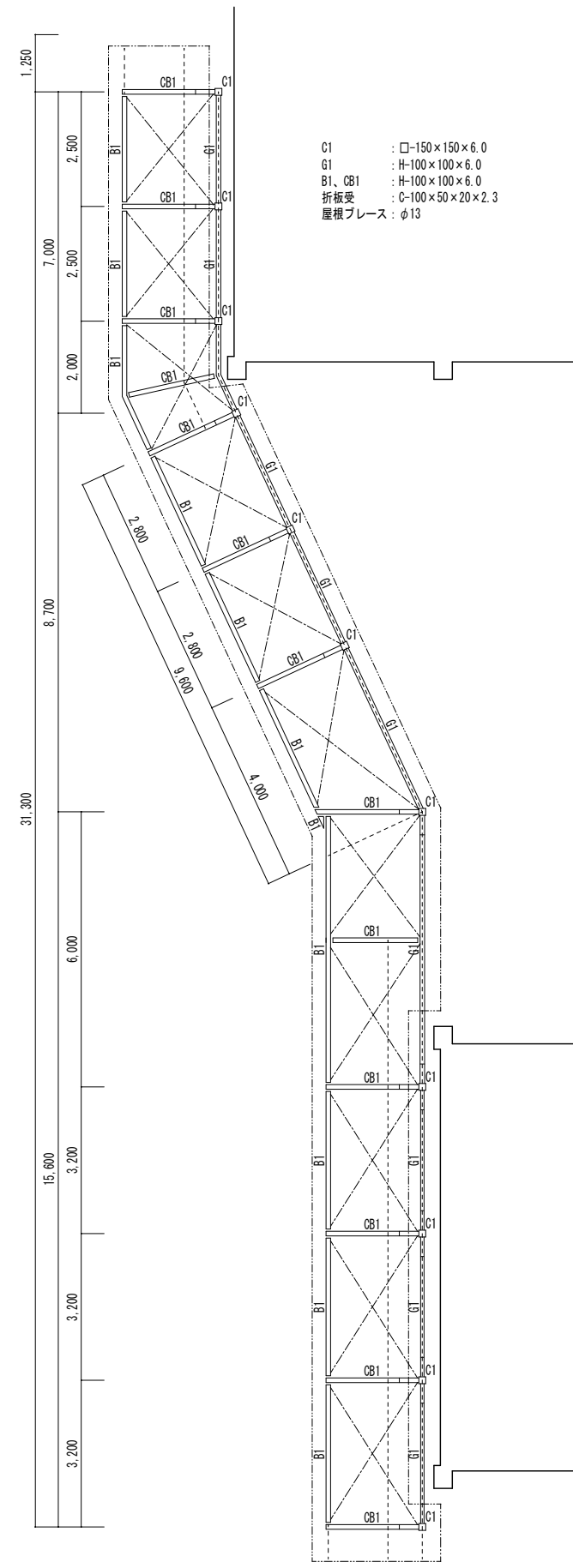




平面図

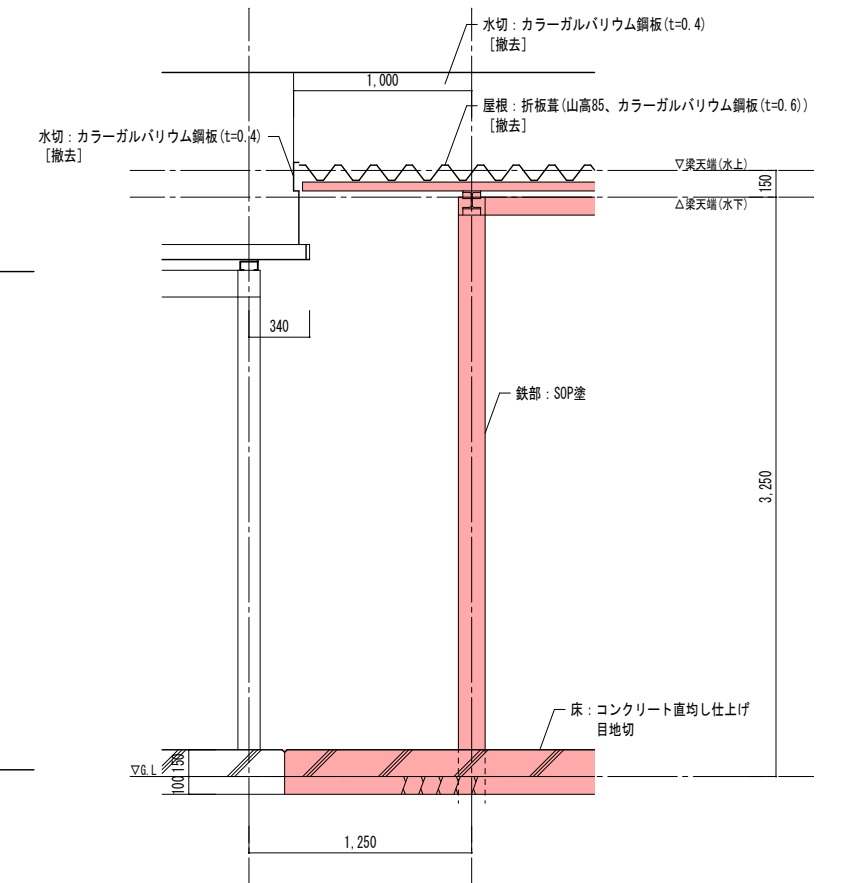
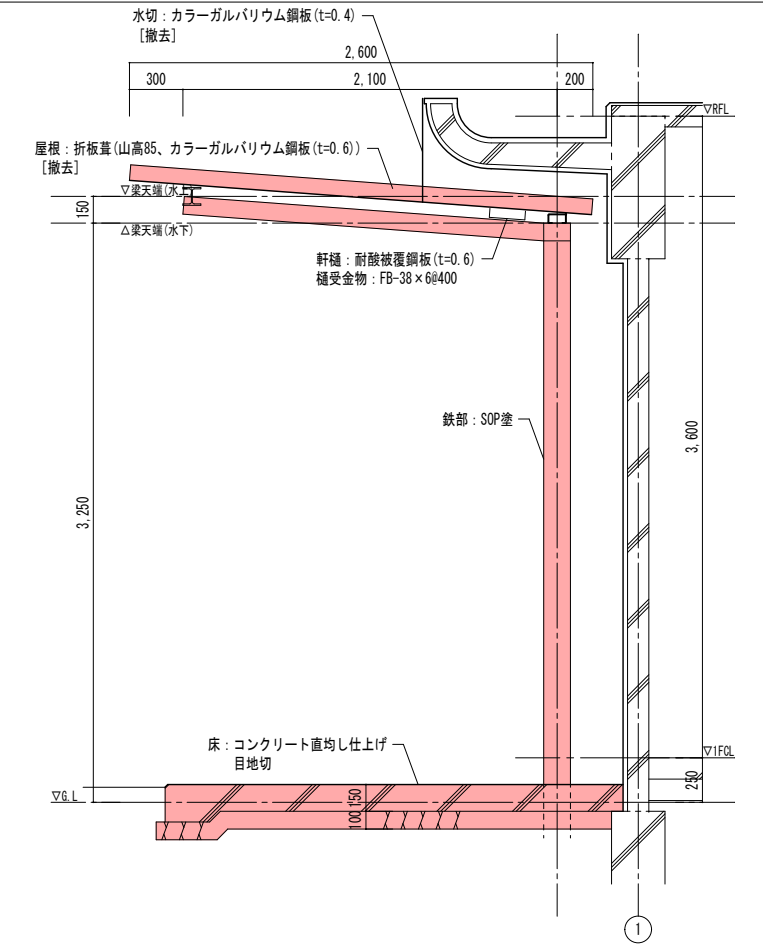


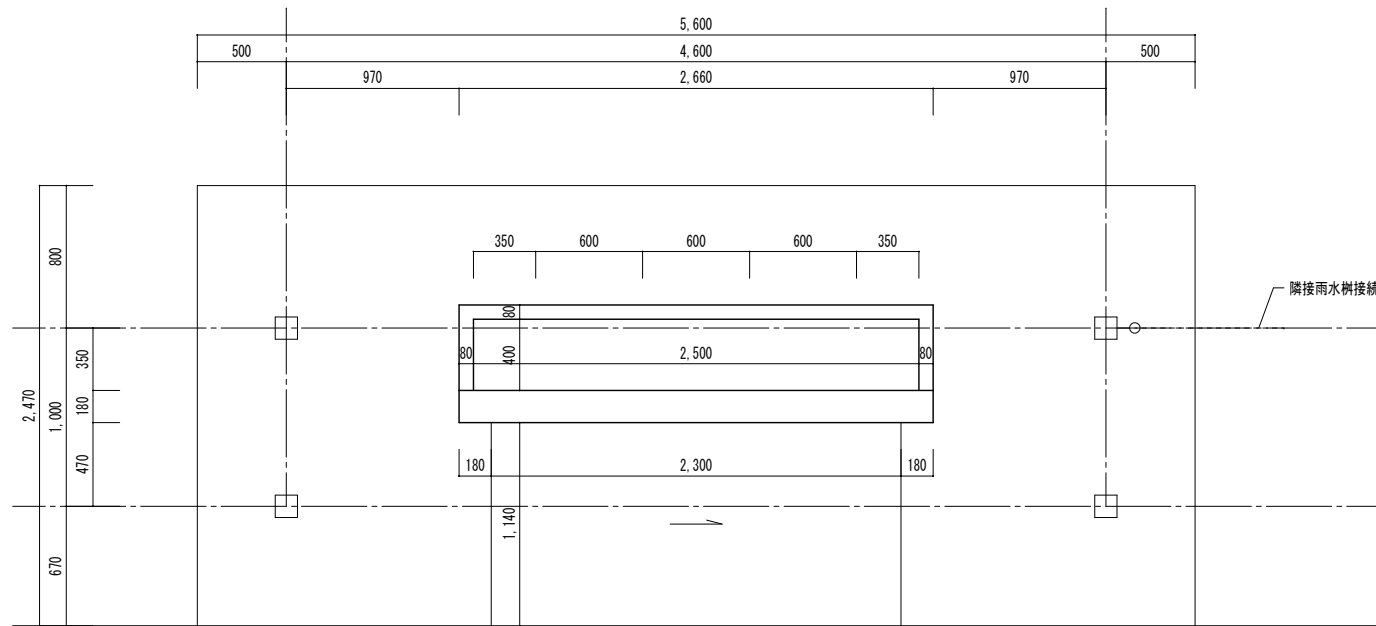
屋根伏図



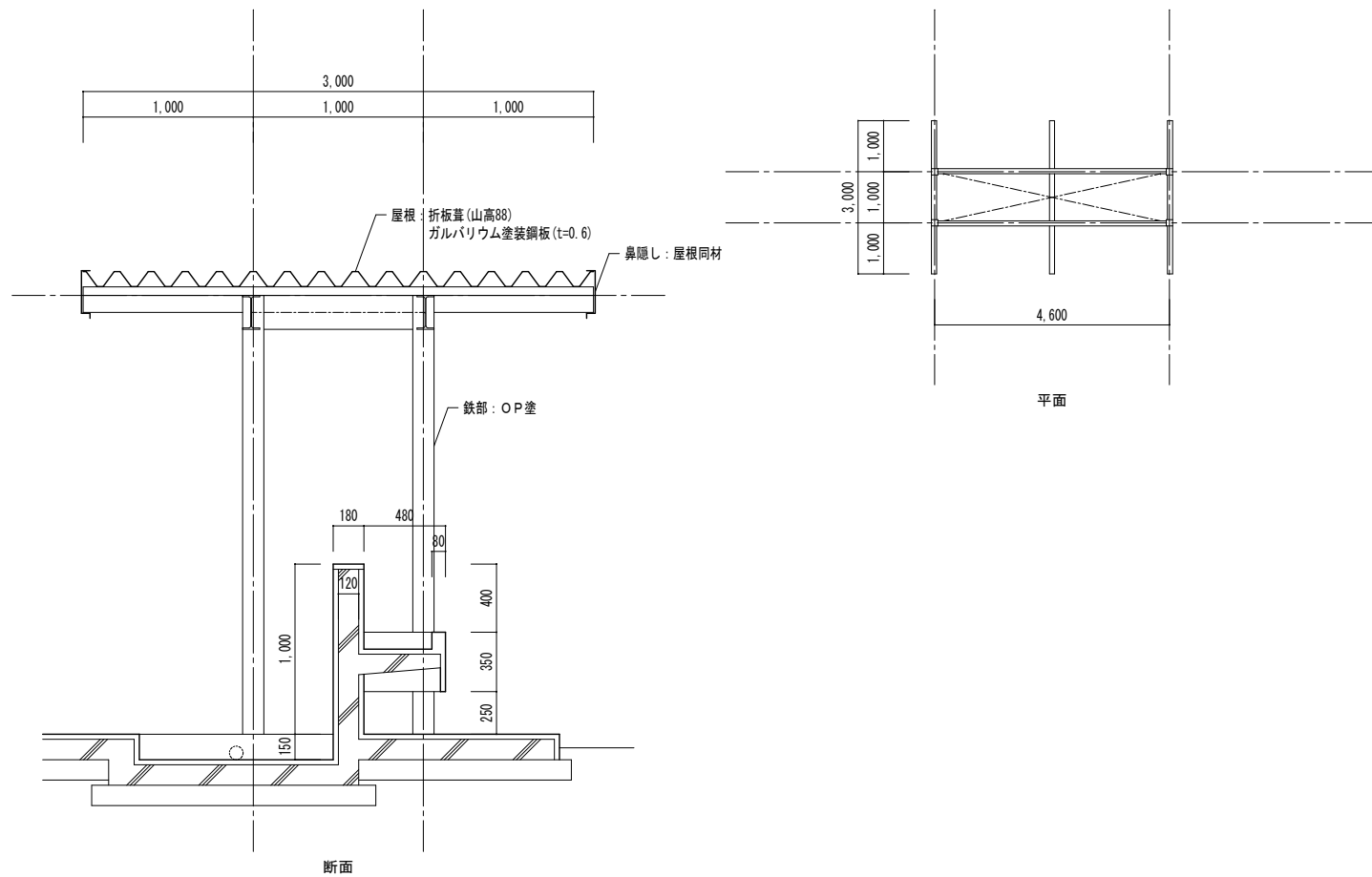
伏図

C1 : □-150×150×6.0
 B1 : H-100×100×6.0
 CB1 : H-100×100×6.0
 折板受 : C-100×50×20×2.3
 屋根ブレース : φ13

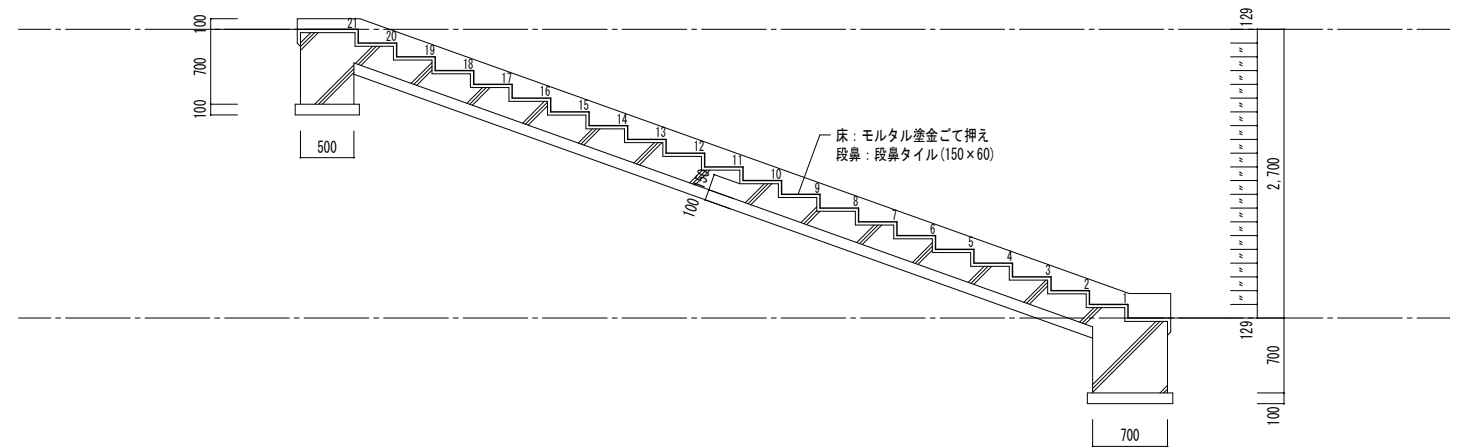
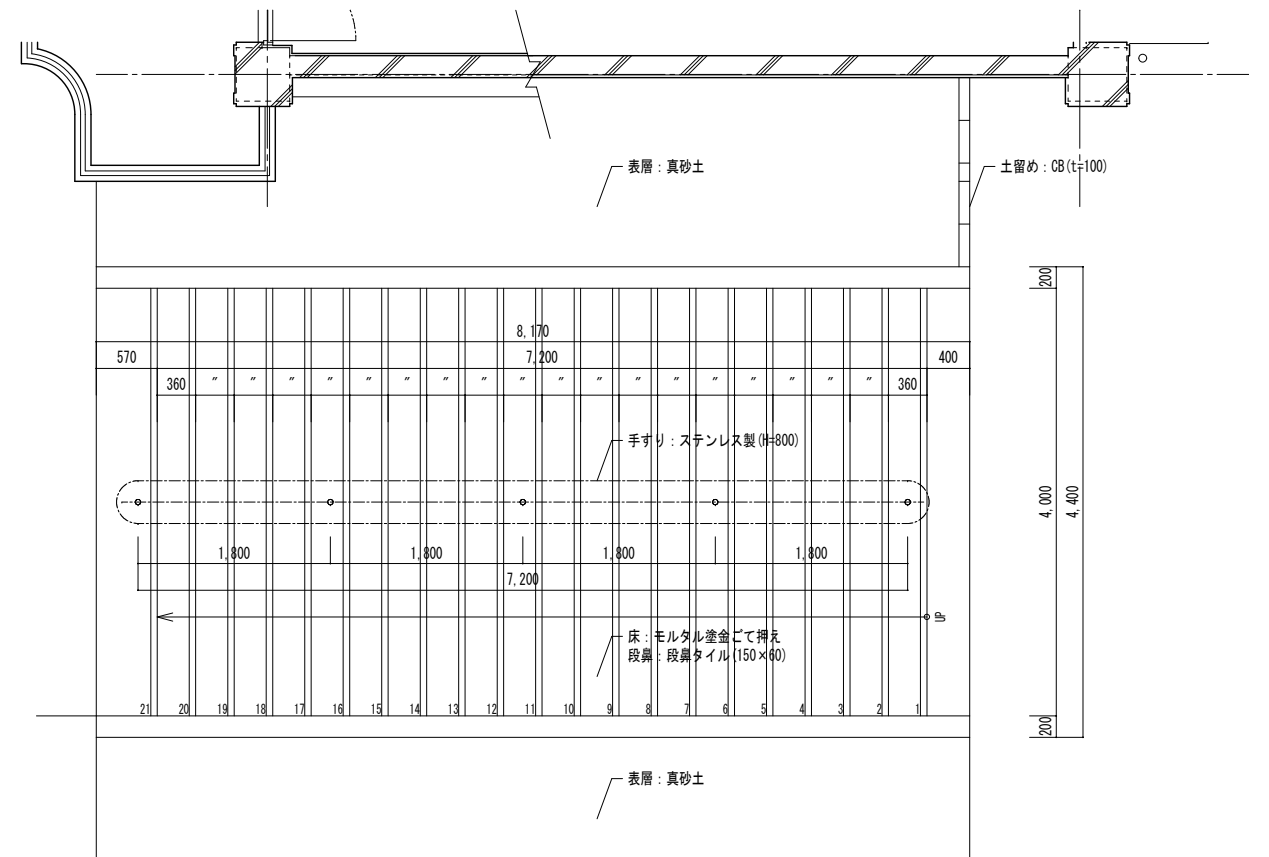


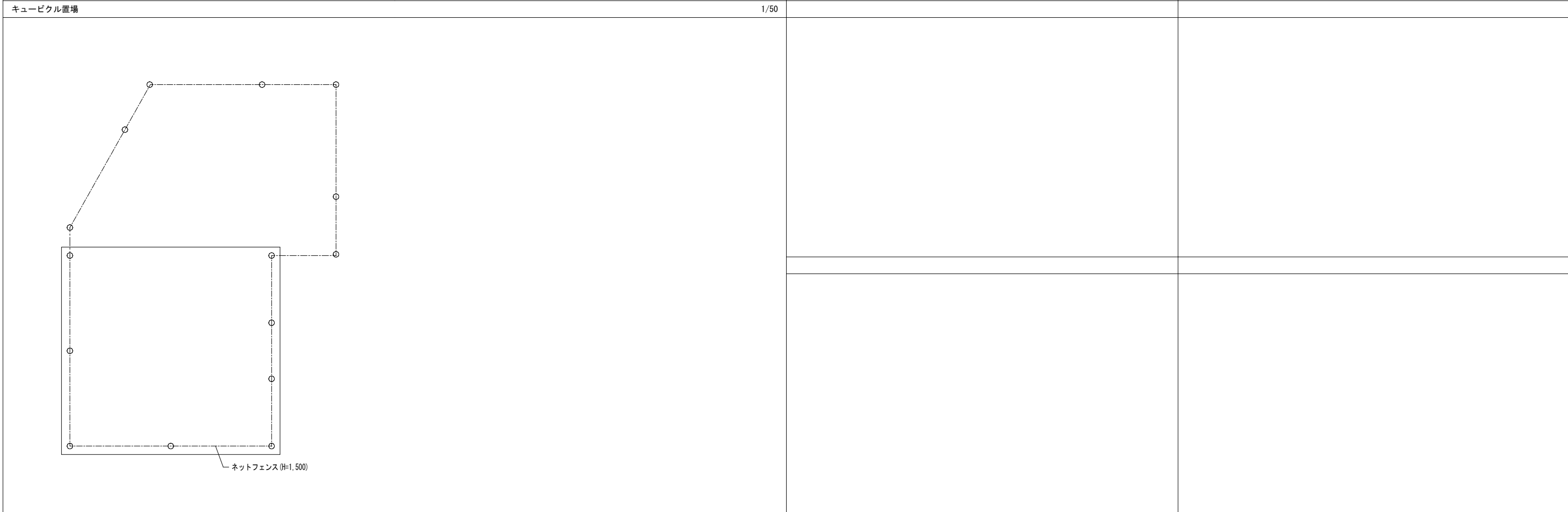
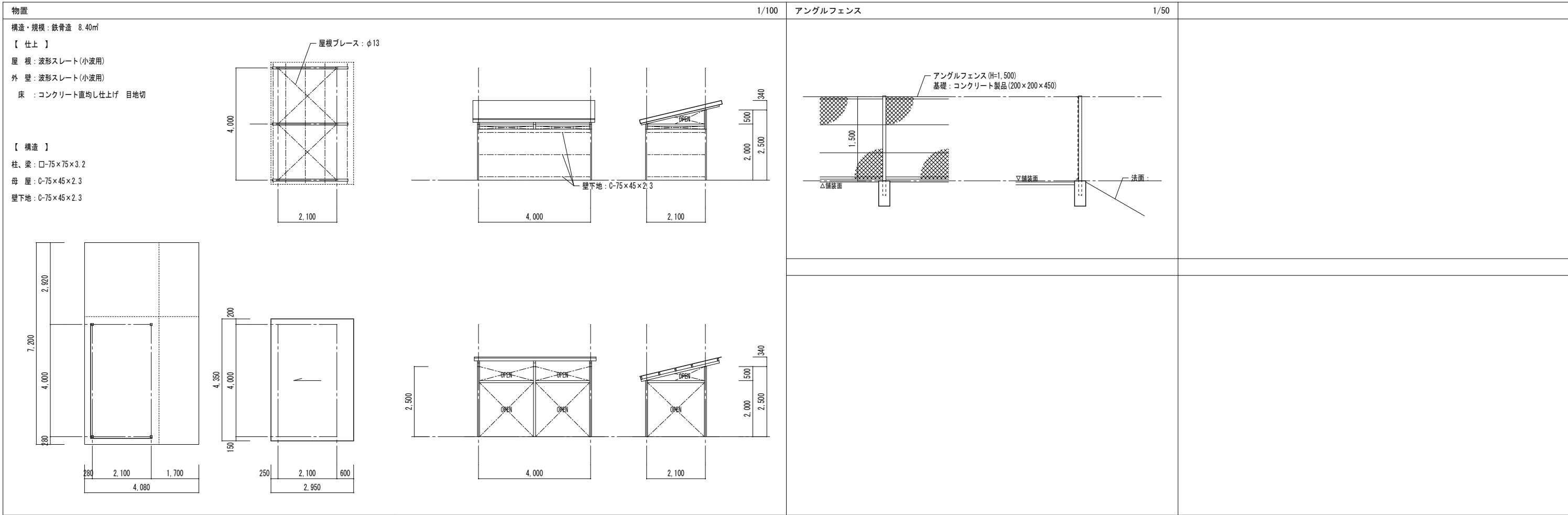


1/30



1/30





既存RC造梁のせん断補強工法[リダブル工法(梁)] 特記仕様書

1. 一般事項

- 本工事は、下記の指針に準拠して実施する。
 - ①(一財)ベターリビングの一般評定を受けた既存鉄筋コンクリート造梁のせん断補強工法[リダブル工法(梁)]の設計施工指針(令和4年8月)
 - ②(財)日本建築防災協会「連続繊維補強材を用いた既存鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計・施工指針」(平成22年1月)
 - ③(財)日本建築防災協会「2017年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・改修設計指針同解説」(平成29年7月)
- 工事着手に先立ち、工種計画、資材・機材の搬入及び保管、現場養生、仮設計画について十分検討し施工計画書を作成して、監督職員に提出する。

2. 施工者の資格

- 工事の管理は、国土交通大臣が認定した2級施工管理技士又はそれと同等以上の管理技術の資格を持つものが担当する。また、開発会社以外の一般会員会社が工事を管理する場合は、リダブル工法の設計施工講習及び実習を受講したものが担当する。
- 有機溶剤の取り扱い、規則の定めるところに従って有資格者により保管及び作業を行う。

3. 材料

- 炭素繊維シート及び炭素繊維ロッド、含浸接着樹脂、プライマー、不陸調整材(パテ)、炭素繊維プレート用接着樹脂は三菱ケミカルインフラテック株式会社製の材料を使用する。
- 連続繊維シート定着金物は、株式会社川金テクノソリューション製の材料を使用する。

炭素繊維シートの品質規格

項目	規格値	試験方法	
3,400MPa級	引張強度	3,400 N/mm ² 以上	JIS A 1191に準拠
	ヤング係数	(275~215)KN/mm ²	
	目付量	200g/m ² 、300g/m ²	JIS K 7071に準拠

炭素繊維プレートの品質規格

項目	規格値	試験方法	
高強度タイプ	引張強度	2,400N/mm ² 以上	JIS A 7165に準拠
	ヤング係数	(179.4~132.6)KN/mm ²	
	厚さ	(1.0、1.2、2.0) ±0.2mm	
	幅	50±2.0mm	

含浸接着樹脂の品質規格

項目	規格値	試験方法
引張強度	30 N/mm ² 以上	JIS K 7161に準拠
曲げ強度	40 N/mm ² 以上	JIS K 7171に準拠
引張せん断強度	10 N/mm ² 以上	JIS K 6850に準拠

プライマーの品質規格

項目	規格値	試験方法
接着強度	1.5 N/mm ² 以上	JIS A 6909に準拠

不陸調整材(パテ)の品質規格

項目	規格値	試験方法
接着強度	1.5 N/mm ² 以上	JIS A 6909に準拠
引張せん断強度	10 N/mm ² 以上	JIS K 6850に準拠
圧縮強度	50 N/mm ² 以上	JIS K 7181に準拠
圧縮弾性率	1,000 N/mm ² 以上	JIS K 7181に準拠

炭素繊維プレート用接着樹脂の品質規格

項目	規格値	試験方法
接着強度	1.5 N/mm ² 以上	JIS A 6909に準拠
引張せん断強度	10 N/mm ² 以上	JIS K 6850に準拠
圧縮強度	50 N/mm ² 以上	JIS K 7181に準拠
圧縮弾性率	1,000 N/mm ² 以上	JIS K 7181に準拠

連続繊維シート定着金物の品質規格 (SC450)

項目	規格値	試験方法
降伏点又は0.2%オフセット耐力	225 N/mm ² 以上	JIS Z 2241に準拠
引張強度	450 N/mm ² 以上	JIS Z 2241に準拠
伸び(縦方向)	19 %以上	JIS Z 2241に準拠
伸び(横方向)	30 %以上	JIS Z 2241に準拠

開孔補強用鋼管の品質規格 (STK400)

項目	規格値	試験方法
降伏点又は0.2%オフセット耐力	235 N/mm ² 以上	JIS Z 2241に準拠
引張強度	400 N/mm ² 以上	JIS Z 2241に準拠
伸び(縦方向)	23 %以上	JIS Z 2241に準拠
伸び(横方向)	18 %以上	JIS Z 2241に準拠

開孔補強用鋼管の品質規格 (STK490)

項目	規格値	試験方法
降伏点又は0.2%オフセット耐力	315 N/mm ² 以上	JIS Z 2241に準拠
引張強度	490 N/mm ² 以上	JIS Z 2241に準拠
伸び(縦方向)	23 %以上	JIS Z 2241に準拠
伸び(横方向)	18 %以上	JIS Z 2241に準拠

充填材の品質規格

項目	規格値	試験方法
圧縮強度	40 N/mm ² 以上	JIS A 1108 及び JIS A 1132に準拠 (材令28日、50φ×100円柱試験体)
膨張率	0 %	土木学会「膨張コンクリート設計施工指針」 付属書：膨張剤を用いた充填モルタルの膨張率試験
フロー値	120~200 mm	
ブリーディング率	0 %	JIS A 1123に準拠

定着ボルトの品質規格

定着ボルトは、JIS B 1051、JIS B 1180及びJIS G 3109など、該当するJIS規格品を用いる。

あと施工アンカーの品質規格

接着系あと施工アンカーは、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の製品認証を取得したものとす。

4. 施工

共通

- ①準備 → ②下地処理 → ③墨出し/鉄筋探査 → ④接着系あと施工アンカーによる定着ボルト
- ①~④は施工順序を示す。
- コーナ部は半径20mm以上の曲面加工を施す。
- ひび割れ部はエポキシ樹脂などで補修する。
- 下地の表面含水率は10%以下に管理する。
- 開孔部分のコンクリート表面にもプライマーを塗布する。
- 定着金物の炭素繊維シート定着部分には、ディスクサンダー等を用いて研磨処理を施し、黒皮等を除去する。

U形補強(炭素繊維シートのみ)、I形補強

- ⑤プライマー塗布 → ⑥不陸修正 → ⑦梁材軸方向炭素繊維シート貼付け →
- ⑧梁せい方向炭素繊維シート貼付け → ⑨梁材軸方向炭素繊維プレート貼付け → ⑩定着金物の設置 →
- ⑪炭素繊維シートの定着
- ⑤~⑪は施工順序を示す。
- 定着ボルトに合わせて、炭素繊維プレートに孔加工を施す。孔径はボルト径+5mm程度とする。

U形補強(炭素繊維シート、鋼管併用)

- ⑤補強用鋼管の設置 → ⑥充填材の注入 → ⑦プライマー塗布 → ⑧不陸修正 →
- ⑨梁材軸方向炭素繊維シート貼付け → ⑩梁せい方向炭素繊維シート貼付け →
- ⑪梁材軸方向炭素繊維プレート貼付け → ⑫定着金物の設置 → ⑬炭素繊維シートの定着
- ⑤~⑬は施工順序を示す。
- 定着ボルトに合わせて、炭素繊維プレートに孔加工を施す。孔径はボルト径+5mm程度とする。
- 鋼管と開孔部の隙間は2~3mm程度を確保しスペーサー等で固定する。
- 注入孔は開孔下部に設ける(計1箇所)。

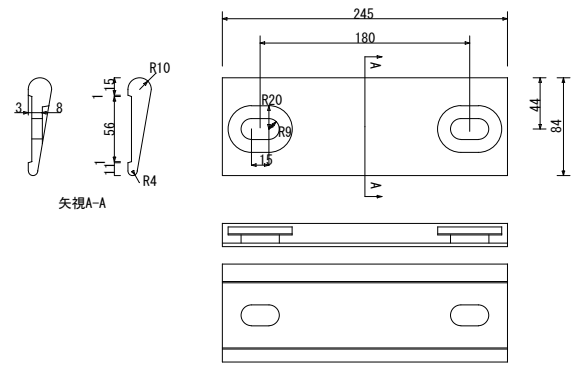
プライマーと含浸接着樹脂の標準使用量 (kg/m²)

炭素繊維材料種類	プライマー	含浸接着樹脂塗布量	
		シート目付量200	シート目付量300
	0.2	0.4	0.2
		0.5	0.3

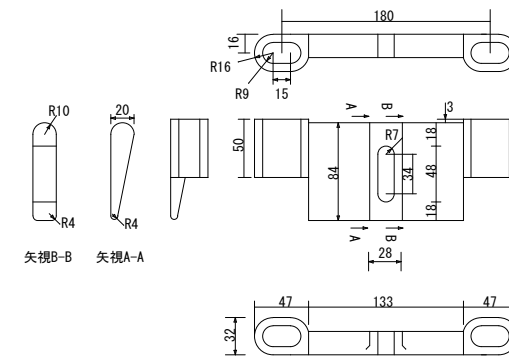
※) 炭素繊維シートを1層貼り付ける時に使用する量の目安値。

5. 品質検査

- 品質検査の要否は、工事監理者と協議の上で決定する。
- 品質検査は、以下に示す引張強度試験あるいは付着強度試験を実施する。
- 引張強度試験はJIS A 1191 による。試験用のシートは1層とし、施工現場と同様に接着樹脂を含浸させ、硬化させる。試験片は、1回の試験あたり5体以上とする。
- 試験結果として、引張強度と引張弾性率を求め、試験結果が所定の値を満足すれば合格とする。
- 付着強度試験はJIS A 6909の付着強さ試験を準用して行う。試験片は施工した梁の近傍にある壁またはコンクリート製試験体に、梁に施工するときと同様な要領でシートの貼付けを行う。試験片は、1回の試験あたり5箇所以上とする。
- 付着強度が1.5MPa以上、またはコンクリート塊がFRPに付着し、明らかにコンクリート自体での引張り破壊と認められた場合に合格とする。
- 試験の回数は、補強箇所10箇所あたり1回程度を目安とする。

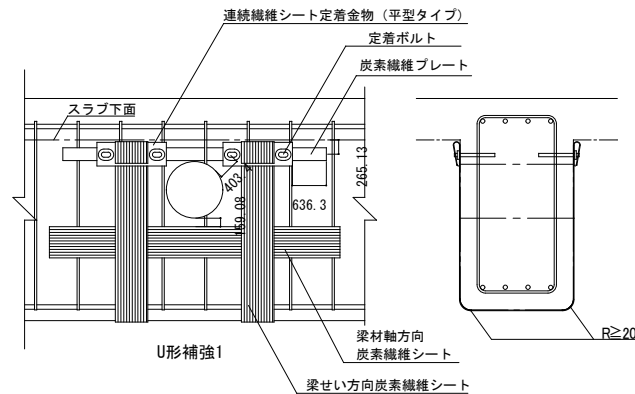


・連続繊維シート定着金物の仕様(平型タイプ)



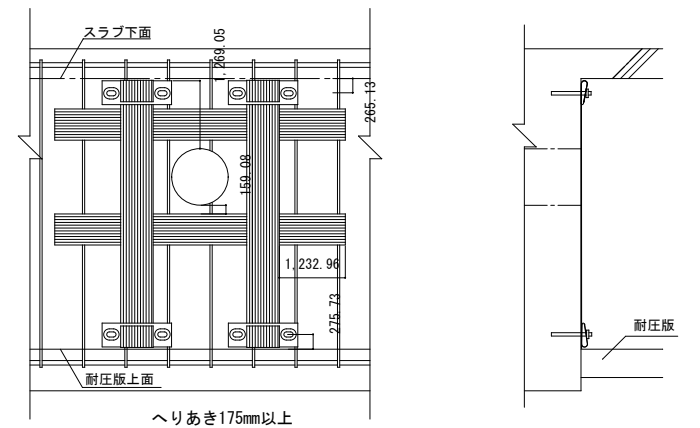
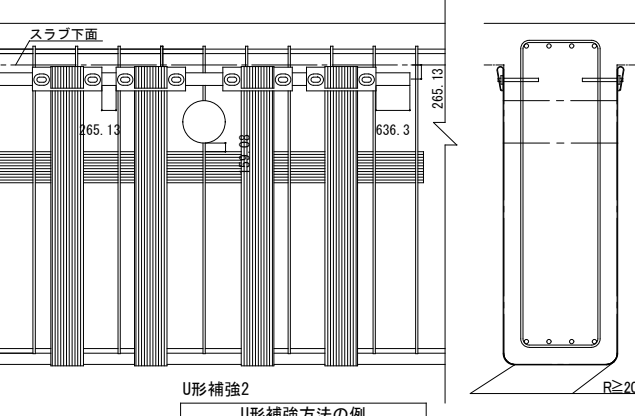
・連続繊維シート定着金物の仕様(縦型タイプ)

連続繊維シート定着金物の仕様

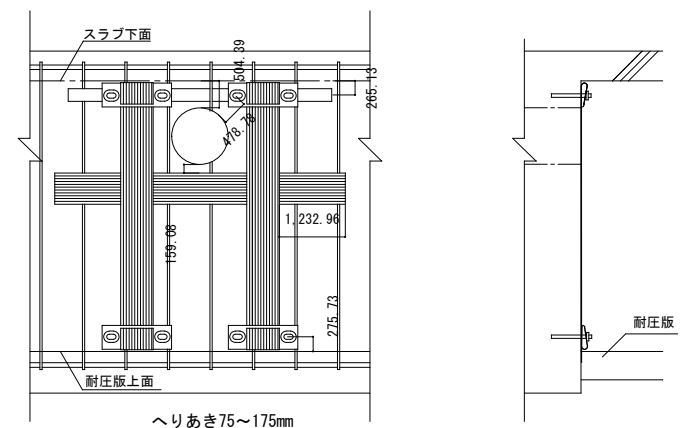


U形補強2

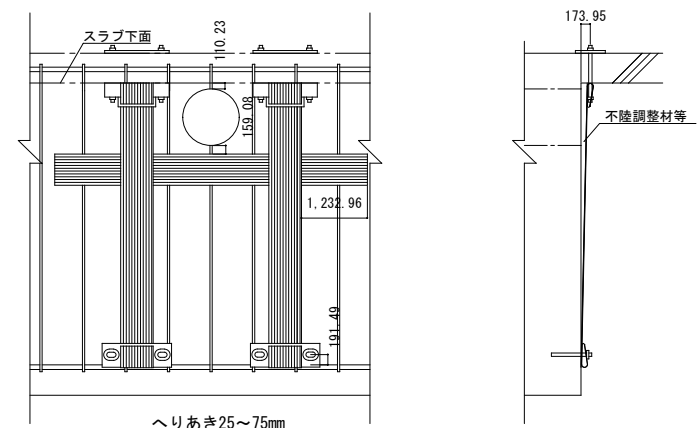
U形補強方法の例



へりあき175mm以上



へりあき75~175mm



へりあき25~75mm

I形補強方法の例

φ100開孔 リダブル工法補強 代表図

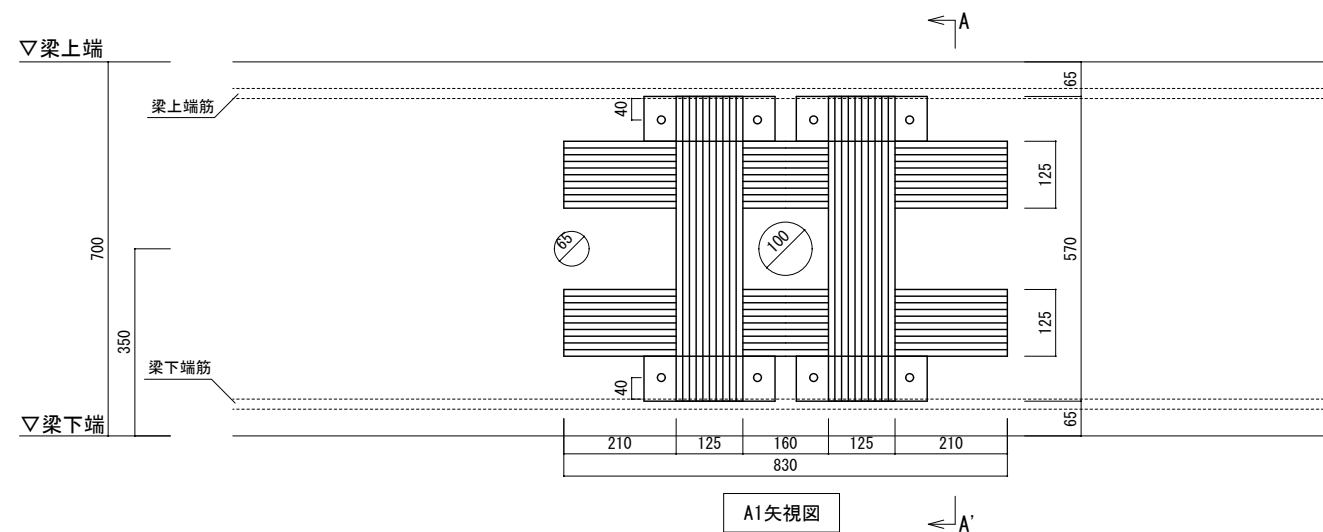
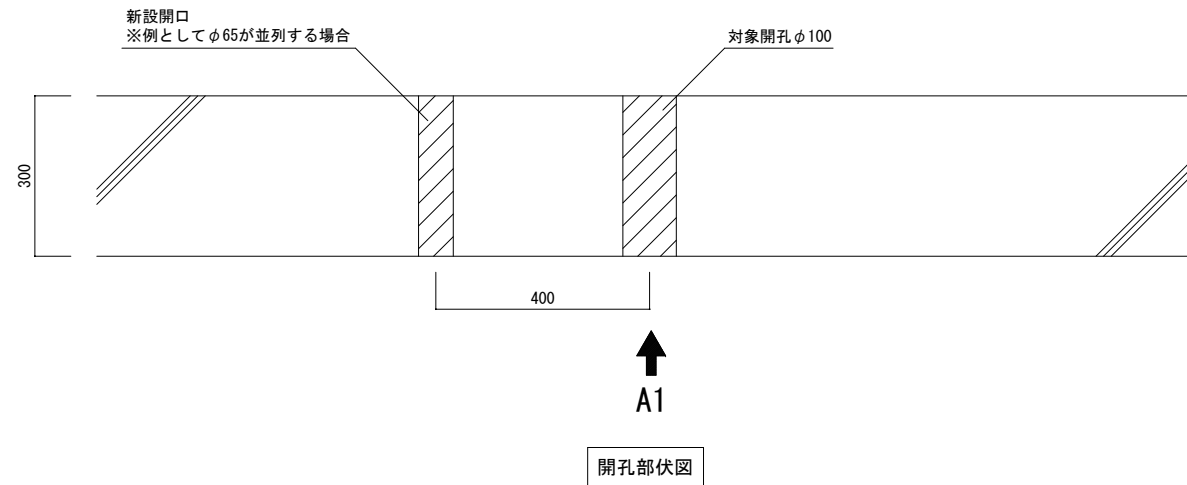
※他の開孔や現地の干渉物により補強が行えない場合はその都度検討を行う。

※1棟 D, 14-15通り間：1箇所

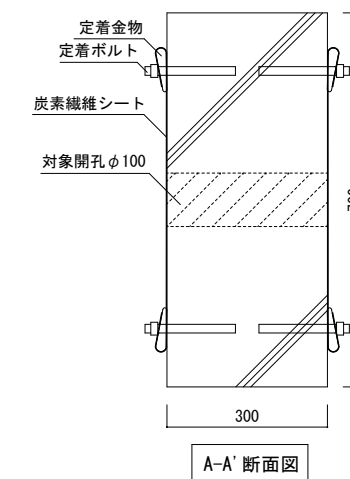
2棟 A, 14-15通り間：1箇所

A, 15-16通り間：1箇所

1, A-B通り間：1箇所



両面とも同様の施工を行う



※定着金物の位置について
主筋表面～定着ボルト芯が40mmになるよう材料長さを調整する
鉄筋の振り厚は推定のため現況に従う

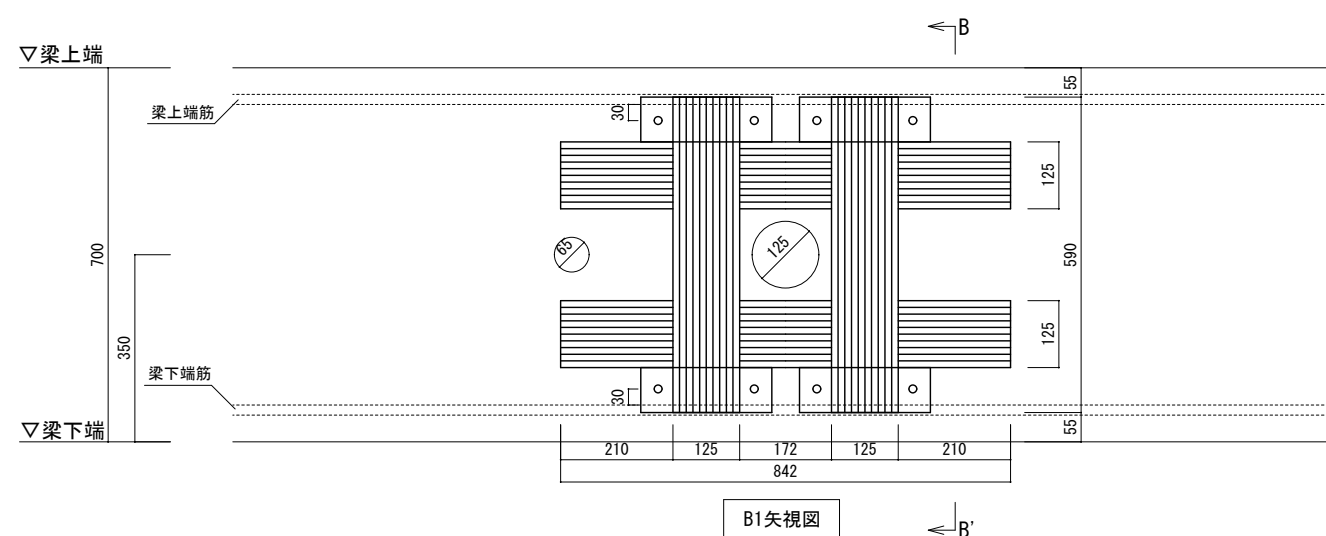
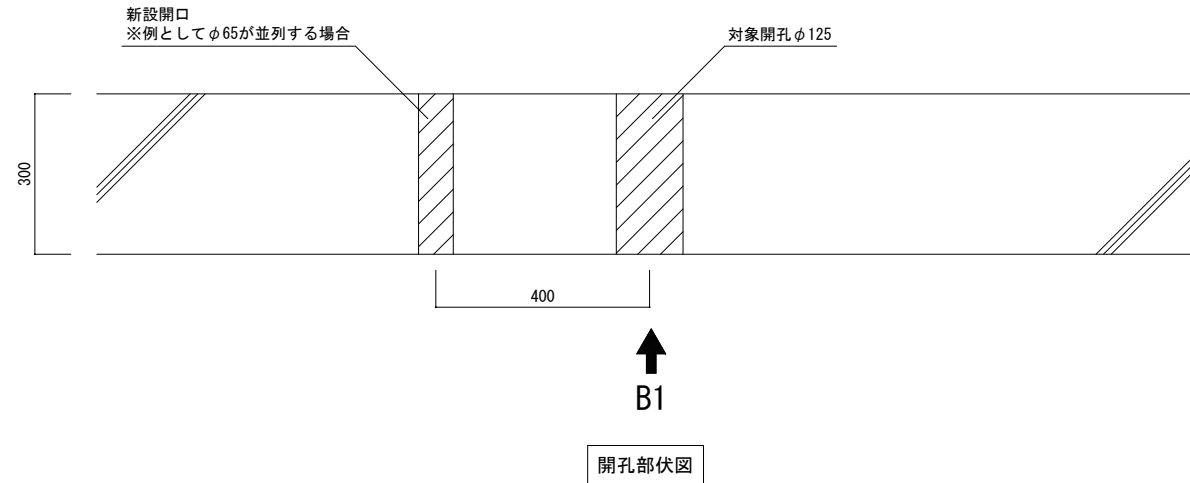
CFシート	定着ボルト
目付量300g/m ²	強度区分5.6以上のボルトを使用
層数2層	呼び径：M16
シート幅125mm	

φ125開孔 リダブル工法補強 代表図

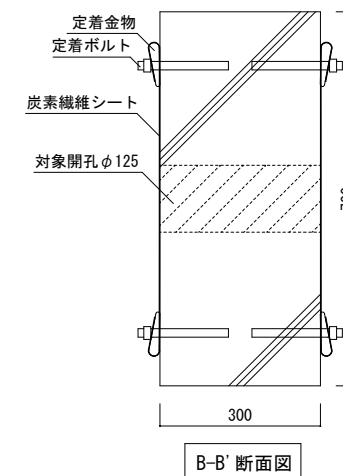
※他の開孔や現地の干渉物等により補強が行えない場合はその都度検討を行う。

※1棟 D, 1-2通り間：1箇所

D, 14-15通り間：1箇所



両面とも同様の施工を行う



※定着金物の位置について
主筋表面～定着ボルト芯が30mmになるよう材料長さを調整する
鉄筋の被り厚は推定のため現況に従う

CFシート
目付量300g/m²
層数2層
シート幅125mm

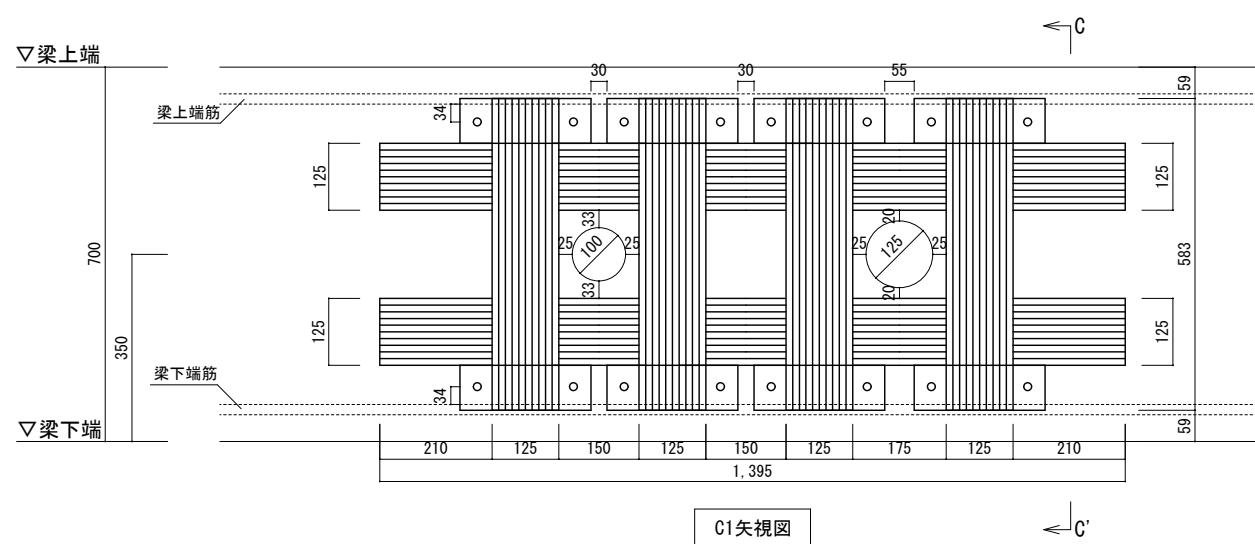
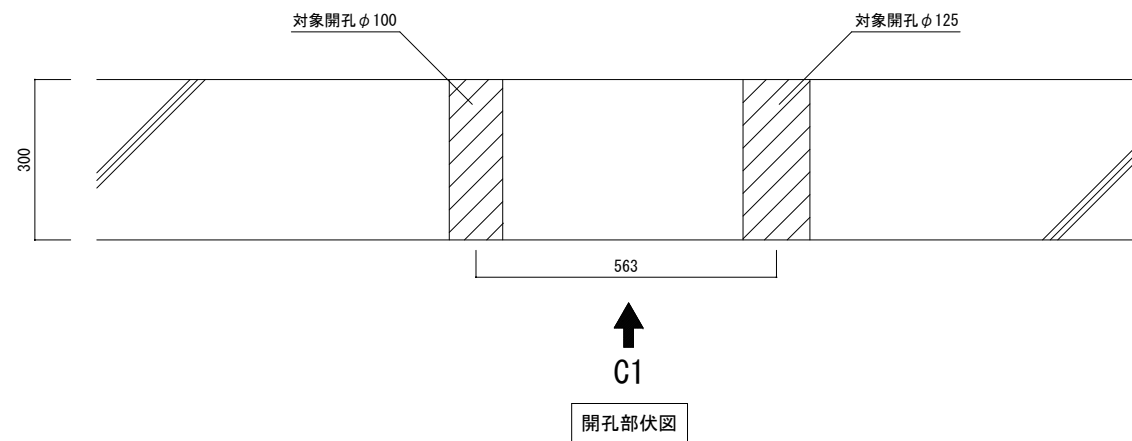
定着ボルト
強度区分5,6以上のボルトを使用
呼び径：M16



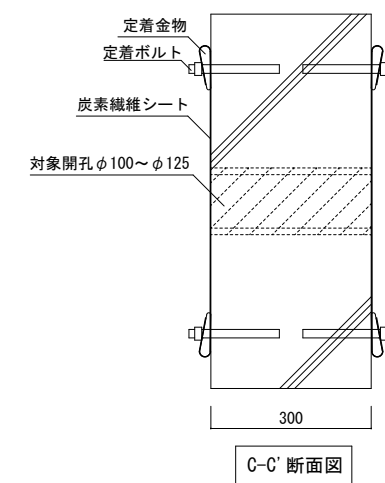
φ100+φ125開孔並列 リダブル工法補強 代表図

※他の開孔や現地の干渉物等により補強が行えない場合はその都度検討を行う。

※1棟 D、8-9通り間：1箇所



両面とも同様の施工を行う



※定着金物の位置について
主筋表面～定着ボルト芯が34mmになるよう材料長さを調整する
鉄筋の振り厚は推定のため現況に従う

CFシート
目付量300g/m²
層数2層
シート幅125mm

定着ボルト
強度区分5.6以上のボルトを使用
呼び径：M16

